大分県内留学生生活・就職に関するアンケート調査

－　報告書　－

平成 22 年 12 月

文部科学省「戦略的大学連携支援事業」

留学生等連携推進ワーキング

は じ め に

大学、短期大学、高専等の高等教育機関（以下、「大学等」）が果たすべき役割が多様化する中、教育基本法の改正によって「教育」及び「研究」に加えて「社会貢献」が第３の使命として課せられ、大学等は社会に開かれた存在であることを求められています。

大学等が所有する教育・研究資源をより有効に地域に提供するため、お互いの知を結集してポテンシャルの向上を図る必要性が高まり、大分県内８大学等（大分大学、大分県立看護科学大学、大分県立芸術文化短期大学、日本文理大学、別府大学、別府大学短期大学部、立命館アジア太平洋大学、大分工業高等専門学校）が連携して文部科学省の平成 20 年度「戦略的大学連携支援事業」に申請・採択されました。

本事業は平成 20～22 年度の３年間にわたって実施され、「留学生支援」、「地域連携研究」及び「教育連携」の３領域に県内８大学等が連携して取り組んでいます。特に、大分県では人口当りの留学生数が東京都を抜いて全国第１位となり、留学生を生かした地域づくりが重要な課題となっています。

本事業の「留学生支援」に関する取組みでは、留学生の生活・勉学環境の整備に加え、就職環境の向上による留学生の地域定着の促進を図っています。また、地域住民に対する国際理解教育を進めることによって県内の大学等で学ぶ留学生を増加させ、「留学生 30 万人計画」の実現に向けた国際共生モデル地区を構築するための活動を行っています。

このたび、今後の留学生支援施策の検討に資することを目的として、県内留学生の生活の現状や就職支援のあり方について留学生向けのアンケート調査を実施し、現状分析と課題をまとめた「大分県内留学生生活・就職に関するアンケート調査報告書」を発行することになりました。本報告書が、県内の大学等に在籍する留学生の就職支援施策の充実及び強化の一助となれば幸いです。

本報告書の発行にあたり、それぞれの専門分野から貴重なご意見を賜りました関係各位、ならびにアンケート調査にご協力いただきました留学生の皆様に対しまして、心より感謝申し上げます。

平成 22 年 12 月

文部科学省「戦略的大学連携支援事業」留学生等連携推進ワーキング委員長
国立大学法人　大分大学　理事（国際・社会連携担当）・副学長
田中　充

～ 目 次 ～

Ⅰ　調査の概要 ---------- 1
Ⅱ　回答者の属性 ---------- 3
　１．出身国・地域 ---------- 3
　２．性別 ---------- 4
　３．年齢 ---------- 5
　４．留学の種類 ---------- 6
　５．現在の所属学年 ---------- 7
Ⅲ　調査結果 ---------- 8
　１．海外留学をしようと思った理由 ---------- 8
　２．留学先に日本を選んだ理由 ---------- 10
　３．留学先に大分県を選んだ理由 ---------- 12
　４．卒業後の希望 ---------- 14
　　（１）卒業後の希望 ---------- 14
　　（２）起業したい国 ---------- 16
　５．日本での就職について ---------- 17
　　（１）日本での就職希望 ---------- 17
　　（２）日本で就職したい理由 ---------- 18
　　（３）就職先の企業を選ぶ基準 ---------- 20
　　（４）希望勤務地 ---------- 22
　　（５）希望する業界 ---------- 24
　　（６）日本で就職した場合の将来について ---------- 26
　　（７）日本で就職した場合の不安 ---------- 30
　　（８）日本で就職活動をする時に必要と思うこと ---------- 32
　６．大分県内居住年数 ---------- 34
　７．授業時間外の一日平均勉強時間 ---------- 36
　８．１ケ月当たりの収入について ---------- 38
　　（１）１ケ月当たりもらっている奨学金 ---------- 38
　　（２）１ケ月当たりもらっている仕送り ---------- 40
　　（３）１ケ月当たりのアルバイト代 ---------- 42
　　（４）１ケ月の平均的収入額 ---------- 44
　９．１ケ月当たりの支出について ---------- 46
　　（１）１ケ月当たりの授業料 ---------- 46
　　（２）１ケ月当たりの家賃を除く生活費 ---------- 48
　　（３）１ケ月当たりの家賃 ---------- 50
　　（４）１ケ月の平均的支出 ---------- 52
　　（５）自分で支払っている授業料の割合 ---------- 54
　　（６）自分で支払っている家賃・生活費の割合 ---------- 56
　10．現住居 ---------- 58
　11．住宅への不満 ---------- 60
　12．大分県の生活に対する満足度 ---------- 62
　13．現在一番望む支援 ---------- 66
資料／調査票

Ⅰ　調査の概要

【調査目的】

大分県内の大学･短大等に在籍する留学生における、卒業後の進路や就職に関する意識、生活実態や希望する支援策などを調査し、今後の留学生支援施策の検討に資することを目的として実施した。

【調査対象】

大分県内の大学・短大等に在籍する留学生（学校名は次の通り）

①大分大学
②大分県立看護科学大学
③大分県立芸術文化短期大学
④大分工業高等専門学校
⑤日本文理大学
⑥別府大学
⑦別府大学短期大学部
⑧立命館アジア太平洋大学
⑨その他（別府溝部学園短期大学）

【調査方法】

郵送配布、郵送回収（一部インターネット利用）

【調査期間】

平成 22 年６月 28 日（月）～8 月６日（金）

【回収結果】

配布数-------2,125 件
有効回収数---646 件
有効回収率---30.4％

図表1　Q1(6). 学校別回収状況（上段：件数、下段：構成比%）

全体	大分大学	大分県立看護科学大学	大分県立芸術文化短期大学	大分工業高等専門学校	日本文理大学	別府大学	別府大学短期大学部	立命館アジア太平洋大学	別府溝部学園短期大学
646	39	1	1	4	58	96	95	279	73
100.0	6.0	0.2	0.2	0.6	9.0	14.9	14.7	43.2	11.3

【報告書の見方について】

（１）集計は小数点以下第２位を四捨五入している。従って回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。

（２）２つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は 100%を超える場合がある。

（３）数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数（標本数）である。全標本数ベースを示す「全体」を「N」、該当数ベースを「n」で標記している。

（４）図表中における年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者（例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者）を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合がある。

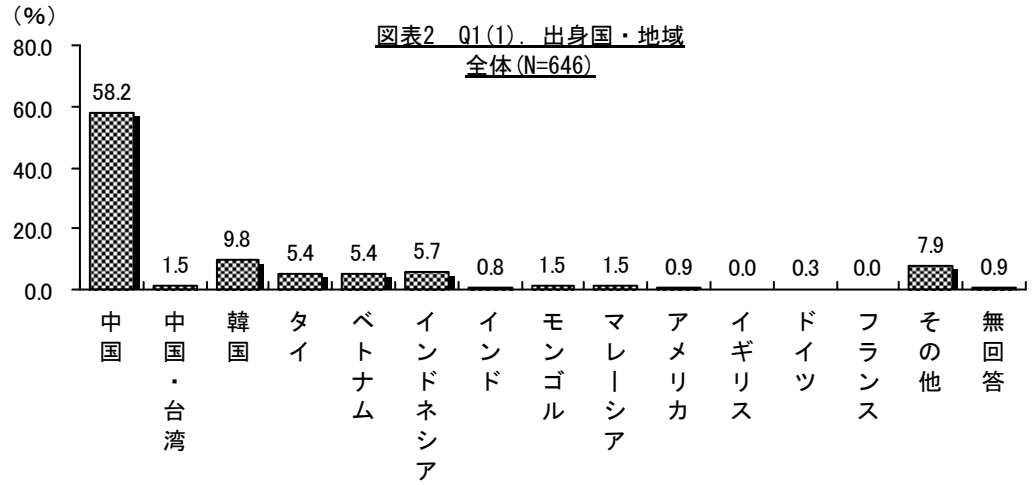
（５）図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値（例：0.0%、0.1%など）は図表中の表記から割愛している場合がある。

（６）この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。

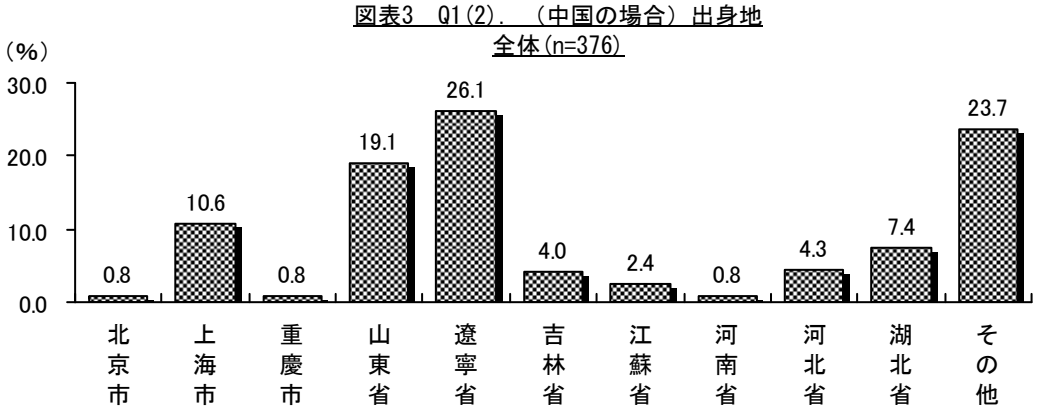
Ⅱ　回答者の属性

１．出身国・地域

出身国・地域は、「中国」が 58.2%と６割近くを占め最も多く、以下「韓国」（9.8%）、「インドネシア」（5.7%）、「タイ」「ベトナム」（各 5.4%）などが続く。



「中国」の場合の出身地は、「遼寧省」が 26.1%と最も多く、以下「山東省」（19.1%）、「上海市」（10.6%）の順となっている。



なお、「その他」が 23.7%（89 件）みられるが、内訳は次表の通りである。

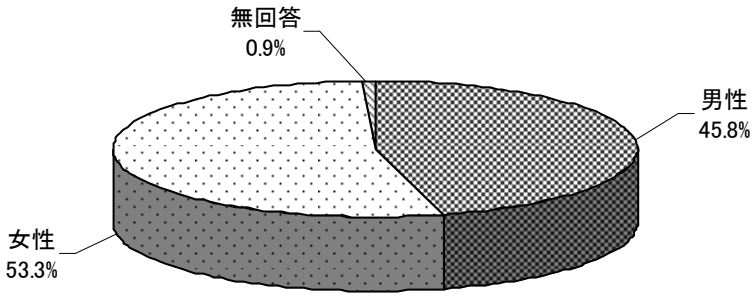
図表4　Q1(2).（中国の場合）出身地その他の内訳（件）

合計	黒龍江省	天津市	福建省	浙江省	安徽省	内蒙古自治区	四川省	杭州市	マカオ	雲南省
89	22	8	7	7	6	5	4	3	1	1
湖南省	広東省	杭州	江西省	香港	山西省	新疆	福建福州	陝西省	記入無し	
1	1	1	1	1	1	1	1	1	16	

２．性別

性別構成比は、男性 45.8%、女性 53.3%とやや女性が多いが、おおむね二分している。

図表5　Q1(3). 性別構成比（%）
全体(N=646)

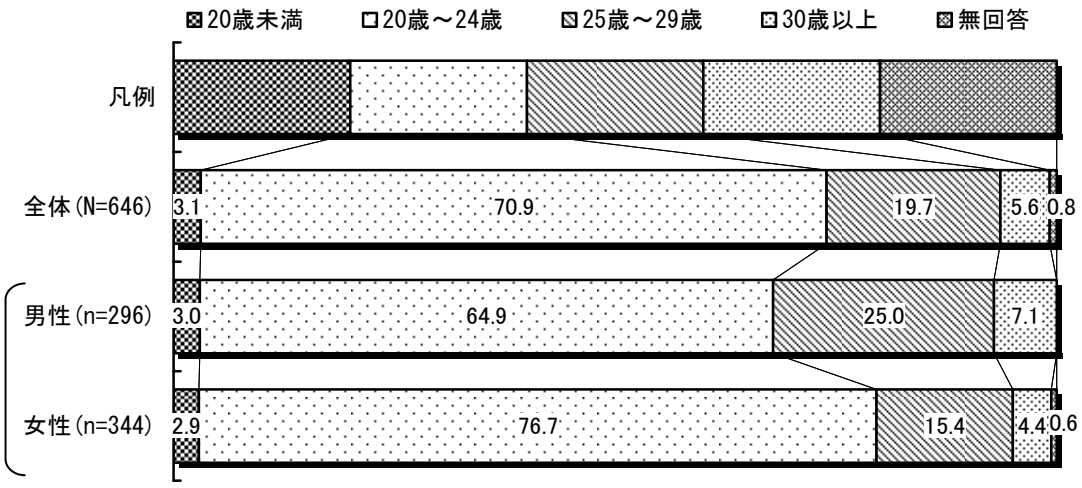


３．年齢

年齢別構成比は、対象が大学であることから「20～24 歳」が 7 割（70.9%）を占め最も多くなっている。次いで「25～29 歳」が 19.7%で続く。

性別では、男性において相対的に年齢が高い。

図表6　Q1(4)．年齢別構成比（%）



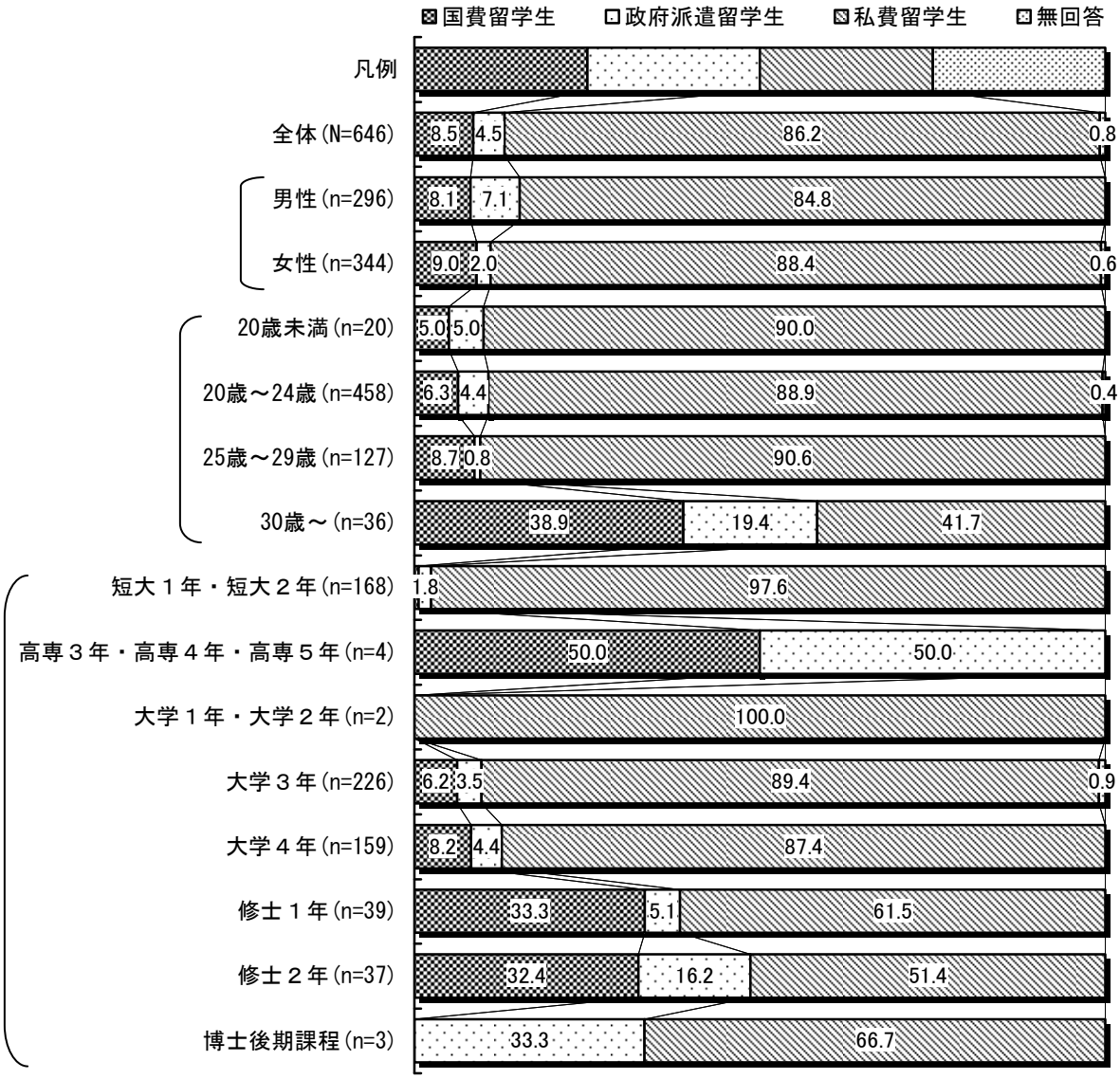
４．留学の種類

留学の種類は、「私費留学生」が 86.2%と大半を占め、「国費留学生」（8.5%）、「政府派遣留学生」（4.5%）はそれぞれ 1 割未満と少ない。

性別では大きな差は目立たないが、年齢別では、30 歳以上の年齢層において「国費留学生」「政府派遣留学生」がそれぞれ多くみられる。

所属別では、「短大１年・短大２年」「大学１～4 年」において「私費留学生」が 80%を超えているのが目立っている。

図表7　Q1(5)．留学の種類（%）

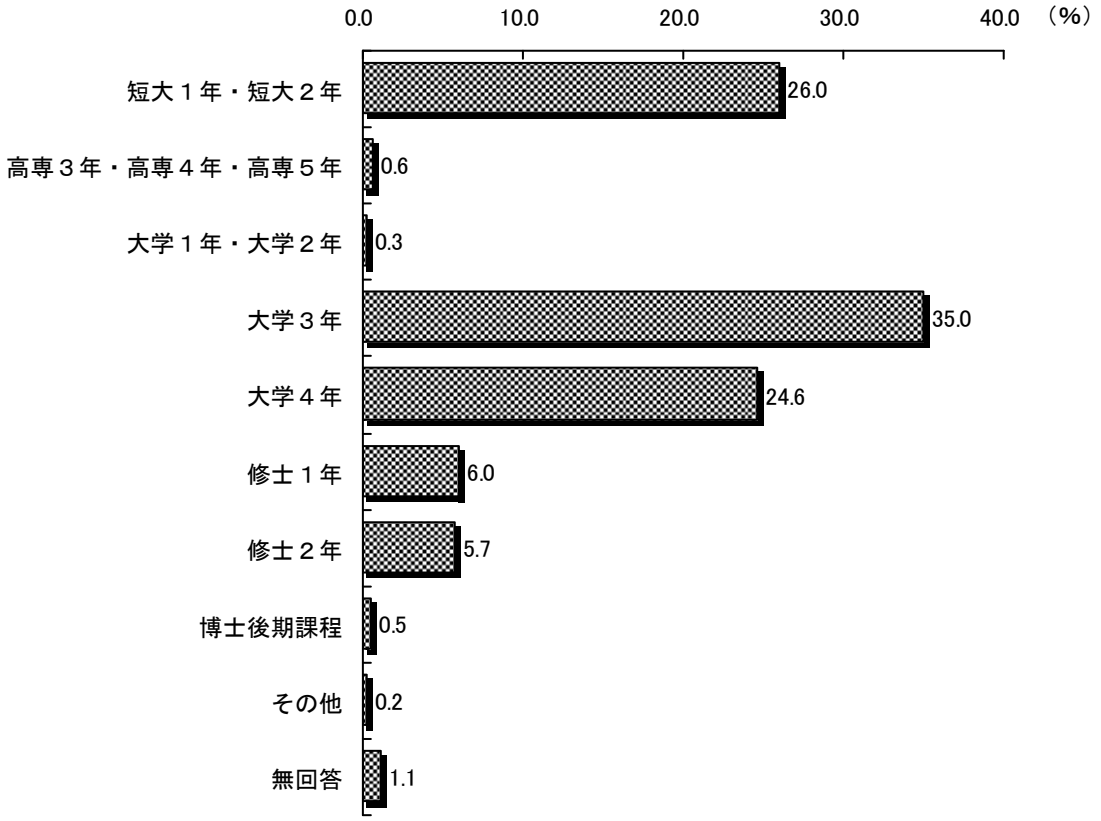


※所属別における「高専3年・高専4年・高専5年」、「大学1年・大学2年」、及び「博士後期課程」は、該当件数(n=)が少ないため、参考値として参照して下さい（以下同様）。

５．現在の所属学年

現在の所属学年は、「大学３年」が 35.0%と最も多く、次いで「短大１年・短大２年」（26.0%）、「大学４年」（24.6%）の順となっている。

図表8　Q1(7)．現在の所属学年
全体(N=646)



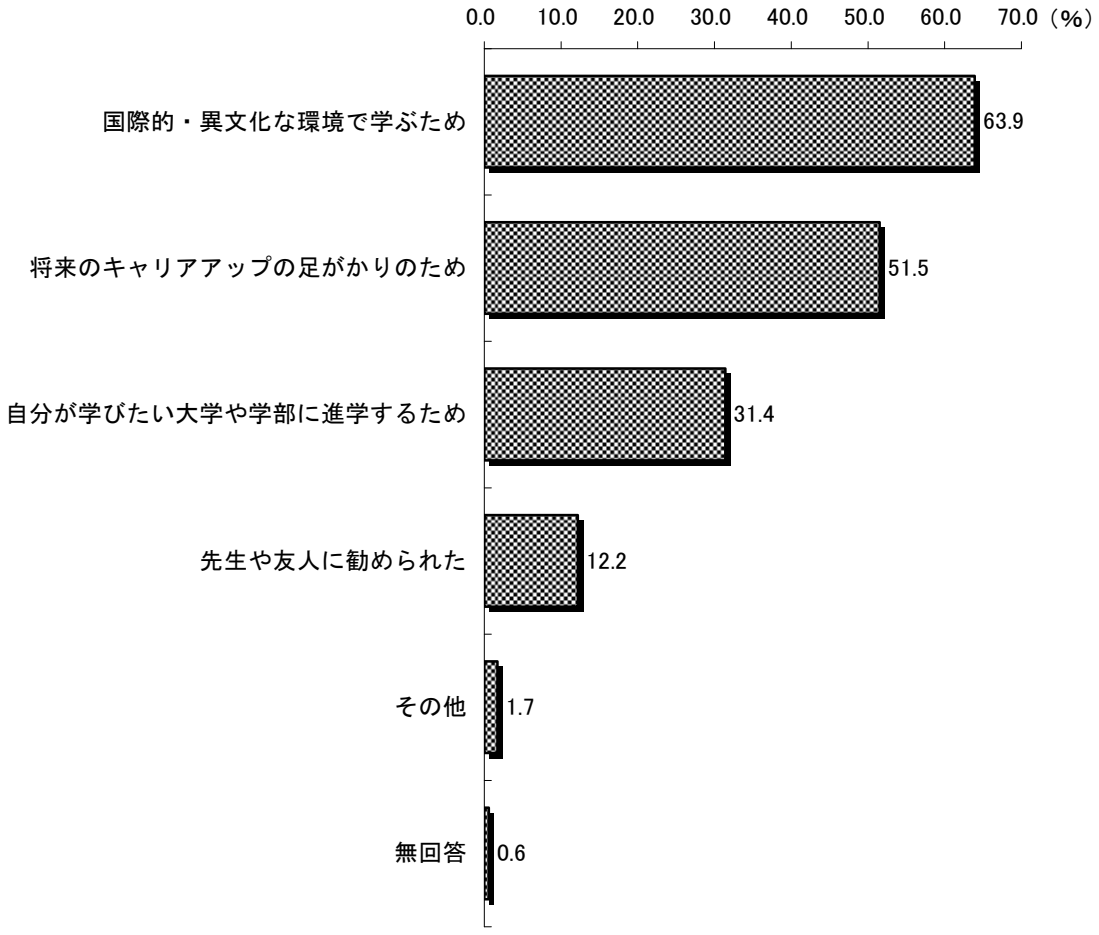
Ⅲ 調査結果

１．海外留学をしようと思った理由

Q2. 海外留学をしようと思った理由は何でしょうか？（複数回答可）

海外留学をしようと思った理由については、「国際的・異文化な環境で学ぶため」が63.9%と最も多く、次いで「将来のキャリアアップの足がかりのため」が 51.5%と半数を超えて多くなっている。以下「自分が学びたい大学や学部に進学するため」（31.4%）、「先生や友人に勧められた」（12.2%）の順となっている。

図表9　Q2. 海外留学をしようと思った理由
全体(N=646)



性別では、男性に比べ女性で「国際的・異文化な環境で学ぶため」がやや多くみられるが、男女差が 10%を超えるような大きな差は目立たない。

年齢別では、年齢が上がるにつれ「将来のキャリアアップの足がかりのため」、逆に若い年齢層ほど「先生や友人に勧められた」が多いなどの傾向がみられる。

所属別では、「修士１年」において「将来のキャリアアップの足がかりのため」が多くみられるのが目立っている。

図表10　Q2. 海外留学をしようと思った理由（%）

	自分が学びたい大学や学部に進学するため	国際的・異文化な環境で学ぶため	将来のキャリアアップの足がかりのため	先生や友人に勧められた	その他
全体(N=646)	31.4	63.9	51.5	12.2	1.7
男性(n=296)	35.1	59.5	53.7	11.5	1.7
女性(n=344)	28.8	68.3	50.3	12.8	1.5
20歳未満(n=20)	35.0	60.0	35.0	15.0	5.0
20歳～24歳(n=458)	31.4	64.6	49.3	13.1	1.7
25歳～29歳(n=127)	34.6	61.4	58.3	11.0	0.8
30歳～(n=36)	19.4	69.4	66.7	2.8	2.8
短大1年・短大2年(n=168)	44.6	57.1	43.5	9.5	1.2
高専3年・高専4年・高専5年(n=4)	75.0	75.0	75.0	0.0	0.0
大学1年・大学2年(n=2)	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
大学3年(n=226)	27.9	67.3	51.8	17.7	0.9
大学4年(n=159)	22.0	66.0	50.3	10.7	2.5
修士1年(n=39)	23.1	69.2	74.4	2.6	0.0
修士2年(n=37)	37.8	67.6	67.6	8.1	5.4
博士後期課程(n=3)	33.3	66.7	66.7	0.0	33.3

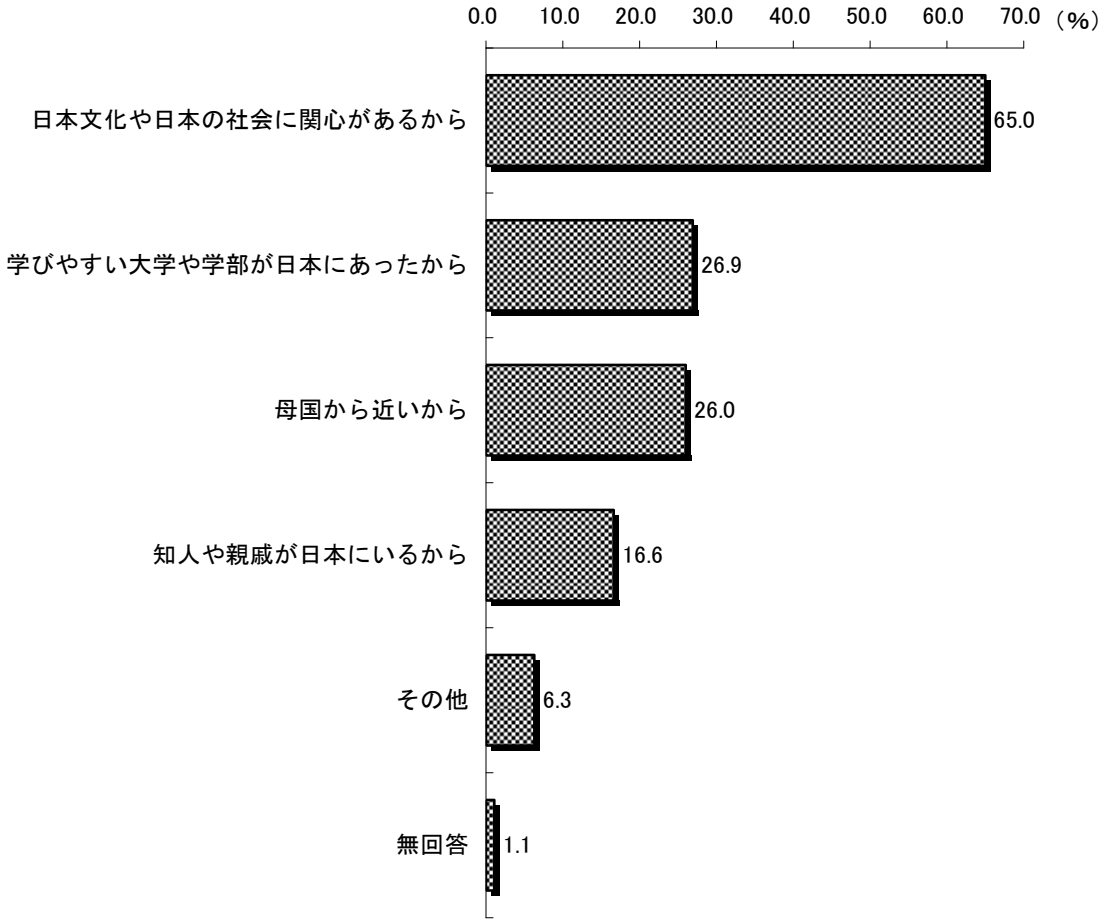
注:図表中の「網掛け」は、性別、年齢別などの各クロス集計において最も高い割合を示している。
（例／性別の場合、男性と女性を比べて高い方に網掛け。）
但し、回答割合が10%未満の項目、及びn数が10未満の項目については網掛けは除外している。
「無回答」は表記から除外している。
本報告書においては、以下同様としている。

２．留学先に日本を選んだ理由

Q3. 留学先に日本を選んだ理由は何でしょうか？（複数回答可）

留学先に日本を選んだ理由については、「日本文化や日本の社会に関心があるから」が65.0％と最も多くなっている。以下「学びやすい大学や学部が日本にあったから」（26.9％）、「母国から近いから」（26.0％）、「知人や親戚が日本にいるから」（16.6％）の順となっている。

図表11　Q3. 留学先に日本を選んだ理由
全体(N=646)



性別では、大きな男女差は目立たない。

年齢別では、30 歳以上で「日本文化や日本の社会に関心があるから」「学びやすい大学や学部が日本にあったから」が、他の年齢層に比べ多くみられる。

所属別では、「短大１年・短大２年」において「知人や親戚が日本にいるから」が、「修士２年」において「学びやすい大学や学部が日本にあったから」が他に比べて多くみられる。

図表12　Q3. 留学先に日本を選んだ理由（%）

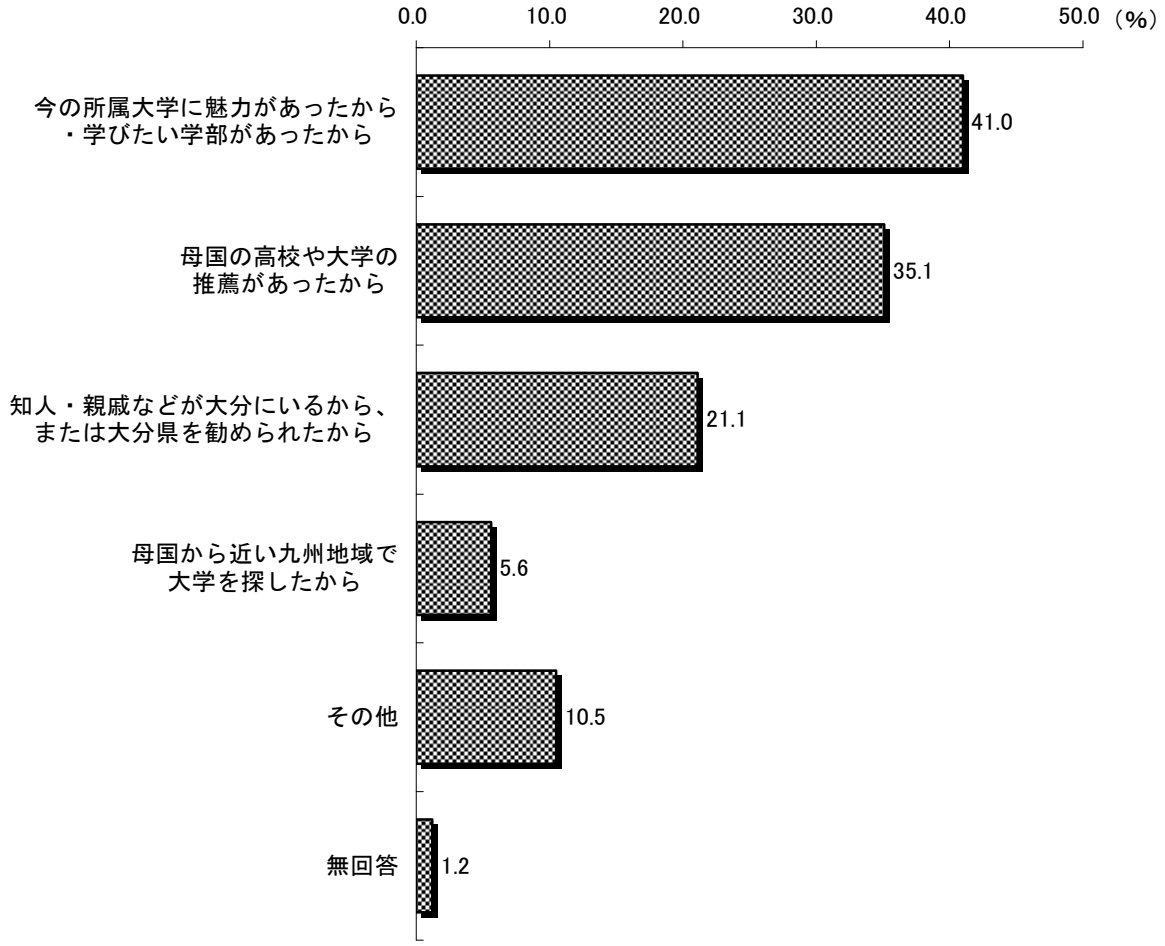
	日本文化や日本の社会に関心があるから	学びやすい大学や学部が日本にあったから	母国から近いから	知人や親戚が日本にいるから	その他
全体(N=646)	65.0	26.9	26.0	16.6	6.3
男性(n=296)	66.6	29.1	24.0	15.2	5.1
女性(n=344)	64.2	24.7	27.9	17.4	7.6
20歳未満(n=20)	75.0	30.0	20.0	10.0	5.0
20歳～24歳(n=458)	63.5	25.3	26.9	15.7	7.6
25歳～29歳(n=127)	64.6	29.9	27.6	22.0	2.4
30歳～(n=36)	80.6	36.1	13.9	11.1	5.6
短大1年・短大2年(n=168)	65.5	24.4	29.8	23.8	4.8
高専3年・高専4年・高専5年(n=4)	100.0	75.0	25.0	0.0	0.0
大学1年・大学2年(n=2)	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
大学3年(n=226)	67.3	21.7	27.4	14.2	5.3
大学4年(n=159)	57.2	26.4	23.9	13.8	10.7
修士1年(n=39)	74.4	41.0	17.9	15.4	2.6
修士2年(n=37)	73.0	48.6	21.6	13.5	8.1
博士後期課程(n=3)	100.0	66.7	33.3	33.3	0.0

３．留学先に大分県を選んだ理由

Q4.　留学先に大分県を選んだ理由は何でしょうか？（複数回答可）

留学先に大分県を選んだ理由については、「今の所属大学に魅力があったから・学びたい学部があったから」が 41.0%と最も多く、次いで「母国の高校や大学の推薦があったから」（35.1%）、「知人・親戚などが大分にいるから、または大分県を勧められたから」（21.1%）などの順となっている。

図表13　Q4. 留学先に大分県を選んだ理由
全体(N=646)



性別では、女性の「母国の高校や大学の推薦があったから」で、男性との差がやや多いが、全体的に大きな男女差は目立たない。

年齢別では、30 歳以上で「今の所属大学に魅力があったから・学びたい学部があったから」、20 歳未満で「母国の高校や大学の推薦があったから」「母国から近い九州地域で大学を探したから」が、それぞれ他の年齢層に比べ多くみられる。

所属別では、「短大１年・短大２年」において「母国の高校や大学の推薦があったから」が、「修士２年」において「今の所属大学に魅力があったから・学びたい学部があったから」がそれぞれ他に比べ多くみられる。

図表14 Q4. 留学先に大分県を選んだ理由（%）

	今の所属大学に魅力があったから・学びたい学部があったから	母国の高校や大学の推薦があったから	知人・親戚などが大分にいるから、または大分県を勧められたから	母国から近い九州地域で大学を探したから	その他
全体(N=646)	41.0	35.1	21.1	5.6	10.5
男性(n=296)	39.2	30.7	24.7	6.4	10.1
女性(n=344)	42.7	38.4	18.0	4.7	11.0
20歳未満(n=20)	35.0	45.0	25.0	10.0	5.0
20歳～24歳(n=458)	40.8	37.8	19.4	4.4	10.3
25歳～29歳(n=127)	40.2	27.6	28.3	9.4	10.2
30歳～(n=36)	50.0	25.0	16.7	5.6	19.4
短大1年・短大2年(n=168)	23.8	49.4	27.4	7.1	4.8
高専3年・高専4年・高専5年(n=4)	0.0	75.0	0.0	25.0	0.0
大学1年・大学2年(n=2)	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
大学3年(n=226)	45.1	35.4	17.3	4.9	9.3
大学4年(n=159)	49.7	22.0	23.9	3.1	16.4
修士1年(n=39)	48.7	23.1	17.9	5.1	20.5
修士2年(n=37)	54.1	35.1	10.8	8.1	8.1
博士後期課程(n=3)	66.7	66.7	33.3	66.7	0.0

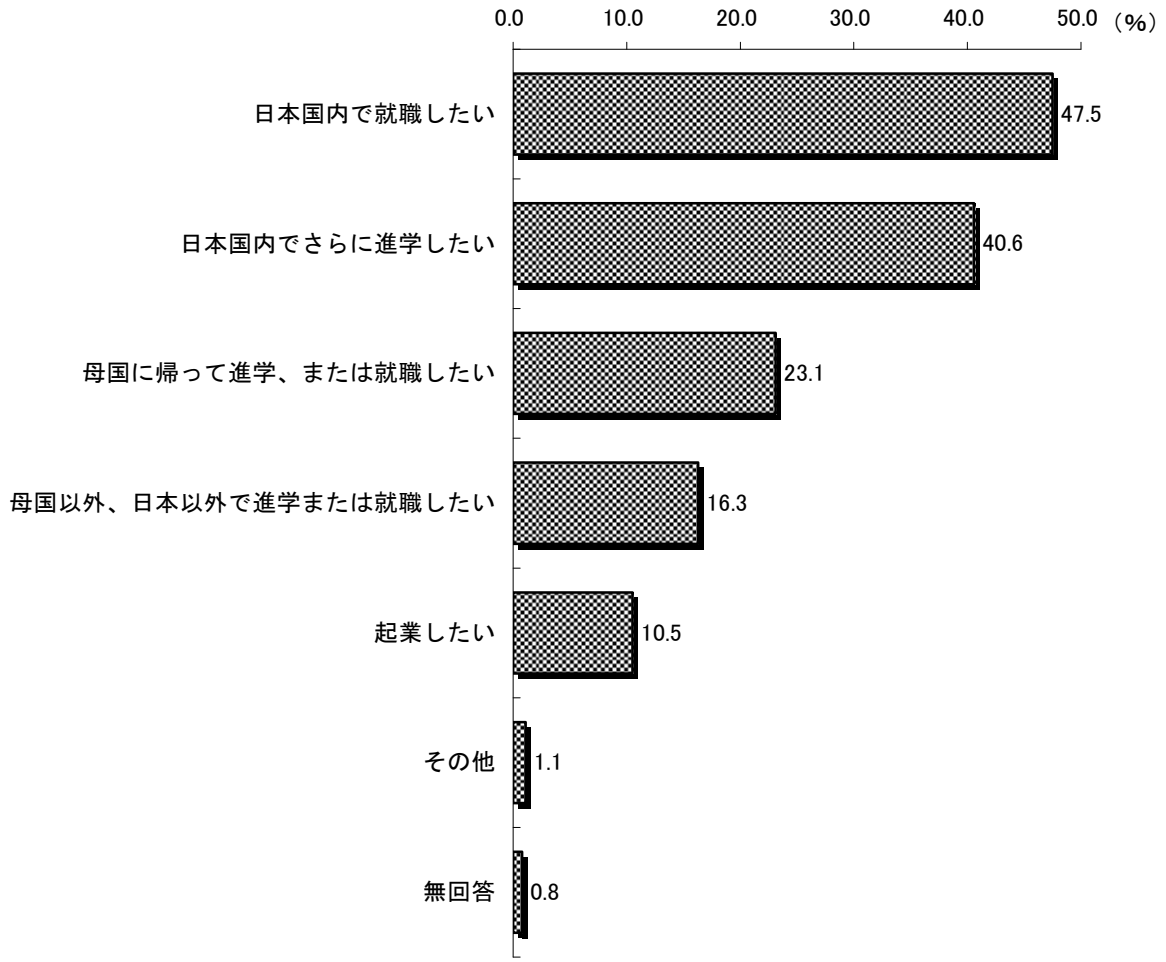
４．卒業後の希望

（１）卒業後の希望

Q5. 現在、卒業したらどうしたいと考えていますか？（複数回答可）

卒業後の希望については、「日本国内で就職したい」が半数近く（47.5%）で最も多く、次いで「日本国内でさらに進学したい」が４割（40.6%）で続いている。以下「母国に帰って進学、または就職したい」（23.1%）、「母国以外、日本以外で進学または就職したい」（16.3%）の順となっている。

図表15　Q5. 卒業後の希望
全体(N=646)



性別では、女性の「母国以外、日本以外で進学または就職したい」で男性との差がやや多いが、全体的に大きな男女差は目立たない。

年齢別では、年齢の若い層ほど「日本国内でさらに進学したい」「母国以外、日本以外で進学または就職したい」、逆に年齢が上がるほど「母国に帰って進学、または就職したい」が多くみられる。また、25～29 歳では「日本国内で就職したい」が、他の年齢層を大きく上回っている。

所属別では、「短大１年・短大２年」において「日本国内でさらに進学したい」が他に比べて多いのが目立っている。

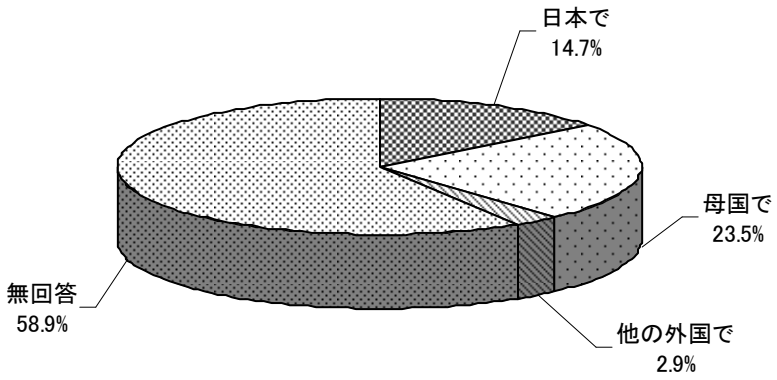
図表16 Q5. 卒業後の希望（%）

	日本国内で就職したい	日本国内でさらに進学したい	母国に帰って進学、または就職したい	母国以外、日本以外で進学または就職したい	起業したい	その他
全体(N=646)	47.5	40.6	23.1	16.3	10.5	1.1
男性(n=296)	47.6	42.6	19.6	11.5	11.1	1.0
女性(n=344)	47.7	38.7	26.2	20.3	9.9	1.2
20歳未満(n=20)	30.0	60.0	20.0	20.0	10.0	0.0
20歳～24歳(n=458)	46.9	41.9	22.3	17.5	8.1	0.7
25歳～29歳(n=127)	59.1	36.2	17.3	14.2	16.5	2.4
30歳～(n=36)	27.8	30.6	55.6	5.6	22.2	2.8
短大1年・短大2年(n=168)	29.2	77.4	14.9	7.7	8.9	1.2
高専3年・高専4年・高専5年(n=4)	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大学1年・大学2年(n=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
大学3年(n=226)	59.3	23.0	27.4	22.1	9.3	0.9
大学4年(n=159)	49.1	30.2	19.5	16.4	11.3	0.6
修士1年(n=39)	53.8	33.3	28.2	15.4	17.9	2.6
修士2年(n=37)	40.5	29.7	48.6	21.6	16.2	2.7
博士後期課程(n=3)	100.0	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0

（２）起業したい国

卒業後の希望において、「起業したい」（10.5%）の回答者に更に詳しく国名を聞いた。「起業したい国」は、「母国で」（23.5%）が最も多くなっている。

図表17　Q5-1．起業したい国（%）
全体(n=68)



５．日本での就職について

（１）日本での就職希望

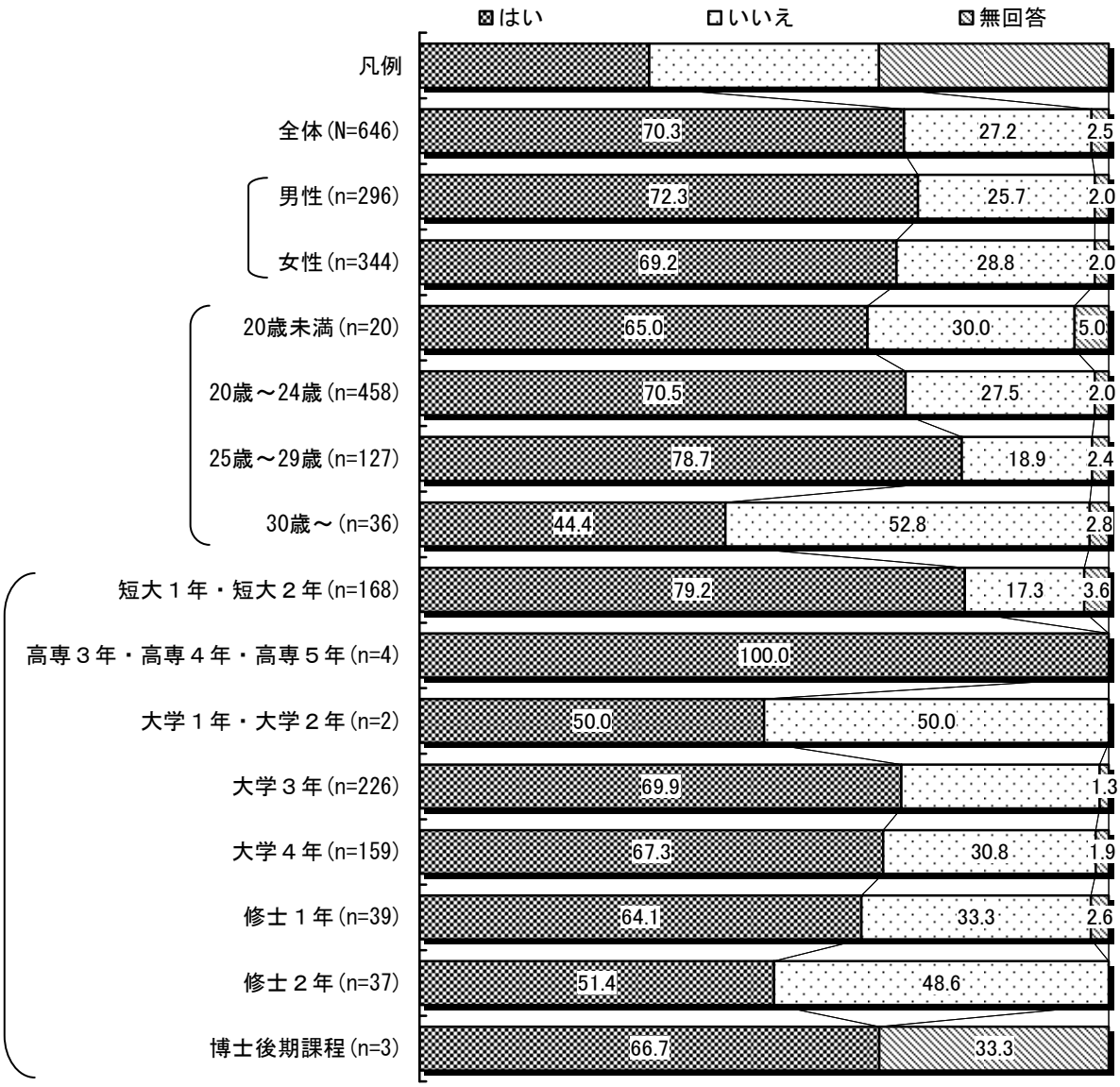
Q6. 日本で就職したいですか？

日本での就職希望については、「はい（日本で就職したい）」が 70.3%と多くを占める。

性別では、大きな差は目立たないが、年齢別では 29 歳以下の年齢層においては「はい」が多いが、30 歳を過ぎると「いいえ」が過半数を占めている。

所属別では、それぞれ「はい」が半数以上を占めており、特に「短大１年・短大２年」において多くみられる。

図表18　Q6. 日本での就職希望（%）



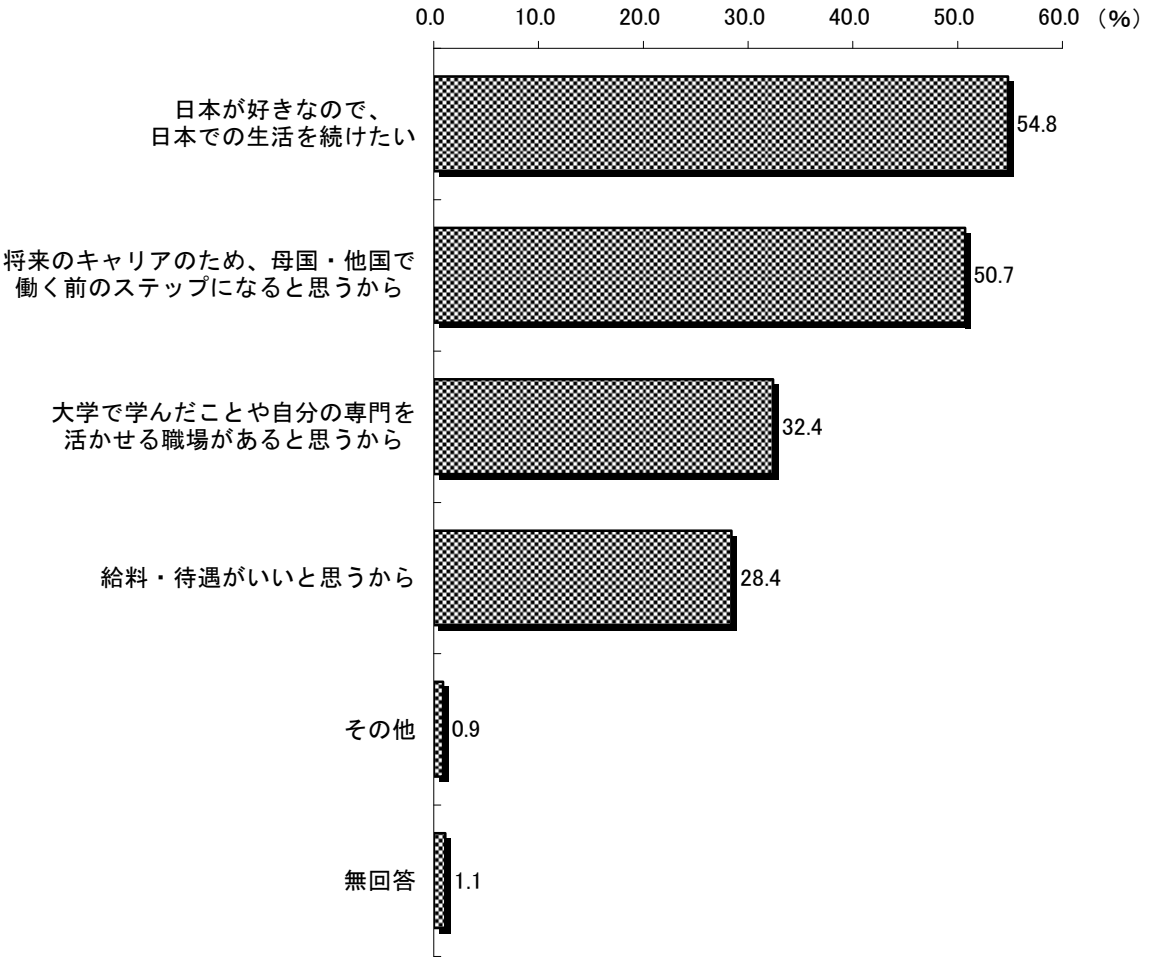
（２）日本で就職したい理由

Q６ではいと回答された方のみにお尋ねします。いいえと回答した方は Q１４の生活面の調査へお進みください。Q7．どうして日本で就職したいですか？(複数回答可)

日本で就職したいと回答した学生(454 名)に、日本で就職したい理由を聞いた(Q6～Q13)。

日本で就職したい理由については、「日本が好きなので、日本での生活を続けたい」が 54.8%と最も多く、「将来のキャリアのため、母国・他国で働く前のステップになると思うから」が 50.7%と近い割合で多くなっている。以下、「大学で学んだことや自分の専門を活かせる職場があると思うから」(32.4%)、「給料・待遇がいいと思うから」(28.4%) の順となっている。

図表19　Q7．日本で就職したい理由
全体(n=454)



性別では、女性の「大学で学んだことや自分の専門を活かせる職場があると思うから」で男性との差がやや多いが、全体的に大きな男女差は目立たない。

年齢別では、20 歳未満で「大学で学んだことや自分の専門を活かせる職場があると思うから」「給料・待遇がいいと思うから」、30 歳以上で「日本が好きなので、日本での生活を続けたい」などが、それぞれ他の年齢層を上回って多く見られる。

所属別では、「修士１年」において「将来のキャリアのため、母国・他国で働く前のステップになると思うから」が他と比べて多くみられる。

図表20　Q7. 日本で就職したい理由（%）

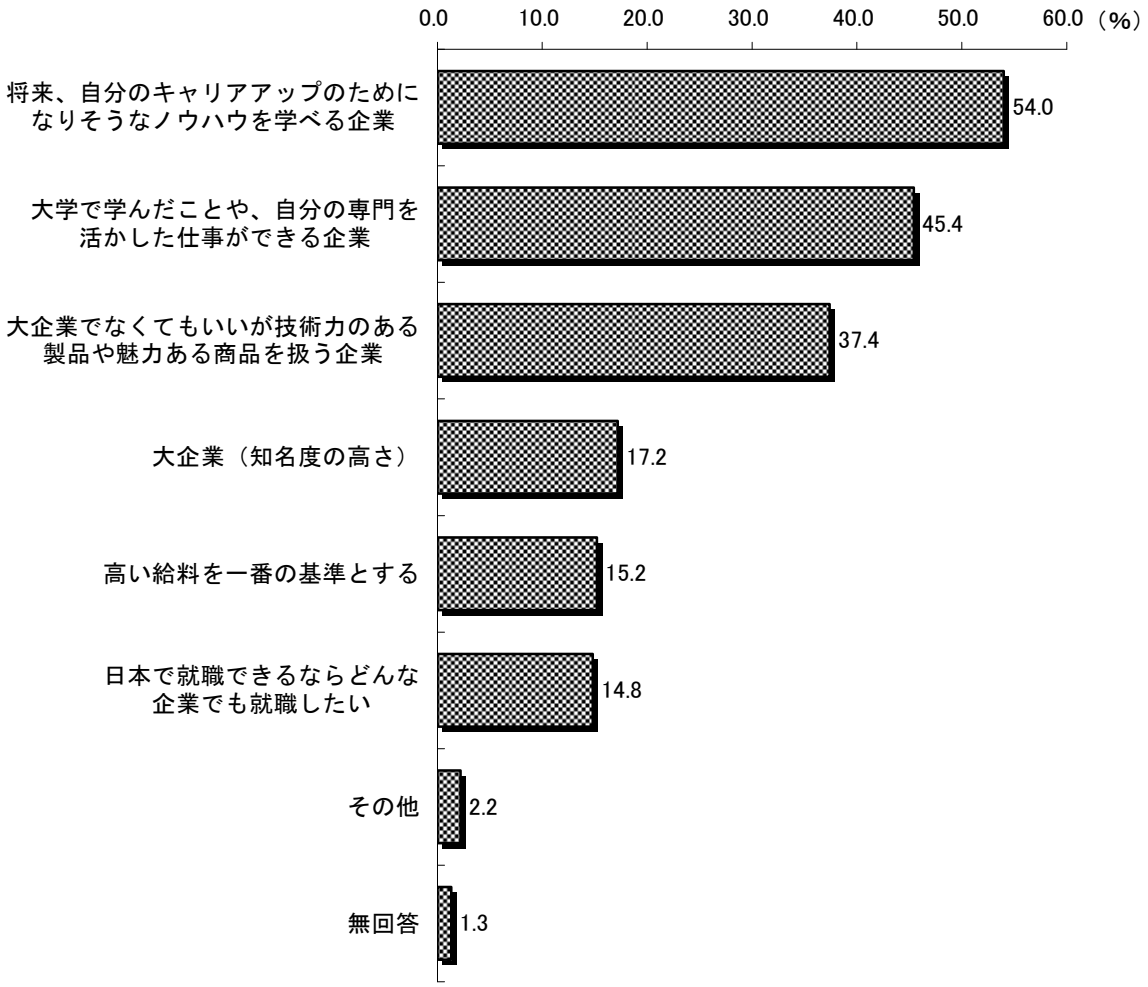
	日本が好きなので、日本での生活を続けたい	将来のキャリアのため、母国・他国で働く前のステップになると思うから	大学で学んだことや自分の専門を活かせる職場があると思うから	給料・待遇がいいと思うから	その他
全体(n=454)	54.8	50.7	32.4	28.4	0.9
男性(n=214)	55.6	49.5	27.1	29.9	0.5
女性(n=238)	54.2	51.7	37.4	26.9	1.3
20歳未満(n=13)	53.8	23.1	46.2	46.2	0.0
20歳～24歳(n=323)	53.6	51.1	31.0	29.1	0.9
25歳～29歳(n=100)	57.0	55.0	36.0	22.0	0.0
30歳～(n=16)	68.8	37.5	31.3	37.5	6.3
短大1年・短大2年(n=133)	61.7	36.8	30.8	26.3	0.0
高専3年・高専4年・高専5年(n=4)	50.0	75.0	75.0	25.0	0.0
大学1年・大学2年(n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大学3年(n=158)	51.3	57.6	30.4	32.3	0.6
大学4年(n=107)	48.6	55.1	30.8	27.1	1.9
修士1年(n=25)	64.0	60.0	44.0	36.0	0.0
修士2年(n=19)	57.9	42.1	42.1	15.8	5.3
博士後期課程(n=2)	100.0	50.0	100.0	50.0	0.0

（３）就職先の企業を選ぶ基準

Q8. 就職先の企業を選ぶ基準は？(複数回答可)

就職先の企業を選ぶ基準については、「将来、自分のキャリアアップのためになりそうなノウハウを学べる企業」が 54.0%と半数を超えて最も多く、次いで「大学で学んだことや、自分の専門を活かした仕事ができる企業」（45.4%）、「大企業でなくてもいいが技術力のある製品や魅力ある商品を扱う企業」（37.4%）、「大企業（知名度の高さ）」（17.2%）の順となっている。

図表21　Q8. 就職先の企業を選ぶ基準
全体(n=454)



性別では、女性の「大企業でなくてもいいが技術力のある製品や魅力ある商品を扱う企業」で男性との差がやや多いが、全体的に大きな男女差は目立たない。

年齢別では、20～24 歳で「大企業（知名度の高さ）」、30 歳以上で「高い給料を一番の基準とする」「日本で就職できるならどんな企業でも就職したい」などが、それぞれ他の年齢層を上回って多く見られる。

所属別では、「修士２年」において「大企業でなくてもいいが技術力のある製品や魅力ある商品を扱う企業」「高い給料を一番の基準とする」が他と比べて多くみられる。

図表22 Q8. 就職先の企業を選ぶ基準（%）

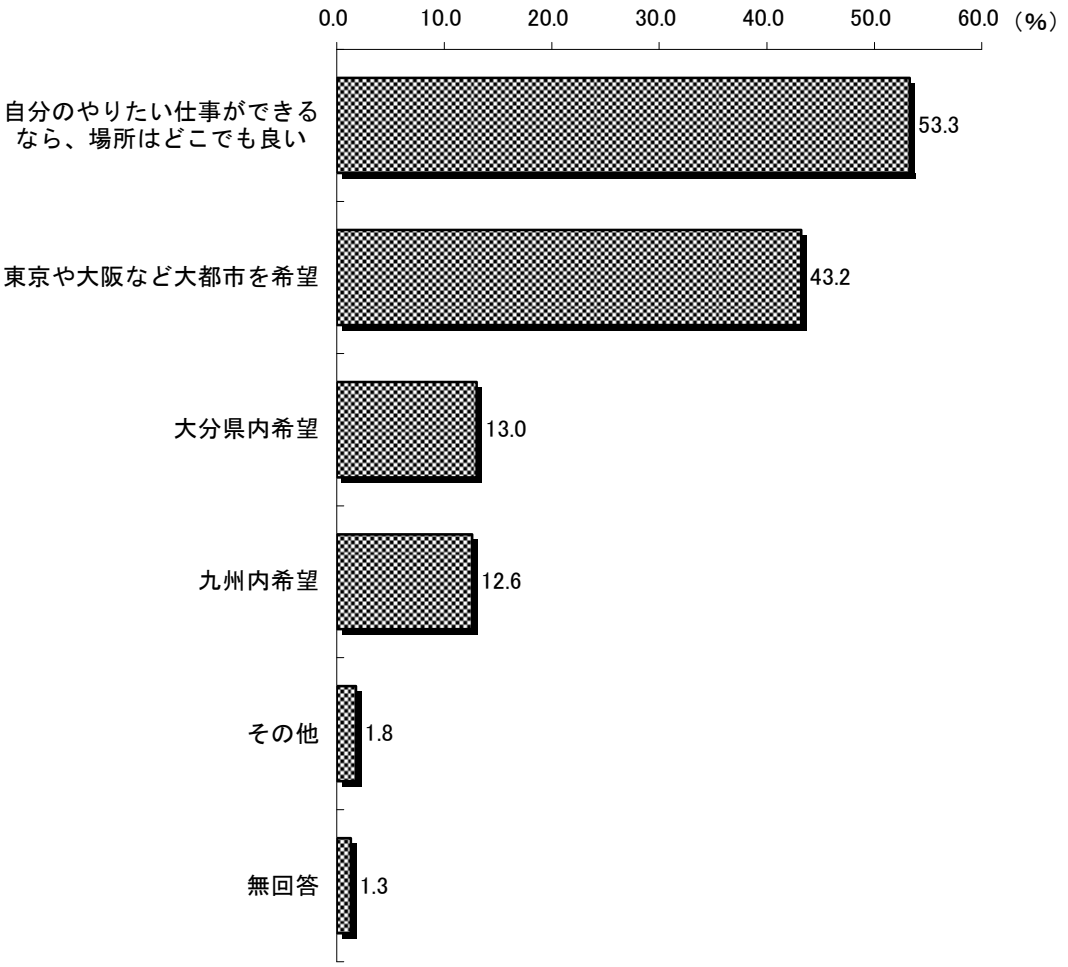
	将来、自分のキャリアアップのためになりそうなノウハウを学べる企業	大学で学んだことや、自分の専門を活かした仕事ができる企業	大企業でなくてもいいが技術力のある製品や魅力ある商品を扱う企業	大企業（知名度の高さ）	高い給料を一番の基準とする	日本で就職できるならどんな企業でも就職したい	その他
全体(n=454)	54.0	45.4	37.4	17.2	15.2	14.8	2.2
男性(n=214)	56.5	45.3	31.8	14.5	15.0	18.2	0.9
女性(n=238)	51.7	45.8	42.4	18.9	15.5	11.8	3.4
20歳未満(n=13)	53.8	61.5	23.1	0.0	15.4	7.7	0.0
20歳～24歳(n=323)	53.6	41.5	37.5	20.1	16.4	13.9	2.2
25歳～29歳(n=100)	54.0	54.0	40.0	11.0	10.0	18.0	3.0
30歳～(n=16)	56.3	56.3	25.0	6.3	25.0	18.8	0.0
短大1年・短大2年(n=133)	38.3	46.6	33.8	15.0	12.8	13.5	2.3
高専3年・高専4年・高専5年(n=4)	100.0	75.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
大学1年・大学2年(n=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大学3年(n=158)	62.0	44.3	36.7	20.3	17.7	13.9	1.3
大学4年(n=107)	61.7	38.3	39.3	13.1	11.2	16.8	1.9
修士1年(n=25)	52.0	56.0	32.0	24.0	12.0	16.0	4.0
修士2年(n=19)	36.8	52.6	57.9	15.8	26.3	21.1	5.3
博士後期課程(n=2)	50.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0

（４）希望勤務地

Q9. 勤務地について(複数回答可)

希望勤務地については、「自分のやりたい仕事ができるなら、場所はどこでも良い」が 53.3%と最も多く、次いで「東京や大阪など大都市を希望」（43.2%）、「大分県内希望」（13.0%）、「九州内希望」（12.6%）の順となっている。

図表23　Q9. 希望勤務地
全体(n=454)



性別では、女性の「東京や大阪など大都市を希望」で男性との差がやや多いが、全体的に大きな男女差は目立たない。

年齢別では、20 歳未満で「大分県内希望」、20～24 歳では「東京や大阪など大都市を希望」、30 歳以上では「九州内希望」がそれぞれ他の年齢層を上回って多いが、25～29 歳では「自分のやりたい仕事ができるなら、場所はどこでも良い」が多くなっている。

所属別では、「修士１年」において「九州内希望」が他と比べて多くなっている。

図表24 Q9. 希望勤務地（%）

	自分のやりたい仕事ができるなら、場所はどこでも良い	東京や大阪など大都市を希望	大分県内希望	九州内希望	その他
全体(n=454)	53.3	43.2	13.0	12.6	1.8
男性(n=214)	57.5	35.5	13.1	10.7	2.3
女性(n=238)	49.6	49.6	13.0	14.3	1.3
20歳未満(n=13)	46.2	38.5	23.1	7.7	0.0
20歳～24歳(n=323)	48.9	49.2	12.7	10.8	1.2
25歳～29歳(n=100)	67.0	27.0	14.0	18.0	3.0
30歳～(n=16)	56.3	25.0	6.3	18.8	6.3
短大1年・短大2年(n=133)	48.9	54.1	15.8	9.8	2.3
高専3年・高専4年・高専5年(n=4)	75.0	50.0	0.0	0.0	0.0
大学1年・大学2年(n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
大学3年(n=158)	53.2	43.0	12.7	15.2	1.9
大学4年(n=107)	48.6	37.4	13.1	13.1	0.9
修士1年(n=25)	72.0	20.0	12.0	20.0	4.0
修士2年(n=19)	73.7	15.8	0.0	5.3	0.0
博士後期課程(n=2)	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0

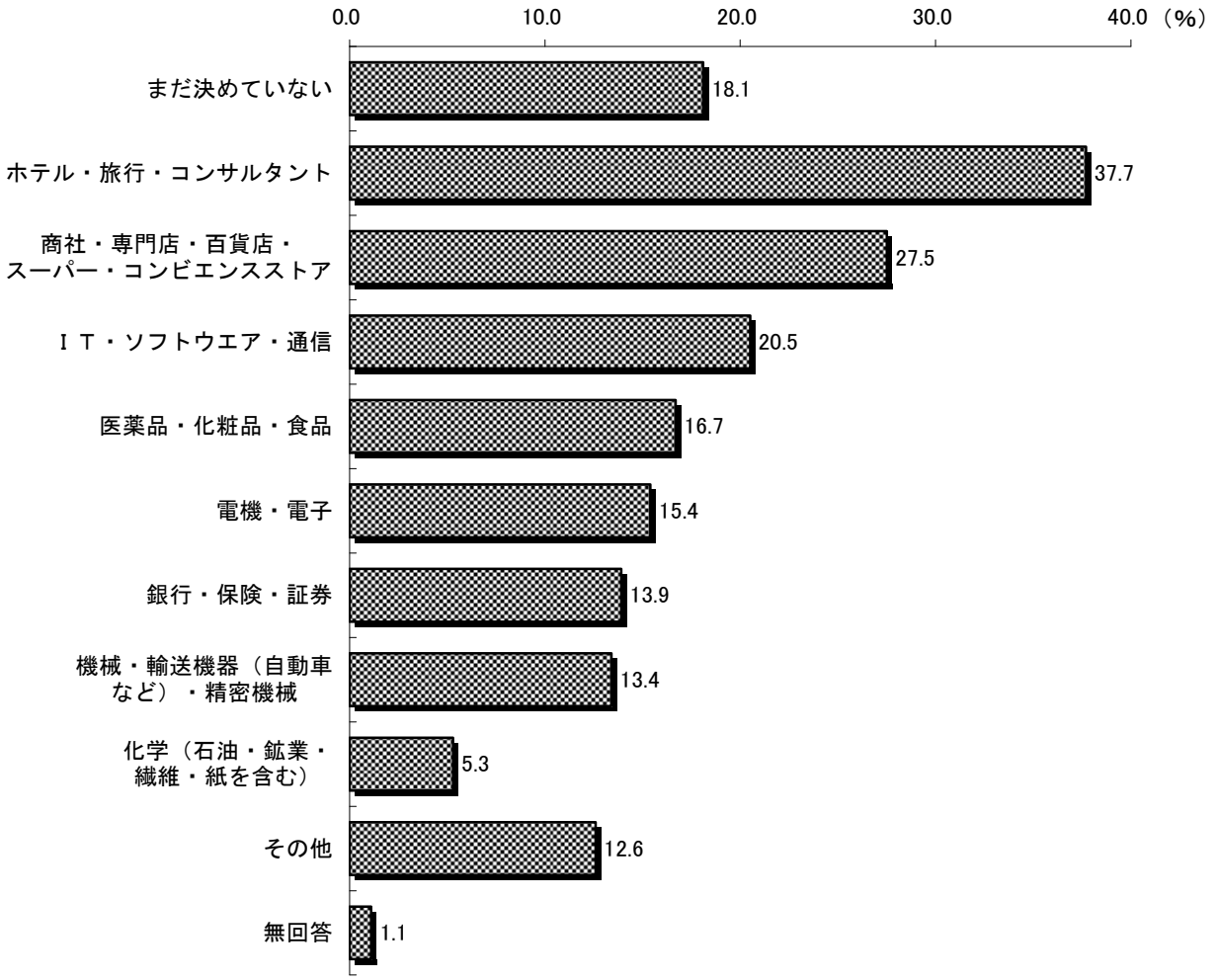
（５）希望する業界

Q10. 希望する業界は何ですか？(複数回答可)

希望する業界については、「ホテル・旅行・コンサルタント」が 37.7%と最も多く、次いで「商社・専門店・百貨店・スーパー・コンビエンスストア」（27.5%）、「ＩＴ・ソフトウエア・通信」（20.5%）、「医薬品・化粧品・食品」（16.7%）、「電機・電子」（15.4%）などの順となっている。

なお、「まだ決めていない」が 18.1%みられた。

図表25　Q10. 希望する業界
全体(n=454)



性別では、女性において「ホテル・旅行・コンサルタント」「医薬品・化粧品・食品」、男性で「機械・輸送機器（自動車など）・精密機械」などにおいて、それぞれ男女差が目立っている。

年齢別では、20 歳未満において「医薬品・化粧品・食品」「電機・電子」「機械・輸送機器（自動車など）・精密機械」、20 歳～24 歳では「銀行・保険・証券」、25 歳～29 歳では「ホテル・旅行・コンサルタント」などにおいて、他の年齢層との差が目立っている。

所属別では、「短大１年・短大２年」において「まだ決めていない」が、「大学４年」において「商社・専門店・百貨店・スーパー・コンビエンスストア」が、それぞれ他と比べて差が大きくなっている。

図表26 Q10. 希望する業界（%）

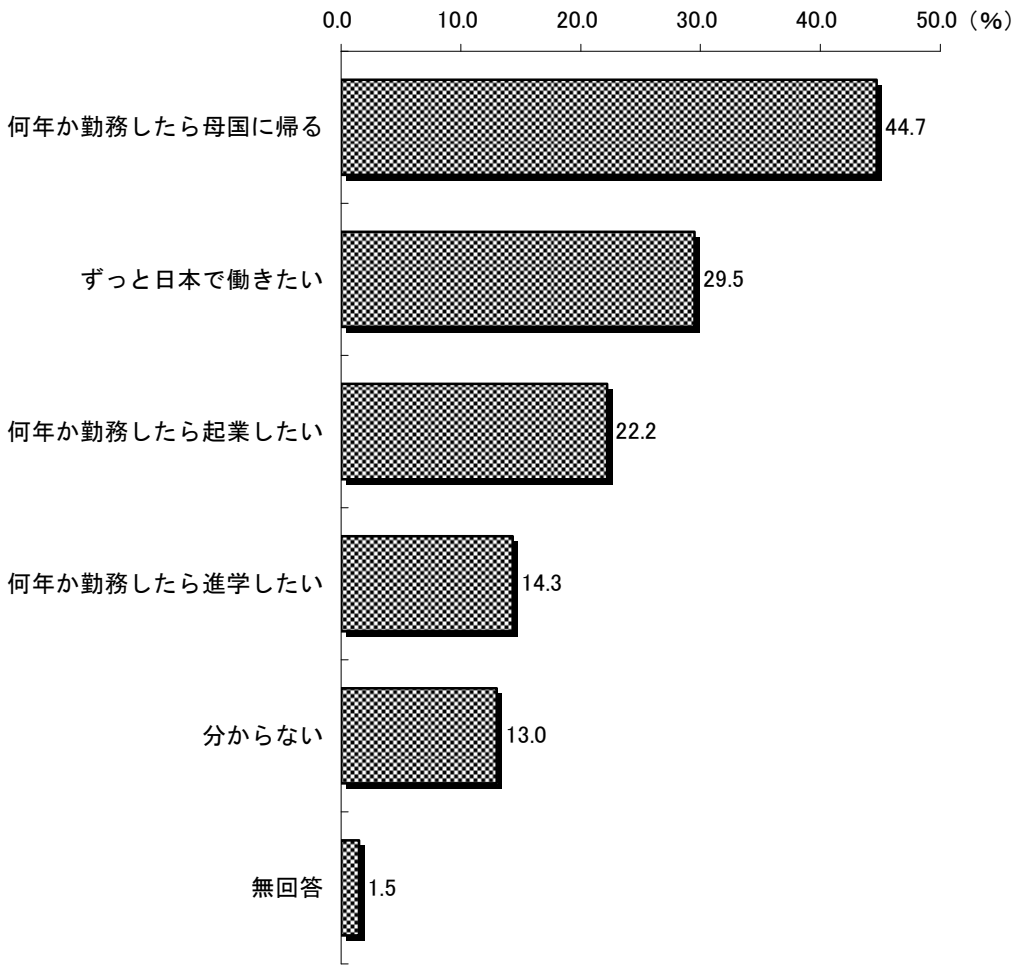
	まだ決めていない	ホテル・旅行・コンサルタント	商社・専門店・百貨店・スーパー・コンビエンスストア	IT・ソフトウエア・通信	医薬品・化粧品・食品	電機・電子	銀行・保険・証券	機械・輸送機器（自動車など）・精密機械	化学（石油・鉱業・繊維・紙を含む）	その他
全体(n=454)	18.1	37.7	27.5	20.5	16.7	15.4	13.9	13.4	5.3	12.6
男性(n=214)	16.4	29.9	23.4	24.8	8.4	20.1	14.5	21.0	5.6	12.6
女性(n=238)	19.3	45.0	31.1	16.4	24.4	10.9	13.4	6.7	5.0	12.6
20歳未満(n=13)	7.7	38.5	23.1	15.4	30.8	23.1	0.0	30.8	7.7	7.7
20歳～24歳(n=323)	20.1	35.9	26.9	20.7	17.6	16.4	16.1	11.5	6.2	10.5
25歳～29歳(n=100)	12.0	45.0	30.0	21.0	13.0	13.0	10.0	20.0	2.0	15.0
30歳～(n=16)	18.8	25.0	31.3	18.8	12.5	6.3	6.3	0.0	6.3	43.8
短大1年・短大2年(n=133)	24.1	34.6	21.1	17.3	15.0	18.8	10.5	14.3	0.8	12.0
高専3年・高専4年・高専5年(n=4)	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0
大学1年・大学2年(n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大学3年(n=158)	17.7	41.8	25.3	24.1	17.7	13.9	15.2	10.8	7.6	10.1
大学4年(n=107)	15.0	38.3	39.3	14.0	14.0	15.0	13.1	15.0	4.7	13.1
修士1年(n=25)	16.0	36.0	20.0	28.0	28.0	16.0	20.0	8.0	12.0	16.0
修士2年(n=19)	10.5	36.8	31.6	26.3	26.3	0.0	10.5	15.8	5.3	26.3
博士後期課程(n=2)	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0

（６）日本で就職した場合の将来について

Q11．日本で就職した場合、将来はどうしたいですか？（複数回答可）

日本で就職した場合の将来については、「何年か勤務したら母国に帰る」が 44.7%と最も多く、次いで「ずっと日本で働きたい」（29.5%）、「何年か勤務したら起業したい」（22.2%）の順となっている。

図表27　Q11．日本で就職した場合の将来について
全体(n=454)



性別では、女性で「何年か勤務したら母国に帰る」、男性で「ずっと日本で働きたい」などにおいて、それぞれ男女差が目立っている。

年齢別では、20 歳未満及び 30 歳以上において「何年か勤務したら起業したい」、20 歳～24 歳において「何年か勤務したら進学したい」などにおいて、他の年齢層との差が目立っている。

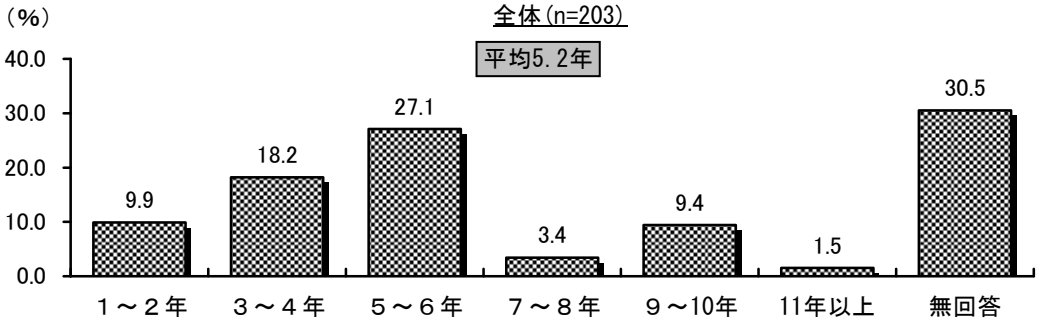
所属別では「修士２年」において「ずっと日本で働きたい」が他と比べて多くなっているのが目立っている。

図表28 Q11. 日本で就職した場合の将来について（%）

	何年か勤務したら母国に帰る	ずっと日本で働きたい	何年か勤務したら起業したい	何年か勤務したら進学したい	分からない
全体(n=454)	44.7	29.5	22.2	14.3	13.0
男性(n=214)	38.3	35.5	24.3	9.3	11.7
女性(n=238)	50.0	24.4	20.6	18.9	14.3
20歳未満(n=13)	46.2	30.8	38.5	0.0	15.4
20歳～24歳(n=323)	46.4	28.8	18.9	17.0	13.3
25歳～29歳(n=100)	40.0	31.0	29.0	8.0	12.0
30歳～(n=16)	37.5	37.5	37.5	6.3	12.5
短大1年・短大2年(n=133)	42.1	36.1	23.3	6.0	13.5
高専3年・高専4年・高専5年(n=4)	75.0	25.0	25.0	0.0	0.0
大学1年・大学2年(n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大学3年(n=158)	47.5	24.7	19.6	18.4	12.0
大学4年(n=107)	45.8	25.2	23.4	16.8	14.0
修士1年(n=25)	48.0	32.0	24.0	12.0	16.0
修士2年(n=19)	26.3	52.6	31.6	21.1	5.3
博士後期課程(n=2)	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0

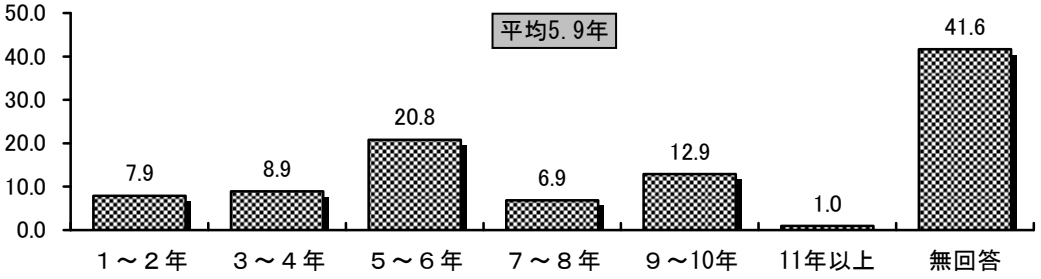
「何年か勤務したら母国に帰る」の回答者では「5～6 年」の勤務が最も多く希望されている。平均は 5.2 年である。

図表29　Q11. ③何年か勤務したら母国に帰る場合／希望勤務年数
全体(n=203)



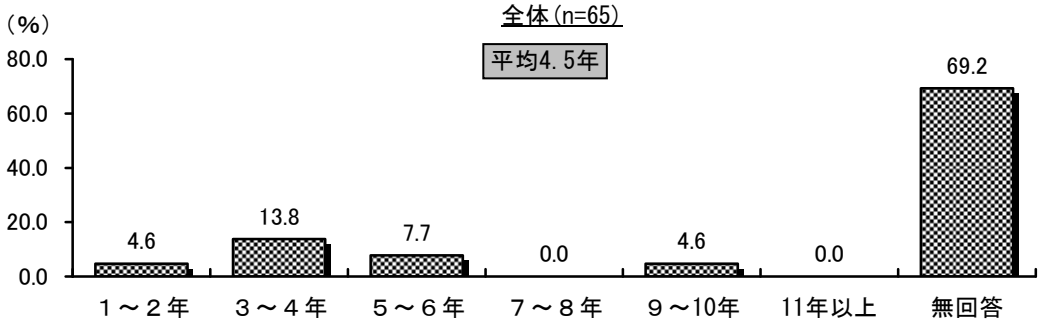
「何年か勤務したら起業したい」の回答者では「5～6 年」の勤務が最も多く希望されている。平均は 5.9 年である。

図表30　Q11. ④何年か勤務したら起業したい場合／希望勤務年数
全体(n=101)



「何年か勤務したら進学したい」の回答者では「3～4 年」の勤務が最も多く希望されている。平均は 4.5 年である。

図表31　Q11. ⑤何年か勤務したら進学したい場合／希望勤務年数
全体(n=65)

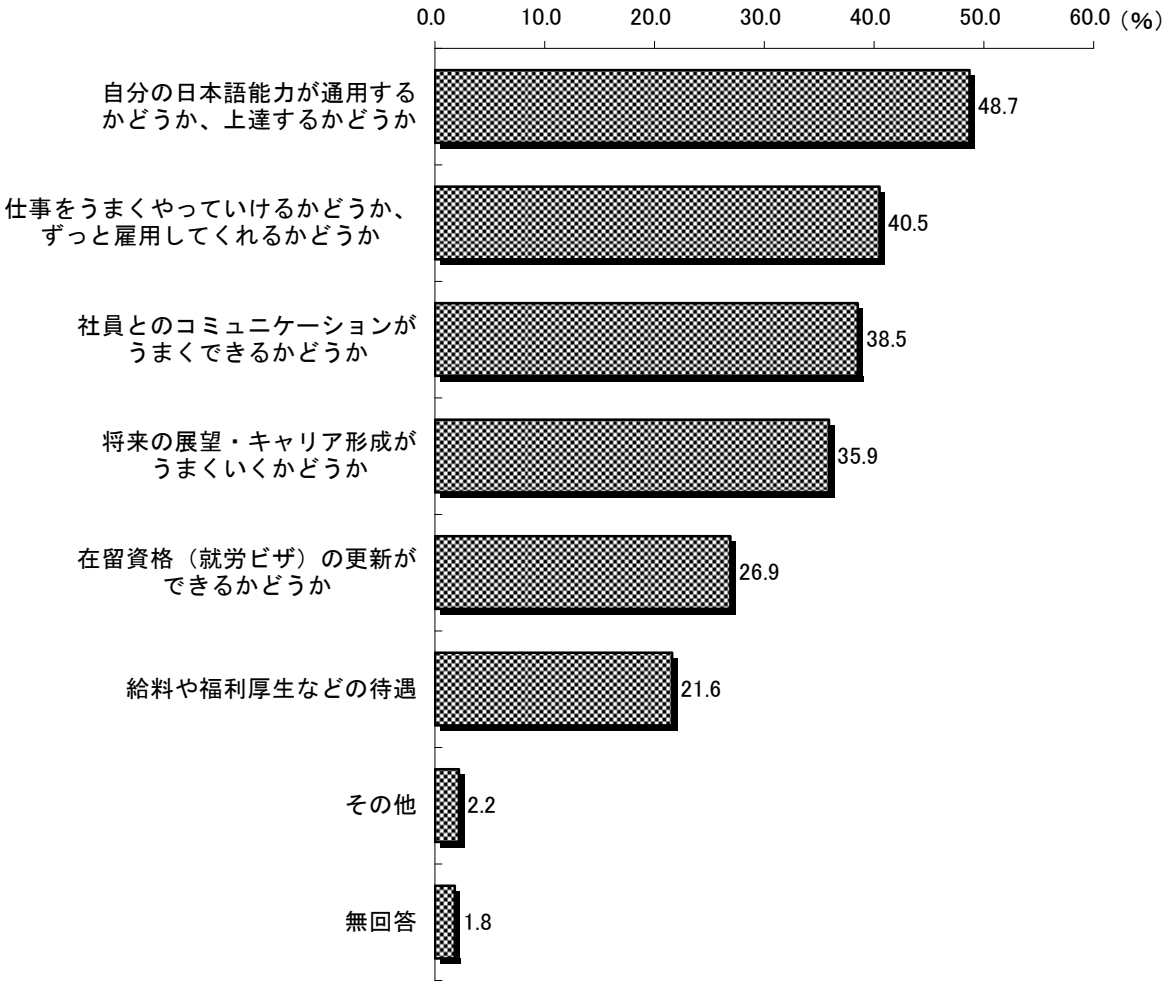


（7）日本で就職した場合の不安

Q12. 日本で就職した場合、不安なことは何ですか？(複数回答可)

日本で就職した場合の不安については、「自分の日本語能力が通用するかどうか、上達するかどうか」が 48.7%と最も多く、次いで「仕事をうまくやっていけるかどうか、ずっと雇用してくれるかどうか」（40.5%）、「社員とのコミュニケーションがうまくできるかどうか」（38.5%）、「将来の展望・キャリア形成がうまくいくかどうか」（35.9%）、「在留資格（就労ビザ）の更新ができるかどうか」（26.9%）の順となっている。

図表32 Q12. 日本で就職した場合の不安
全体(n=454)



性別では、女性で「仕事をうまくやっていけるかどうか、ずっと雇用してくれるかどうか」において、男性との差が目立っている。

年齢別では、20 歳未満において「自分の日本語能力が通用するかどうか、上達するかどうか」、20～29 歳の年齢層において「仕事をうまくやっていけるかどうか、ずっと雇用してくれるかどうか」「将来の展望・キャリア形成がうまくいくかどうか」「給料や福利厚生などの待遇」、30 歳以上において「社員とのコミュニケーションがうまくできるかどうか」「在留資格（就労ビザ）の更新ができるかどうか」などで、それぞれ年齢差が大きい。

所属別では、「修士１年」において「仕事をうまくやっていけるかどうか、ずっと雇用してくれるかどうか」「社員とのコミュニケーションがうまくできるかどうか」が他と比べて差が大きいのが目立っている。

図表33 Q12. 日本で就職した場合の不安（%）

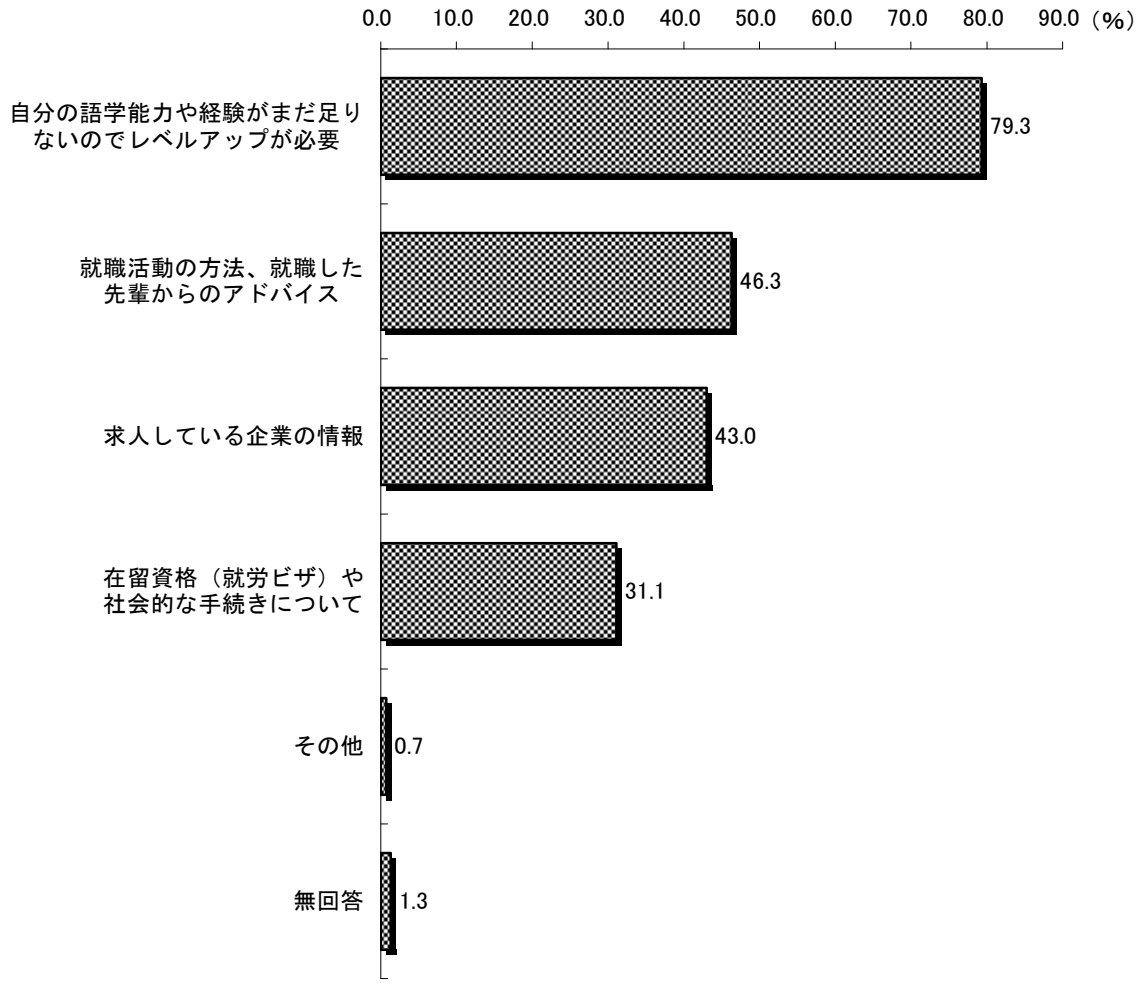
	自分の日本語能力が通用するかどうか、上達するかどうか	仕事をうまくやっていけるかどうか、ずっと雇用してくれるかどうか	社員とのコミュニケーションがうまくできるかどうか	将来の展望・キャリア形成がうまくいくかどうか	在留資格（就労ビザ）の更新ができるかどうか	給料や福利厚生などの待遇	その他
全体(n=454)	48.7	40.5	38.5	35.9	26.9	21.6	2.2
男性(n=214)	45.8	32.7	35.5	33.2	28.0	20.6	2.3
女性(n=238)	51.7	47.9	41.2	38.2	26.1	21.8	2.1
20歳未満(n=13)	61.5	30.8	30.8	30.8	23.1	7.7	0.0
20歳～24歳(n=323)	45.8	40.9	37.2	36.8	27.2	22.3	2.2
25歳～29歳(n=100)	57.0	46.0	42.0	34.0	25.0	22.0	2.0
30歳～(n=16)	50.0	6.3	50.0	25.0	37.5	18.8	6.3
短大1年・短大2年(n=133)	47.4	35.3	24.8	39.1	32.3	24.1	0.0
高専3年・高専4年・高専5年(n=4)	50.0	75.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0
大学1年・大学2年(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
大学3年(n=158)	46.2	44.3	46.8	36.1	24.7	21.5	3.8
大学4年(n=107)	49.5	38.3	35.5	35.5	20.6	18.7	1.9
修士1年(n=25)	60.0	56.0	68.0	32.0	36.0	24.0	4.0
修士2年(n=19)	68.4	36.8	31.6	15.8	36.8	10.5	0.0
博士後期課程(n=2)	0.0	0.0	100.0	50.0	50.0	50.0	0.0

（８）日本で就職活動をする時に必要と思うこと

Q13. 日本で就職活動をする時に、何が必要だと思いますか？(複数回答可)

日本で就職活動をする時に必要と思うことについては、「自分の語学能力や経験がまだ足りないのでレベルアップが必要」が８割近く（79.3%）と最も多く、次いで「就職活動の方法、就職した先輩からのアドバイス」（46.3%）、「求人している企業の情報」（43.0%）、「在留資格（就労ビザ）や社会的な手続きについて」（31.1%）の順となっている。

図表34 Q13. 日本で就職活動をする時に必要と思うこと
全体(n=454)



性別では、いずれの項目も女性の割合が高いが、大きな男女差は目立たない。

年齢別では、年齢が若い層ほど「自分の語学能力や経験がまだ足りないのでレベルアップが必要」が多い傾向にあり、逆に年齢が上がるにつれ「求人している企業の情報」が多くみられる。

所属別では、「修士１年」において「在留資格（就労ビザ）や社会的な手続きについて」が他に比べて多くみられる。

図表35 Q13. 日本で就職活動をする時に必要と思うこと(%)

	自分の語学能力や経験がまだ足りないのでレベルアップが必要	就職活動の方法、就職した先輩からのアドバイス	求人している企業の情報	在留資格（就労ビザ）や社会的な手続きについて	その他
全体(n=454)	79.3	46.3	43.0	31.1	0.7
男性(n=214)	74.3	45.3	39.7	29.4	0.9
女性(n=238)	83.6	47.1	45.4	32.4	0.4
20歳未満(n=13)	84.6	46.2	23.1	30.8	0.0
20歳～24歳(n=323)	80.8	47.7	41.2	31.6	0.9
25歳～29歳(n=100)	75.0	42.0	50.0	31.0	0.0
30歳～(n=16)	75.0	37.5	50.0	25.0	0.0
短大1年・短大2年(n=133)	82.0	36.8	30.8	35.3	0.8
高専3年・高専4年・高専5年(n=4)	75.0	100.0	50.0	50.0	0.0
大学1年・大学2年(n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
大学3年(n=158)	81.0	51.9	48.7	29.1	0.6
大学4年(n=107)	73.8	43.9	39.3	24.3	0.0
修士1年(n=25)	84.0	52.0	64.0	44.0	0.0
修士2年(n=19)	84.2	42.1	57.9	36.8	5.3
博士後期課程(n=2)	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0

６．大分県内居住年数

Q14．大分県内に住んで何年になりますか？

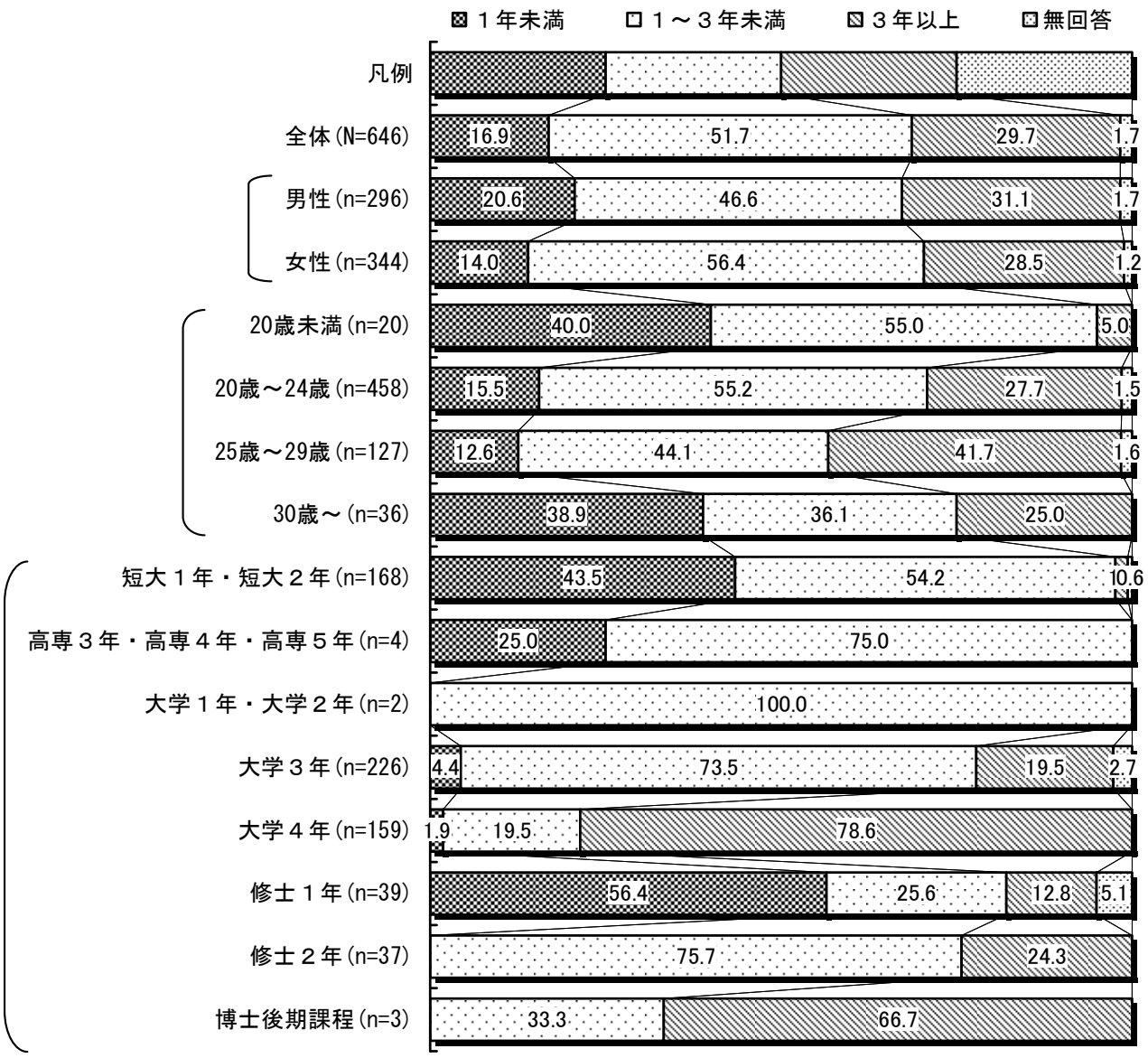
以下、Q14 から Q29 では全ての学生に尋ねた。

大分県内での居住年数については、「１～３年未満」が 51.7%と過半数を占め最も多く、「３年以上」が約３割（29.7%）、「１年未満」が 16.9%で続いている。

性別では、女性で「１～３年未満」が多く、年齢別では、20 歳未満及び 30 歳以上で「１年未満」が多くなっている。また 25～29 歳では他の年齢層に比べ「３年以上」が多くみられる。

所属別では、「大学４年」において「３年以上」が他に比べて多くみられる。

図表36　Q14. 大分県内居住年数（%）

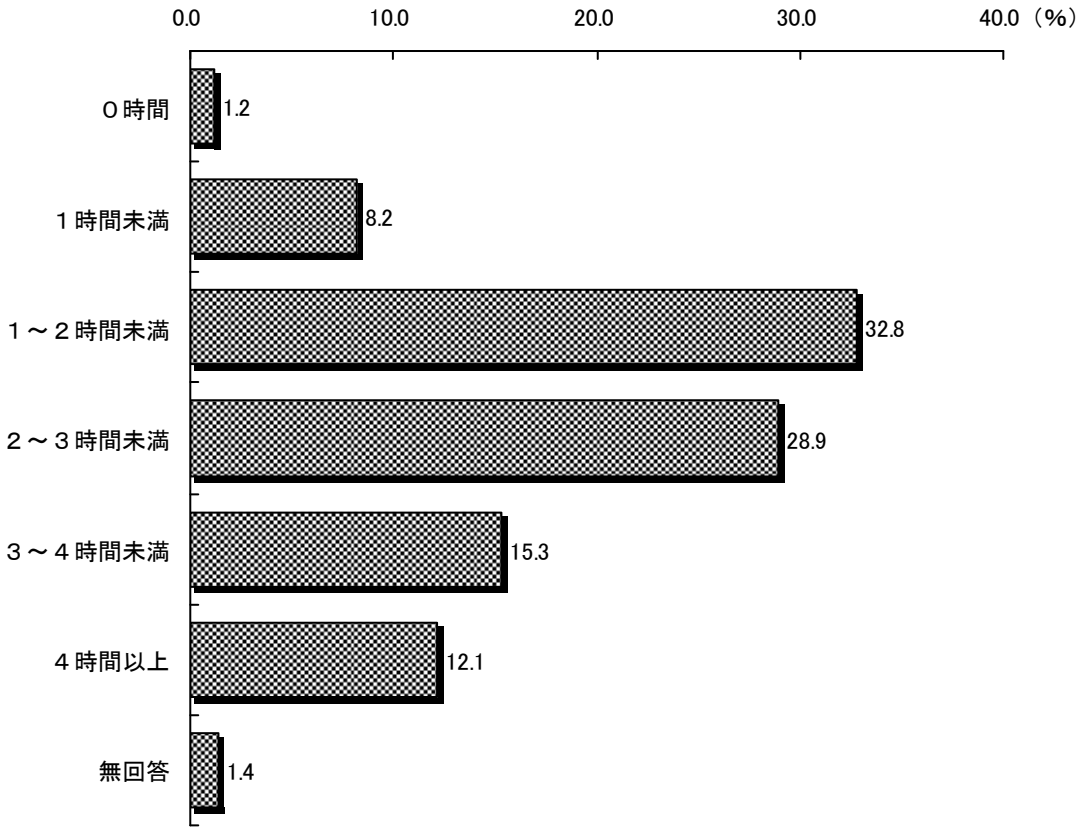


７．授業時間外の一日平均勉強時間

Q15. 授業時間外に一日に平均何時間ぐらい勉強していますか？

授業時間外の一日平均勉強時間については、「１～２時間未満」が 32.8%と最も多く、「２～３時間未満」が 28.9%でほぼ並んで続き、これら「1～3 時間未満（合計）」で全体の６割（61.7%）を占めている。以下「３～４時間未満」（15.3%）、「４時間以上」（12.1%）の順となっている。

図表37　Q15. 授業時間外の一日平均勉強時間
全体(N=646)



性別では、相対的に女性の勉強時間が長い傾向がみられる。

年齢別では、年齢が若い層ほど勉強時間が短く、年齢が上がるにつれ長い傾向がみられる。

所属別では、「修士１年」において「３～４時間未満」が他と比べて多くなっているのが目立っている。

図表38　Q15. 授業時間外の一日平均勉強時間（%）

	０時間	１時間未満	１～２時間未満	２～３時間未満	３～４時間未満	４時間以上
全体(N=646)	1.2	8.2	32.8	28.9	15.3	12.1
男性(n=296)	1.0	8.1	36.5	28.0	13.9	11.1
女性(n=344)	1.5	8.4	29.9	29.7	16.9	12.8
20歳未満(n=20)	5.0	5.0	50.0	15.0	10.0	15.0
20歳～24歳(n=458)	1.1	9.0	33.2	30.1	14.8	10.5
25歳～29歳(n=127)	1.6	8.7	32.3	27.6	15.0	14.2
30歳～(n=36)	0.0	0.0	19.4	27.8	27.8	25.0
短大1年・短大2年(n=168)	2.4	11.3	38.1	23.8	11.3	12.5
高専3年・高専4年・高専5年(n=4)	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0
大学1年・大学2年(n=2)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大学3年(n=226)	0.9	9.7	33.2	33.2	15.9	4.4
大学4年(n=159)	0.6	5.7	32.1	31.4	16.4	13.8
修士1年(n=39)	0.0	2.6	20.5	23.1	25.6	28.2
修士2年(n=37)	0.0	2.7	29.7	27.0	13.5	27.0
博士後期課程(n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7

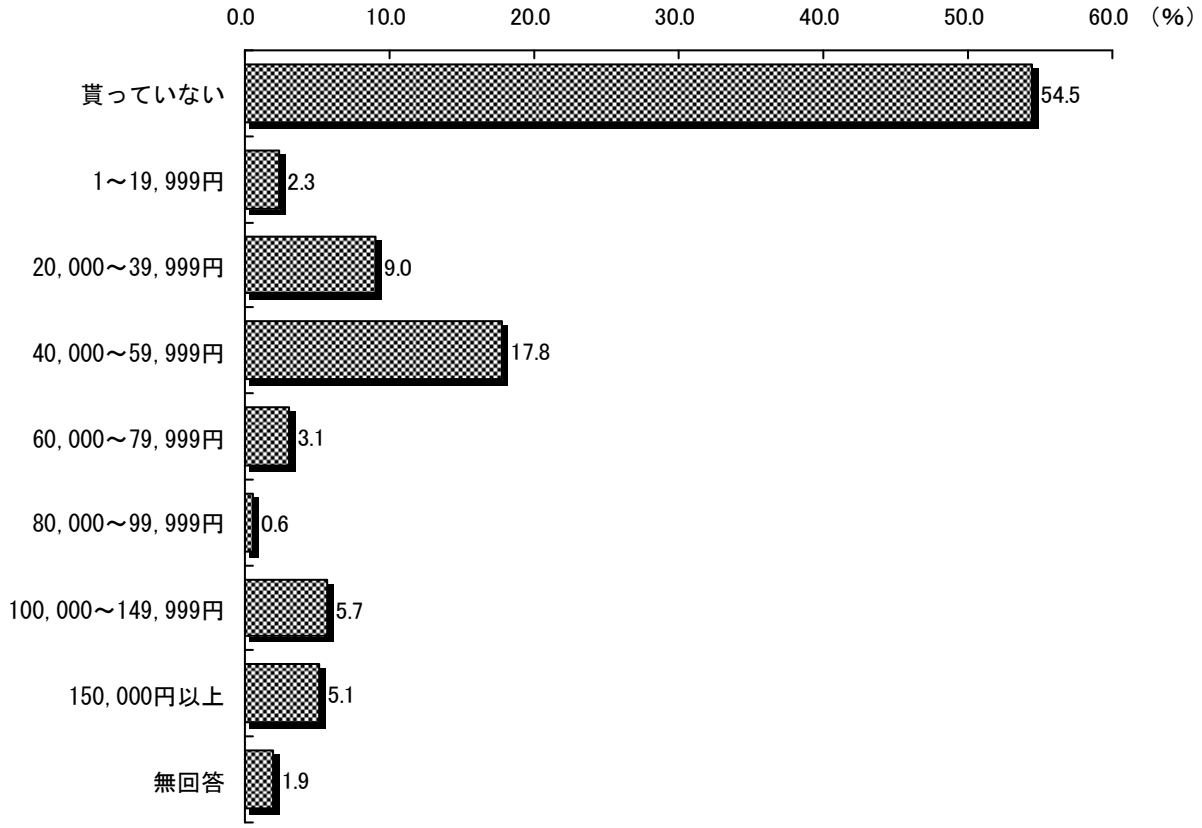
８．１ケ月当たりの収入について

（１）１ケ月当たりもらっている奨学金

Q16. 現在１ケ月当たりの奨学金はどのくらいもらっていますか？

１ケ月当たりもらっている奨学金については、「貰っていない」が 54.5%である。残りの半数近くの留学生が奨学金をもらっているとみられる。もらっている場合「40,000～59,999 円」が 17.8%と最も多く、「20,000～39,999 円」（9.0%）がそれに続く。

図表39　Q16. １ケ月当たりもらっている奨学金
全体(N=646)



性別では、女性で「40,000～59,999 円」がやや多くみられるものの、大きな男女差は目立たない。

年齢別では、20 歳未満で「40,000～59,999 円」、30 歳以上で「150,000 円以上」が、それぞれ他の年齢層に比べ多くみられる。

所属別では、「短大１年・短大２年」で「貰っていない」が他に比べて多くなっているのが目立っている。

図表40 Q16. 1ケ月当たりもらっている奨学金（%）

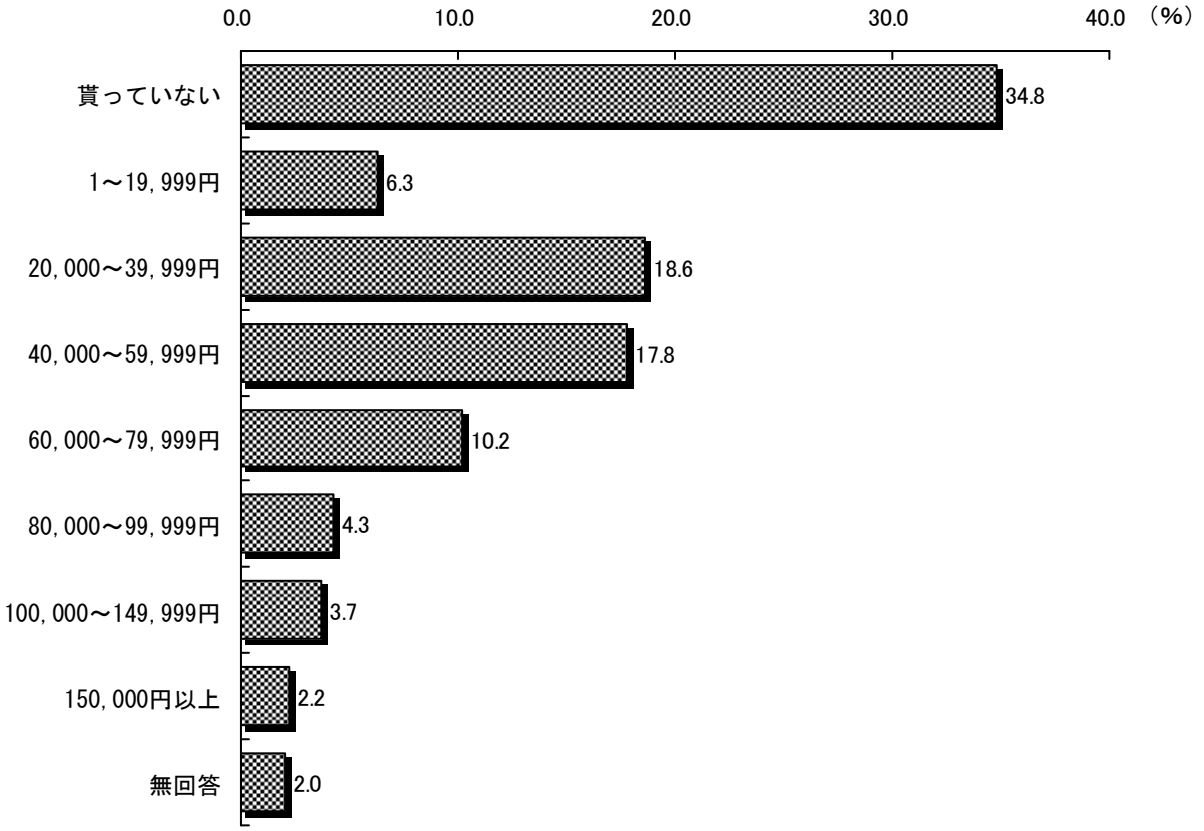
	貰っていない	1～19,999円	20,000～39,999円	40,000～59,999円	60,000～79,999円	80,000～99,999円	100,000～149,999円	150,000円以上
全体(N=646)	54.5	2.3	9.0	17.8	3.1	0.6	5.7	5.1
男性(n=296)	58.8	3.0	6.8	13.2	4.4	0.7	5.7	5.7
女性(n=344)	50.6	1.7	11.0	22.1	2.0	0.6	5.8	4.7
20歳未満(n=20)	55.0	0.0	5.0	25.0	5.0	0.0	0.0	0.0
20歳～24歳(n=458)	57.0	2.6	9.6	19.2	1.7	0.9	6.1	1.5
25歳～29歳(n=127)	55.9	2.4	7.9	14.2	6.3	0.0	5.5	6.3
30歳～(n=36)	16.7	0.0	8.3	11.1	8.3	0.0	5.6	50.0
短大1年・短大2年(n=168)	77.4	1.2	4.8	13.7	0.6	0.0	0.0	0.0
高専3年・高専4年・高専5年(n=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
大学1年・大学2年(n=2)	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大学3年(n=226)	50.9	4.4	12.4	23.9	0.9	0.9	3.5	0.9
大学4年(n=159)	50.3	1.9	7.5	23.3	4.4	1.3	10.1	1.3
修士1年(n=39)	33.3	0.0	7.7	0.0	15.4	0.0	10.3	33.3
修士2年(n=37)	16.2	0.0	10.8	2.7	10.8	0.0	13.5	43.2
博士後期課程(n=3)	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（2）１ケ月当たりもらっている仕送り

Q17．現在１ケ月当たりの仕送りは平均どのくらいですか？

１ケ月当たりもらっている仕送りについては、「貰っていない」が 34.8%である。6 割程度の留学生が仕送りをもらっている。もらっている場合「20,000～39,999 円」が 18.6%と最も多く、ほぼ並んで「40,000～59,999 円」（17.8%）が続く。以下「60,000～79,999 円」（10.2%）が続いている。

図表41　Q17．１ケ月当たりもらっている仕送り
全体(N=646)



性別では、男性で「貰っていない」が女性を大きく上回っている。

年齢別では年齢が上がるにつれ「貰っていない」が多くなる傾向がみられる。また、年齢が若い層ほど「20,000～39,999 円」「40,000～59,999 円」、30 歳以上で「150,000 円以上」が多くみられる。

所属別では、「修士１年」で「貰っていない」が他より多くなっているのが目立っている。

図表42 Q17. 1ケ月当たりもらっている仕送り(%)

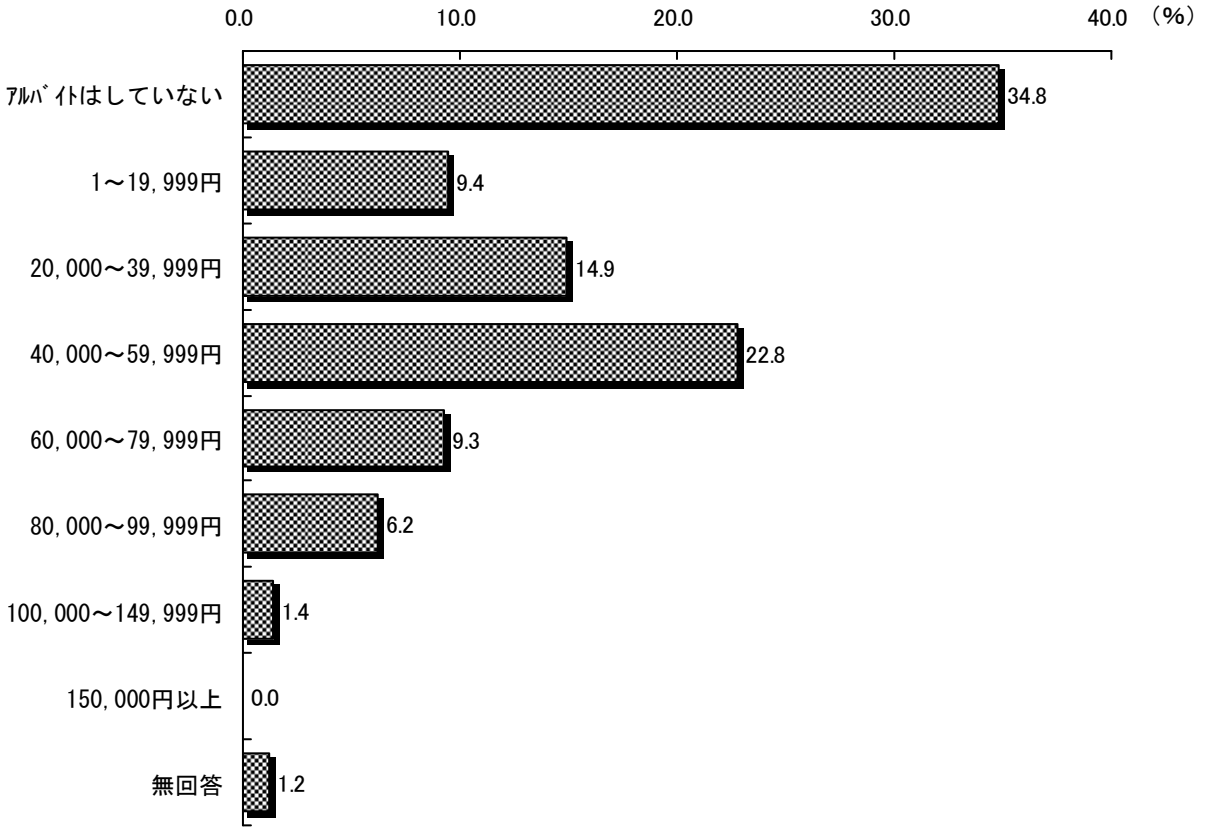
	貰っていない	1～19,999円	20,000～39,999円	40,000～59,999円	60,000～79,999円	80,000～99,999円	100,000～149,999円	150,000円以上
全体(N=646)	34.8	6.3	18.6	17.8	10.2	4.3	3.7	2.2
男性(n=296)	41.6	5.4	16.2	16.2	8.1	3.4	4.4	2.4
女性(n=344)	29.4	7.0	20.9	19.2	11.9	5.2	3.2	2.0
20歳未満(n=20)	30.0	0.0	25.0	20.0	5.0	5.0	10.0	0.0
20歳～24歳(n=458)	30.6	7.9	19.0	18.8	12.0	5.2	4.6	0.9
25歳～29歳(n=127)	45.7	3.1	18.1	17.3	7.1	1.6	0.8	3.1
30歳～(n=36)	55.6	0.0	13.9	8.3	0.0	2.8	0.0	16.7
短大1年・短大2年(n=168)	43.5	9.5	19.0	19.0	4.8	1.2	0.6	0.6
高専3年・高専4年・高専5年(n=4)	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大学1年・大学2年(n=2)	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大学3年(n=226)	21.7	5.3	19.9	21.2	15.5	7.5	6.6	0.4
大学4年(n=159)	27.0	6.3	22.6	19.5	13.2	4.4	5.0	1.3
修士1年(n=39)	76.9	5.1	5.1	5.1	2.6	2.6	0.0	2.6
修士2年(n=37)	56.8	0.0	5.4	2.7	0.0	2.7	0.0	24.3
博士後期課程(n=3)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（３）１ケ月当たりのアルバイト代

Q18. 現在１ケ月当たりのアルバイト代はどのくらいですか？

１ケ月当たりのアルバイト代については、「アルバイトはしていない」が 34.8%である。６割程度の留学生がアルバイトをしている。している場合「40,000～59,999円」が 22.8%と最も多く、次いで「20,000～39,999 円」（14.9%）、「1～19,999円」（9.4%）などの順となっている。

図表43　Q18. １ケ月当たりのアルバイト代
全体(N=646)



性別では、男性の方がもらっているアルバイト代が相対的に高い傾向が見られる。
年齢別では 20 歳代で「40,000～59,999 円」が多い傾向などがみられる。
所属別では、「修士１年」で「アルバイトはしていない」が、「修士２年」で「1～19,999 円」が、それぞれ他と比べて多くみられる。

図表44 Q18. 1ケ月当たりのアルバイト代（%）

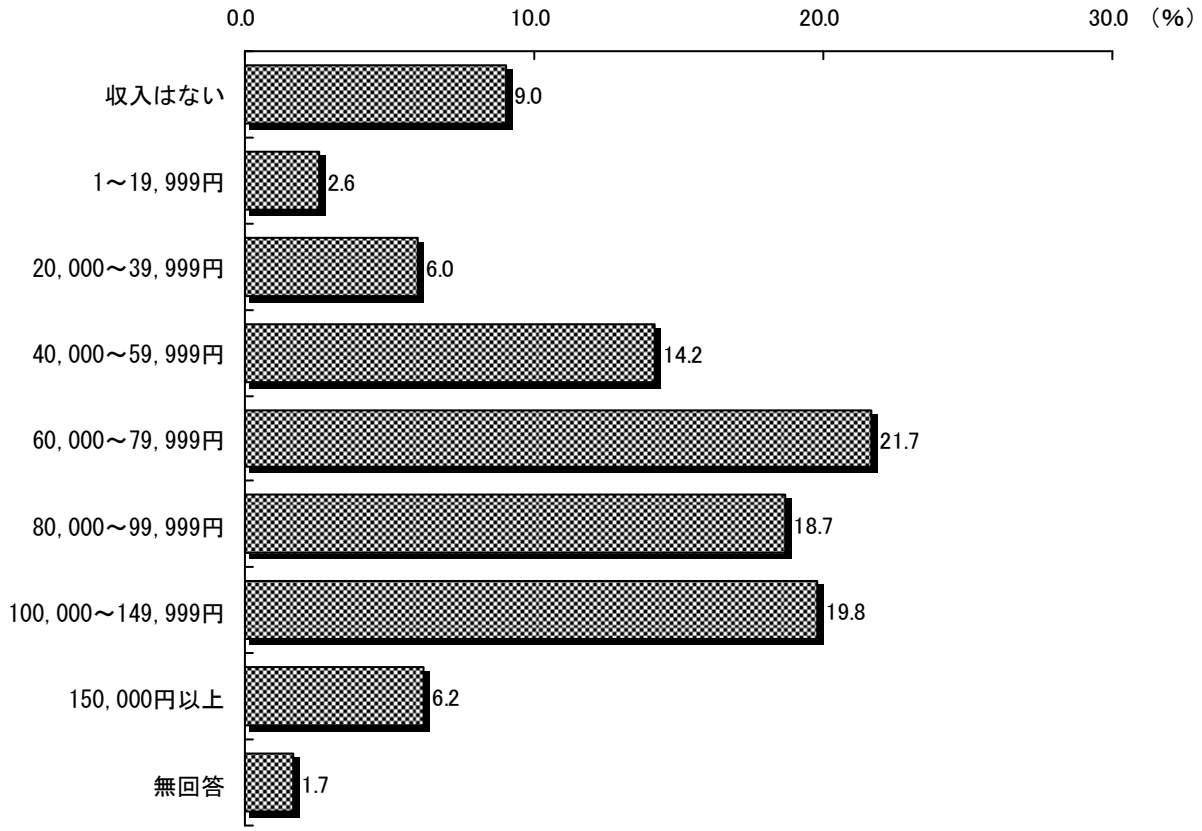
	アルバイトはしていない	1～19,999円	20,000～39,999円	40,000～59,999円	60,000～79,999円	80,000～99,999円	100,000～149,999円	150,000円以上
全体(N=646)	34.8	9.4	14.9	22.8	9.3	6.2	1.4	0.0
男性(n=296)	36.5	6.1	11.1	25.0	10.5	8.4	1.7	0.0
女性(n=344)	33.7	12.2	18.0	20.9	8.4	4.4	1.2	0.0
20歳未満(n=20)	50.0	5.0	15.0	10.0	10.0	5.0	0.0	0.0
20歳～24歳(n=458)	34.5	10.3	15.9	23.6	8.3	5.5	1.1	0.0
25歳～29歳(n=127)	28.3	6.3	14.2	24.4	12.6	10.2	3.1	0.0
30歳～(n=36)	55.6	11.1	5.6	16.7	8.3	2.8	0.0	0.0
短大1年・短大2年(n=168)	29.8	8.3	11.3	26.8	13.1	9.5	0.6	0.0
高専3年・高専4年・高専5年(n=4)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大学1年・大学2年(n=2)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大学3年(n=226)	38.9	8.0	16.8	20.8	8.4	4.4	0.9	0.0
大学4年(n=159)	28.9	8.8	15.7	26.4	9.4	7.5	3.1	0.0
修士1年(n=39)	48.7	10.3	12.8	20.5	7.7	0.0	0.0	0.0
修士2年(n=37)	40.5	24.3	18.9	8.1	2.7	2.7	0.0	0.0
博士後期課程(n=3)	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0

（４）１ケ月の平均的収入額

Q19. 現在１ケ月の平均的収入について合計はどのくらいですか？（奨学金、仕送り、アルバイト代、その他収入の合計額）

１ケ月の平均的収入額については、「収入はない」が 9.0%である。大半の留学生に収入がある。収入額は「60,000～79,999 円」が 21.7%と最も多く、ほぼ並んで「100,000～149,999 円」（19.8%）、「80,000～99,999 円」（18.7%）の順となっており、これら「60,000～149,999 円（合計）」で全体の 60.2%を占めている。

図表45　Q19.　１ケ月の平均的収入額（合計）
全体(N=646)



性別では、男性で「収入はない」がやや多い。女性は男性に比べ「60,000～79,999円」がやや多くみられる。

年齢別では、20 歳未満で「収入はない」及び「60,000～79,999 円」、30 歳以上で「150,000 円以上」がそれぞれ他の年齢層に比べ多くみられる。

所属別では、「短大１年・短大２年」で「収入はない」が、「大学４年」で「100,000～149,999 円」が、「修士２年」で「150,000 円以上」が、それぞれ他と比べて多くみられる。

図表46 Q19. 1ケ月の平均的収入額(合計)(%)

	収入はない	1～19,999円	20,000～39,999円	40,000～59,999円	60,000～79,999円	80,000～99,999円	100,000～149,999円	150,000円以上
全体(N=646)	9.0	2.6	6.0	14.2	21.7	18.7	19.8	6.2
男性(n=296)	13.2	2.0	5.4	15.9	16.9	18.2	20.3	6.8
女性(n=344)	5.5	2.9	6.7	12.8	25.9	19.2	19.8	5.8
20歳未満(n=20)	30.0	0.0	0.0	10.0	30.0	15.0	10.0	0.0
20歳～24歳(n=458)	9.8	2.4	6.3	15.5	22.3	19.2	21.2	2.2
25歳～29歳(n=127)	3.9	3.9	6.3	14.2	19.7	21.3	18.9	9.4
30歳～(n=36)	5.6	0.0	5.6	0.0	16.7	8.3	13.9	50.0
短大1年・短大2年(n=168)	21.4	5.4	8.3	14.3	21.4	16.7	10.7	0.6
高専3年・高専4年・高専5年(n=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
大学1年・大学2年(n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
大学3年(n=226)	6.6	1.3	4.0	15.5	25.2	22.6	20.8	1.8
大学4年(n=159)	3.1	1.9	5.0	12.6	23.3	20.1	30.2	3.1
修士1年(n=39)	0.0	0.0	12.8	20.5	10.3	12.8	12.8	30.8
修士2年(n=37)	2.7	2.7	5.4	10.8	10.8	5.4	10.8	48.6
博士後期課程(n=3)	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0

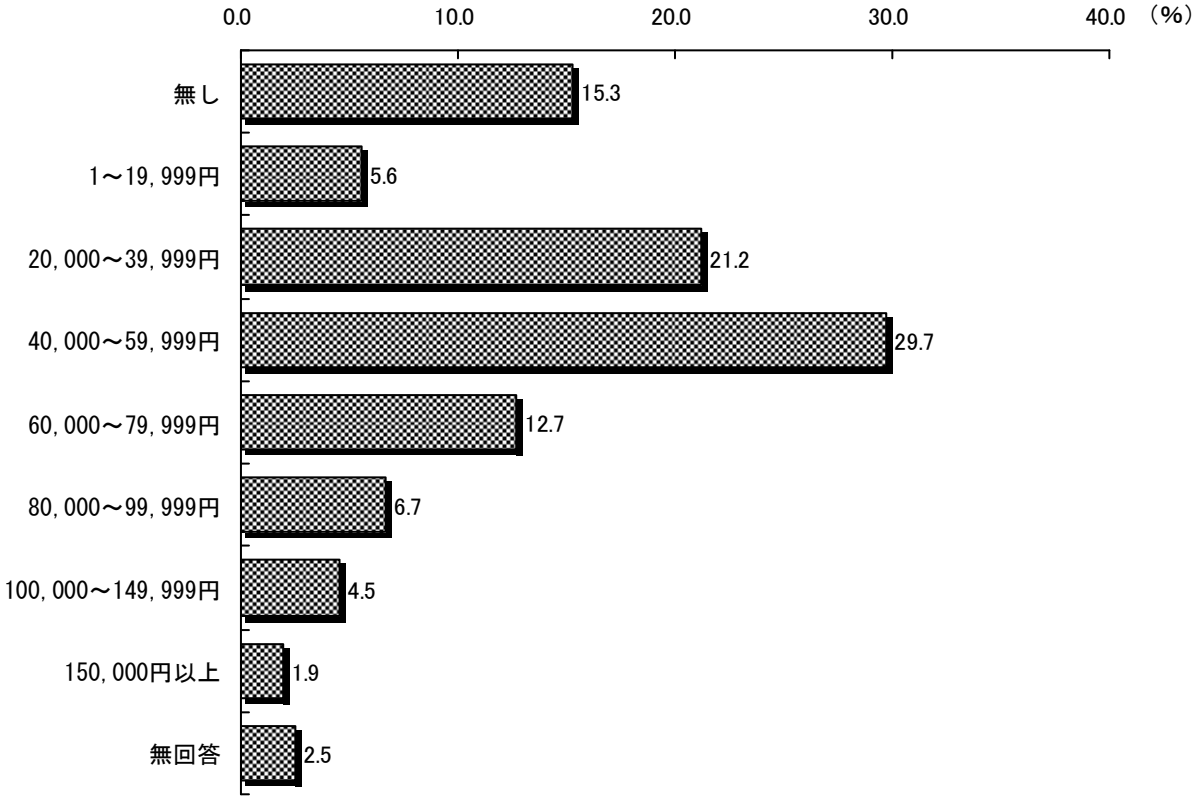
９．１ケ月当たりの支出について

（１）１ケ月当たりの授業料

Q20. 現在１ケ月当たりの授業料（入学金を除いて、年間の授業料を 12 等分して計算して下さい）はどのくらいですか？

１ケ月当たりの授業料については、「40,000～59,999 円」が３割（29.7%）と最も多く、次いで「20,000～39,999 円」（21.2%）、「60,000～79,999 円」（12.7%）の順となっている。

図表47　Q20.　１ケ月当たりの授業料（※）
全体(N=646)



（※）入学金を除いて、年間の授業料を12等分したもの。

性別では、大きな男女差は目立たない。

年齢別では 20 歳未満で「60,000～79,999 円」、30 歳以上で「無し」及び「100,000～149,999 円」がそれぞれ他の年齢層に比べ多くみられる。

所属別では、「短大１年・短大２年」で「40,000～59,999 円」及び「60,000～79,999 円」が他に比べ多くみられる。

図表48 Q20. 1ケ月当たりの授業料(※)(%)

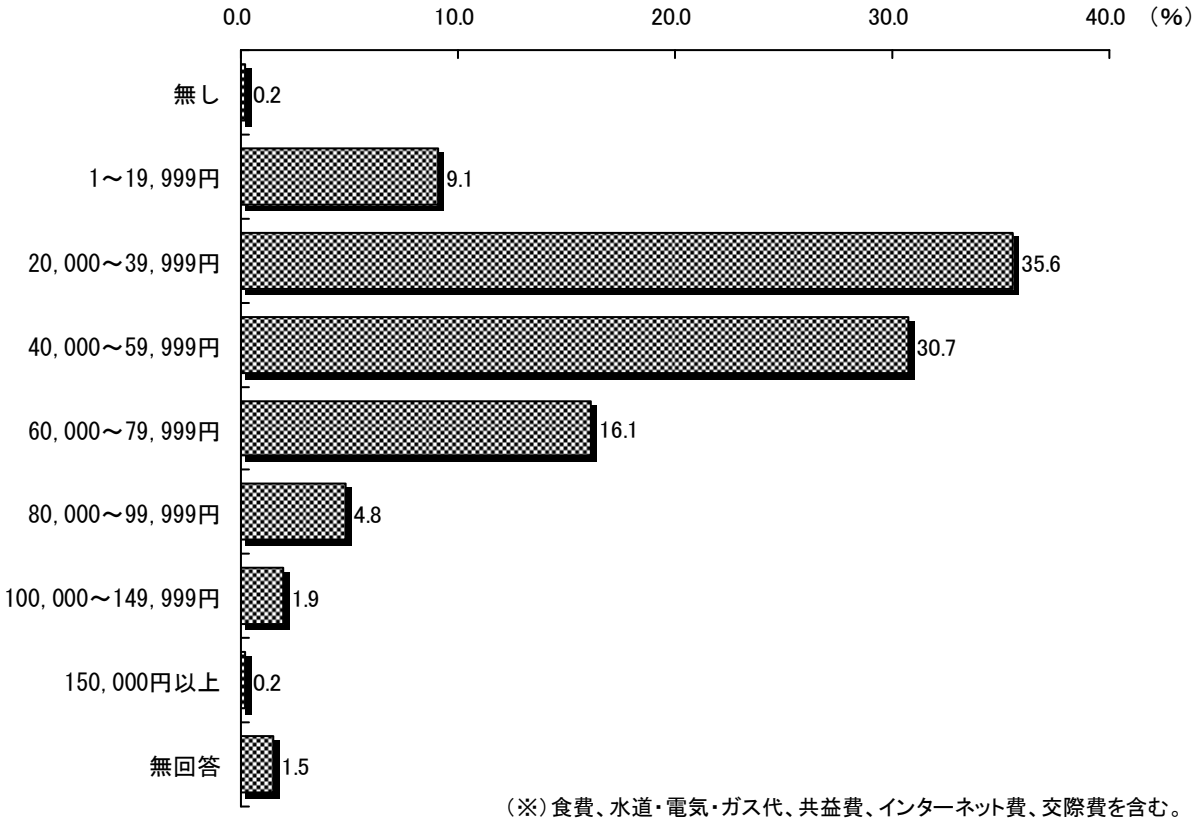
	無し	1～19,999円	20,000～39,999円	40,000～59,999円	60,000～79,999円	80,000～99,999円	100,000～149,999円	150,000円以上
全体(N=646)	15.3	5.6	21.2	29.7	12.7	6.7	4.5	1.9
男性(n=296)	14.2	4.7	20.6	31.4	12.5	7.8	5.1	1.7
女性(n=344)	16.3	6.4	21.8	28.5	13.1	5.8	3.8	2.0
20歳未満(n=20)	15.0	5.0	20.0	25.0	25.0	5.0	0.0	5.0
20歳～24歳(n=458)	17.0	6.3	20.1	28.2	14.2	7.0	3.9	1.5
25歳～29歳(n=127)	3.1	4.7	28.3	37.0	8.7	6.3	5.5	2.4
30歳～(n=36)	38.9	0.0	11.1	27.8	2.8	2.8	11.1	2.8
短大1年・短大2年(n=168)	2.4	3.6	16.1	39.9	22.0	7.7	4.8	2.4
高専3年・高専4年・高専5年(n=4)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大学1年・大学2年(n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
大学3年(n=226)	12.8	5.3	24.8	30.5	11.9	5.3	4.4	1.8
大学4年(n=159)	25.2	10.7	21.4	22.6	8.8	9.4	1.3	0.6
修士1年(n=39)	25.6	2.6	17.9	28.2	2.6	7.7	7.7	2.6
修士2年(n=37)	29.7	0.0	27.0	16.2	2.7	0.0	10.8	5.4
博士後期課程(n=3)	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0

（２）１ケ月当たりの家賃を除く生活費

Q21．現在１ケ月当たりの家賃を除く生活費（食費、水道・電気・ガス代、共益費、インターネット費、交際費を含む）はどのくらいですか？

１ケ月当たりの家賃を除く生活費については、「20,000～39,999 円」が 35.6%と最も多く、ほぼ並んで「40,000～59,999 円」（30.7%）、以下「60,000～79,999 円」（16.1%）の順となっている。「20,000～59,999 円」（合計）で全体の６割以上（66.3%）を占めている。

図表49　Q21．１ケ月当たりの家賃を除く生活費（※）
全体(N=646)



（※）食費、水道・電気・ガス代、共益費、インターネット費、交際費を含む。

性別では、大きな男女差は目立たない。

年齢別では 20 歳未満で「20,000～39,999 円」、30 歳以上で「60,000～99,999 円」がそれぞれ他の年齢層に比べ多くみられる。

所属別では、「修士２年」で「80,000～99,999 円」が他に比べて多くみられる。

図表50 Q21. 1ケ月当たりの家賃を除く生活費（※）（%）

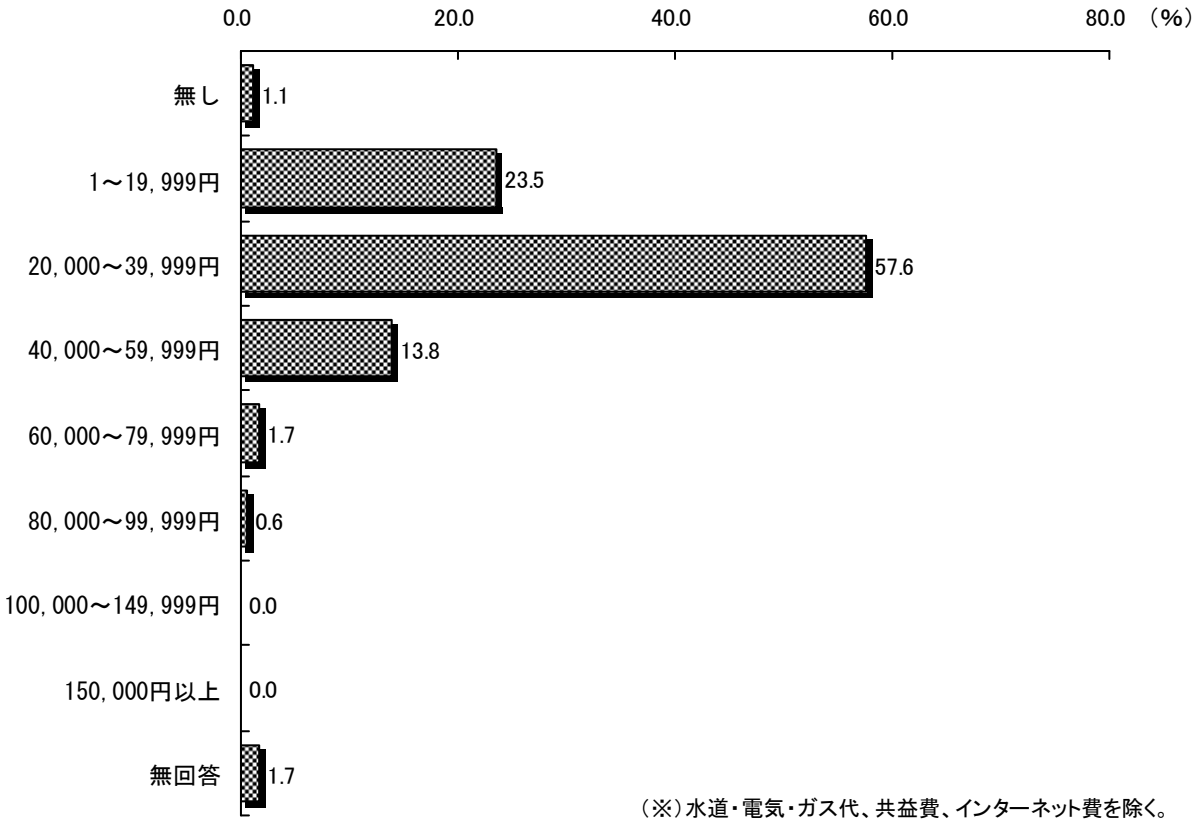
	無し	1～19,999円	20,000～39,999円	40,000～59,999円	60,000～79,999円	80,000～99,999円	100,000～149,999円	150,000円以上
全体(N=646)	0.2	9.1	35.6	30.7	16.1	4.8	1.9	0.2
男性(n=296)	0.3	8.1	37.5	28.7	16.9	6.1	1.7	0.0
女性(n=344)	0.0	9.9	34.6	32.3	15.7	3.8	2.0	0.3
20歳未満(n=20)	0.0	5.0	65.0	20.0	5.0	5.0	0.0	0.0
20歳～24歳(n=458)	0.2	9.8	35.4	31.2	17.2	3.1	1.3	0.2
25歳～29歳(n=127)	0.0	8.7	35.4	31.5	13.4	8.7	2.4	0.0
30歳～(n=36)	0.0	2.8	25.0	30.6	19.4	13.9	8.3	0.0
短大1年・短大2年(n=168)	0.6	16.1	37.5	33.3	8.3	1.8	1.2	0.0
高専3年・高専4年・高専5年(n=4)	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
大学1年・大学2年(n=2)	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大学3年(n=226)	0.0	6.6	37.2	28.8	18.6	4.9	1.3	0.4
大学4年(n=159)	0.0	5.0	35.2	34.0	21.4	3.1	1.3	0.0
修士1年(n=39)	0.0	5.1	43.6	25.6	17.9	2.6	5.1	0.0
修士2年(n=37)	0.0	13.5	13.5	21.6	13.5	29.7	8.1	0.0
博士後期課程(n=3)	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0

（３）１ケ月当たりの家賃

Q22. 現在１ケ月当たりの家賃（水道・電気・ガス代、共益費、インターネット費を除く）はどのくらいですか？敷金、礼金を除きます。

１ケ月当たりの家賃については、「20,000～39,999 円」が 57.6%と過半数を占め最も多く、以下「1～19,999 円」（23.5%）、「40,000～59,999 円」（13.8%）の順となっており、この他の金額はそれぞれ少ない。

図表51　Q22.　１ケ月当たりの家賃（※）
全体(N=646)



（※）水道・電気・ガス代、共益費、インターネット費を除く。

性別、年齢別ともに大きな差は目立たないが、30 歳以上で「40,000～59,999円」がやや多くなっている。

所属別では、「短大１年・短大２年」で「1～19,999 円」が、「修士２年」で「40,000～59,999 円」が、それぞれ他と比べて多くみられる。

図表52 Q22. 1ケ月当たりの家賃(※)(%)

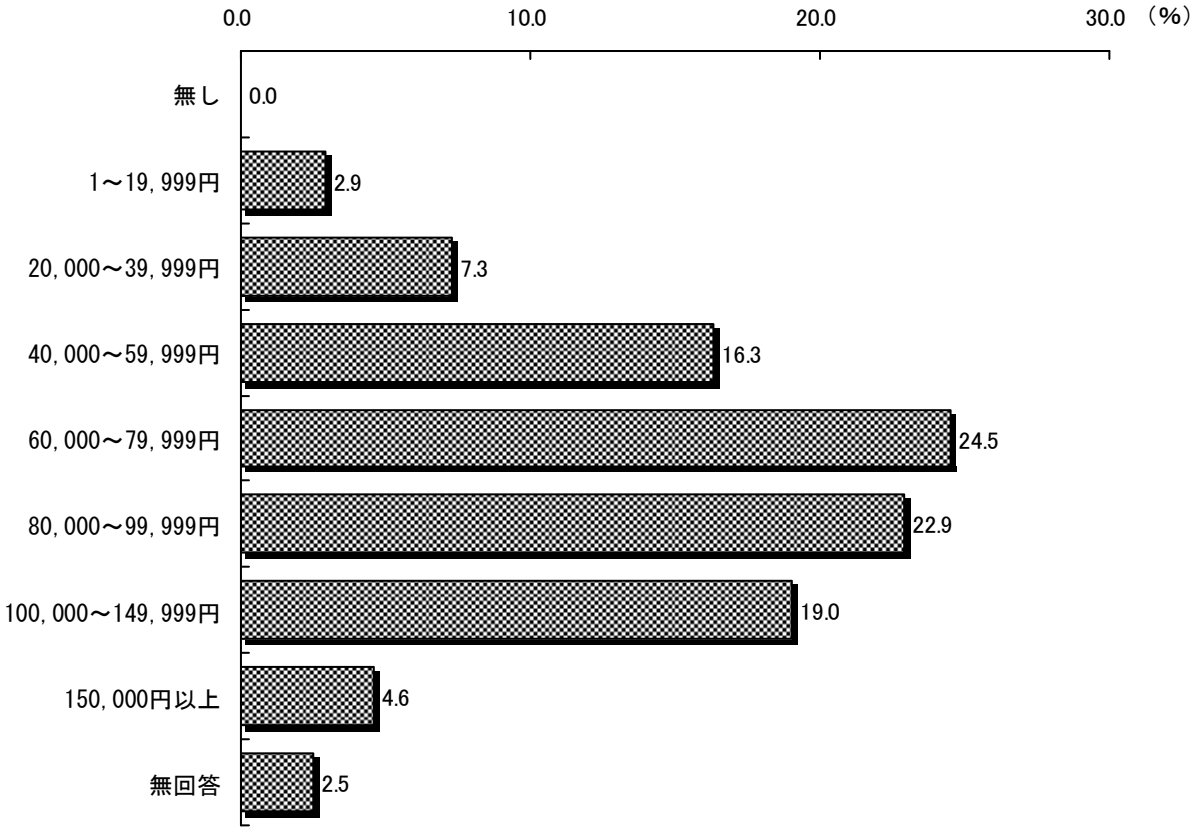
	無し	1～19,999円	20,000～39,999円	40,000～59,999円	60,000～79,999円	80,000～99,999円	100,000～149,999円	150,000円以上
全体(N=646)	1.1	23.5	57.6	13.8	1.7	0.6	0.0	0.0
男性(n=296)	0.3	27.0	55.4	13.9	1.7	0.7	0.0	0.0
女性(n=344)	1.7	20.6	59.9	13.7	1.7	0.6	0.0	0.0
20歳未満(n=20)	5.0	25.0	60.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳～24歳(n=458)	0.9	24.5	58.5	12.2	1.7	0.7	0.0	0.0
25歳～29歳(n=127)	1.6	23.6	54.3	16.5	1.6	0.8	0.0	0.0
30歳～(n=36)	0.0	11.1	61.1	25.0	2.8	0.0	0.0	0.0
短大1年・短大2年(n=168)	2.4	42.9	42.9	10.1	0.0	0.6	0.0	0.0
高専3年・高専4年・高専5年(n=4)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大学1年・大学2年(n=2)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大学3年(n=226)	0.0	15.9	65.5	13.7	2.2	0.9	0.0	0.0
大学4年(n=159)	0.6	14.5	65.4	14.5	2.5	0.6	0.0	0.0
修士1年(n=39)	5.1	20.5	56.4	12.8	5.1	0.0	0.0	0.0
修士2年(n=37)	0.0	13.5	56.8	29.7	0.0	0.0	0.0	0.0
博士後期課程(n=3)	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（４）１ケ月の平均的支出

Q23. 現在１ケ月の平均的支出は合計どのくらいですか？（授業料、生活費、家賃を含む）

１ケ月の平均的支出については、「60,000～79,999 円」が 24.5%と最も多く、ほぼ並んで「80,000～99,999 円」（22.9%）、「100,000～149,999 円」（19.0%）が続いている。

図表53　Q23. １ケ月の平均的支出（合計）
全体(N=646)



性別では、大きな男女差は目立たないが、男性で「20,000～39,999 円」がやや多い。

年齢別では、20 歳未満で「40,000～79,999 円」、30 歳以上で「100,000～149,999 円」が多くみられる。

所属別では、「修士２年」で「100,000～149,999 円」が他に比べて多くみられる。

図表54 Q23. 1ケ月の平均的支出（合計）（%）

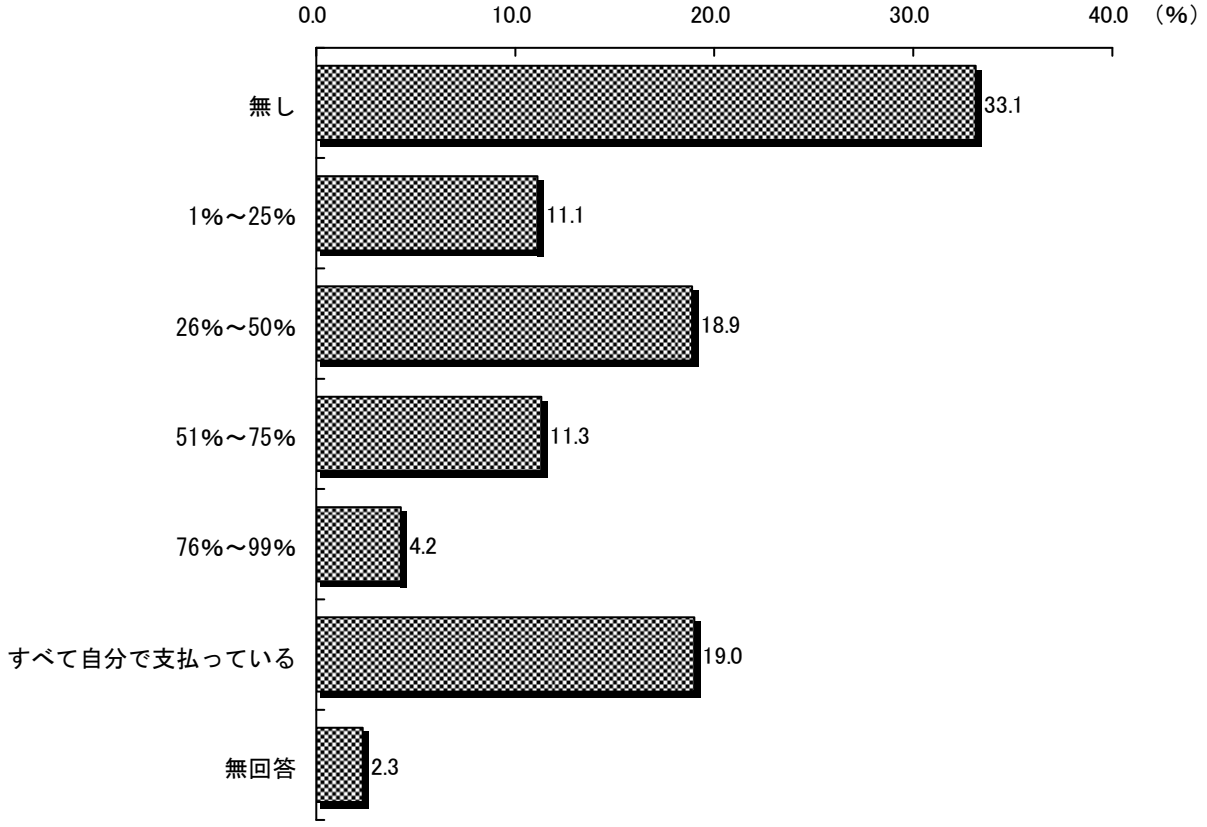
	無し	1～19,999円	20,000～39,999円	40,000～59,999円	60,000～79,999円	80,000～99,999円	100,000～149,999円	150,000円以上
全体(N=646)	0.0	2.9	7.3	16.3	24.5	22.9	19.0	4.6
男性(n=296)	0.0	3.0	10.5	14.5	22.0	25.3	16.9	4.7
女性(n=344)	0.0	2.9	4.7	17.7	26.5	20.9	21.2	4.7
20歳未満(n=20)	0.0	5.0	5.0	20.0	30.0	30.0	10.0	0.0
20歳～24歳(n=458)	0.0	3.5	8.1	17.0	26.2	21.0	17.5	4.8
25歳～29歳(n=127)	0.0	1.6	5.5	15.7	21.3	29.1	19.7	3.9
30歳～(n=36)	0.0	0.0	5.6	8.3	11.1	22.2	41.7	8.3
短大1年・短大2年(n=168)	0.0	5.4	10.7	17.3	25.6	20.8	14.9	3.6
高専3年・高専4年・高専5年(n=4)	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0
大学1年・大学2年(n=2)	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大学3年(n=226)	0.0	2.7	5.8	18.1	23.9	20.4	20.8	5.8
大学4年(n=159)	0.0	1.3	6.9	15.1	27.0	27.7	17.6	3.1
修士1年(n=39)	0.0	2.6	5.1	12.8	15.4	25.6	20.5	12.8
修士2年(n=37)	0.0	0.0	2.7	8.1	24.3	27.0	32.4	2.7
博士後期課程(n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0

（５）自分で支払っている授業料の割合

Q24.　授業料は、何割程度自分が支払っていますか？

自分で支払っている授業料の割合については、「無し」が 33.1％と最も多く、次いで「すべて自分で支払っている」（19.0％）、「26％～50％」（18.9％）、「51％～75％」（11.3％）の順となっている。

図表55　Q24. 自分で支払っている授業料の割合
全体(N=646)



性別では、女性で「無し」、男性で「すべて自分で支払っている」がそれぞれ多くみられる。

年齢別では、20 歳未満で「76%～99%」、25～29 歳で「すべて自分で支払っている」、30 歳以上で「無し」がそれぞれ目立っている。

所属別では、「修士２年」で「無し」が他に比べて多くみられる。

図表56 Q24. 自分で支払っている授業料の割合（%）

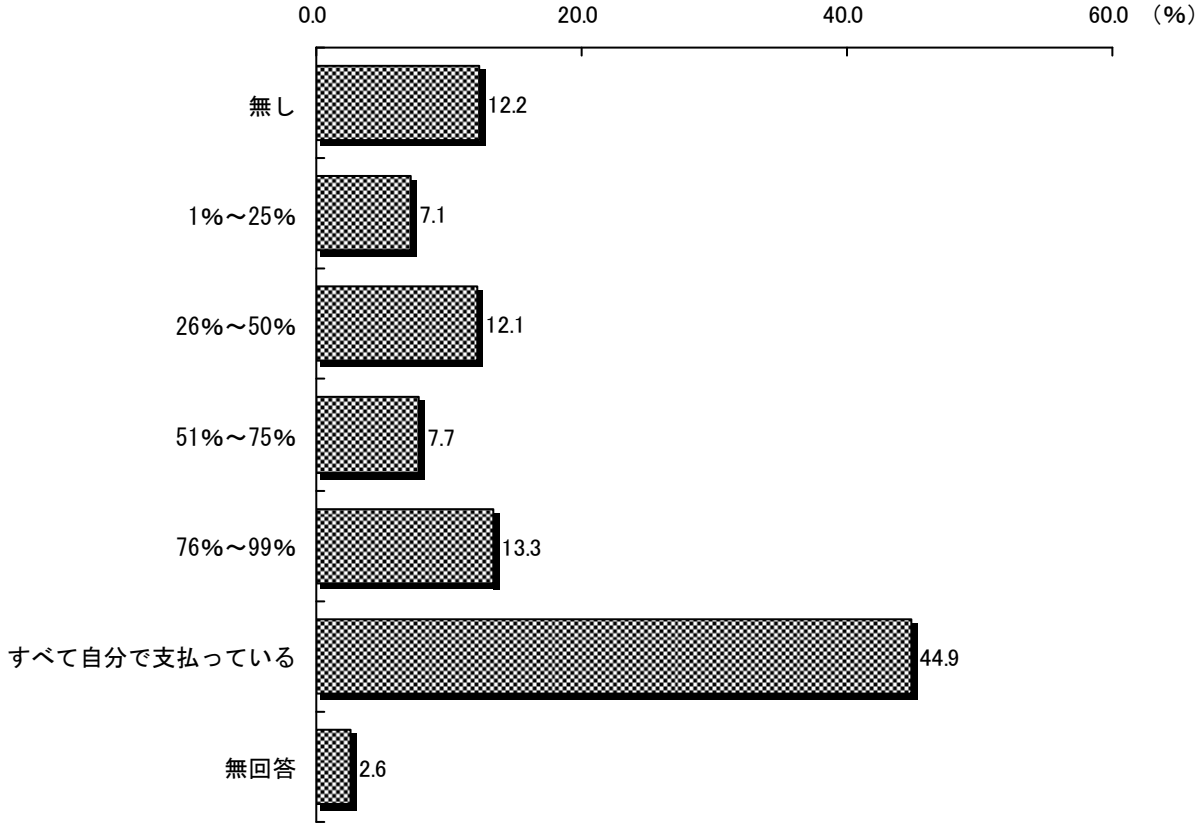
	無し	1%～25%	26%～50%	51%～75%	76%～99%	すべて自分で支払っている
全体(N=646)	33.1	11.1	18.9	11.3	4.2	19.0
男性(n=296)	29.4	10.5	19.6	10.8	5.1	23.6
女性(n=344)	36.6	11.6	18.6	11.6	3.5	15.1
20歳未満(n=20)	45.0	10.0	15.0	10.0	10.0	10.0
20歳～24歳(n=458)	35.8	12.9	19.7	10.3	3.7	15.5
25歳～29歳(n=127)	14.2	8.7	19.7	16.5	5.5	33.9
30歳～(n=36)	58.3	0.0	11.1	5.6	2.8	19.4
短大1年・短大2年(n=168)	20.8	8.9	22.0	14.9	7.7	23.2
高専3年・高専4年・高専5年(n=4)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大学1年・大学2年(n=2)	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
大学3年(n=226)	33.2	14.2	25.2	10.2	1.8	13.3
大学4年(n=159)	40.3	12.6	13.2	10.7	2.5	19.5
修士1年(n=39)	35.9	2.6	7.7	15.4	10.3	25.6
修士2年(n=37)	56.8	10.8	5.4	0.0	0.0	24.3
博士後期課程(n=3)	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7

（６）自分で支払っている家賃・生活費の割合

Q25. 家賃・生活費は、何割程度自分が支払っていますか？

自分で支払っている家賃・生活費の割合については、「すべて自分で支払っている」が 44.9％と突出して多くなっている。以下「76％～99％」（13.3％）、「無し」（12.2％）、「26％～50％」（12.1％）の順となっている。

図表57　Q25. 自分で支払っている家賃・生活費の割合
全体(N=646)



性別では、男性で「すべて自分で支払っている」がやや多くなっている。

年齢別では、20 歳未満で「無し」、25～29 歳で「すべて自分で支払っている」がそれぞれ目立っている。

所属別では、「修士１年」で「76%～99%」が他に比べて多くみられる。

図表58 Q25. 自分で支払っている家賃・生活費の割合（%）

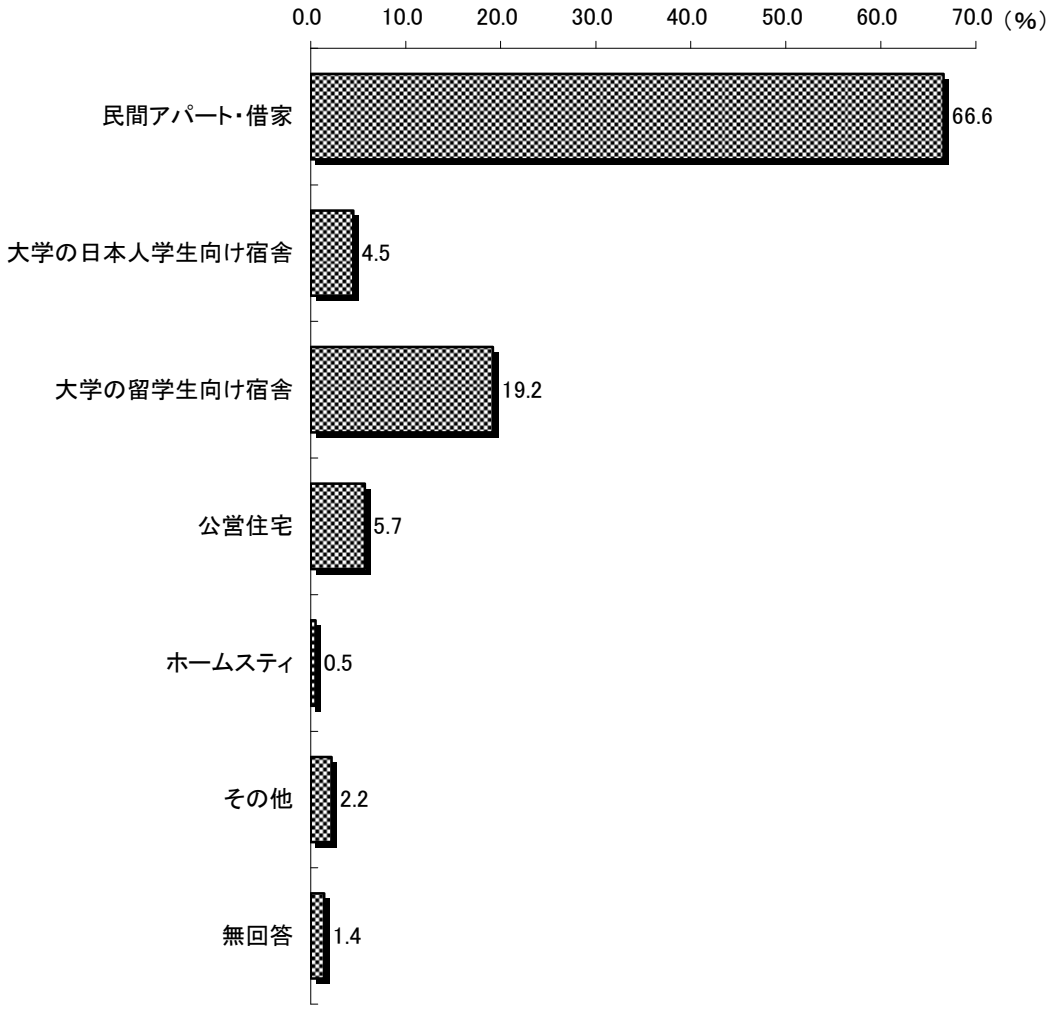
	無し	1%～25%	26%～50%	51%～75%	76%～99%	すべて自分で支払っている
全体(N=646)	12.2	7.1	12.1	7.7	13.3	44.9
男性(n=296)	11.8	5.1	9.5	6.4	14.9	50.0
女性(n=344)	12.8	9.0	14.2	9.0	11.9	40.7
20歳未満(n=20)	30.0	5.0	10.0	5.0	30.0	20.0
20歳～24歳(n=458)	12.0	8.7	13.3	8.5	12.9	42.6
25歳～29歳(n=127)	7.9	3.1	8.7	6.3	10.2	59.8
30歳～(n=36)	19.4	2.8	11.1	5.6	19.4	38.9
短大1年・短大2年(n=168)	13.1	6.5	13.1	8.3	13.7	44.0
高専3年・高専4年・高専5年(n=4)	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0
大学1年・大学2年(n=2)	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
大学3年(n=226)	14.2	7.5	13.3	8.4	13.3	40.3
大学4年(n=159)	10.1	8.8	14.5	9.4	8.8	47.8
修士1年(n=39)	10.3	5.1	0.0	0.0	30.8	51.3
修士2年(n=37)	13.5	2.7	5.4	2.7	8.1	56.8
博士後期課程(n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

10. 現住居

Q26. 現在どのような住宅に住んでいますか？

現住居については、「民間アパート・借家」が 66.6%と突出して最も多くなっている。次いで「大学の留学生向け宿舎」が 19.2%で続き、この他の住居についてはそれぞれ少ない。

図表59 Q26. 現住居
全体(N=646)



性別では、大きな男女差は目立たないが、年齢別では、20 歳未満の半数以上で「大学の留学生向け宿舎」、30 歳以上では「大学の日本人学生向け宿舎」などがそれぞれ目立っている。

所属別では、「短大１年・短大２年」で「大学の留学生向け宿舎」が、「修士１年」で「大学の日本人学生向け宿舎」が、それぞれ目立っている。

図表60 Q26. 現住居（%）

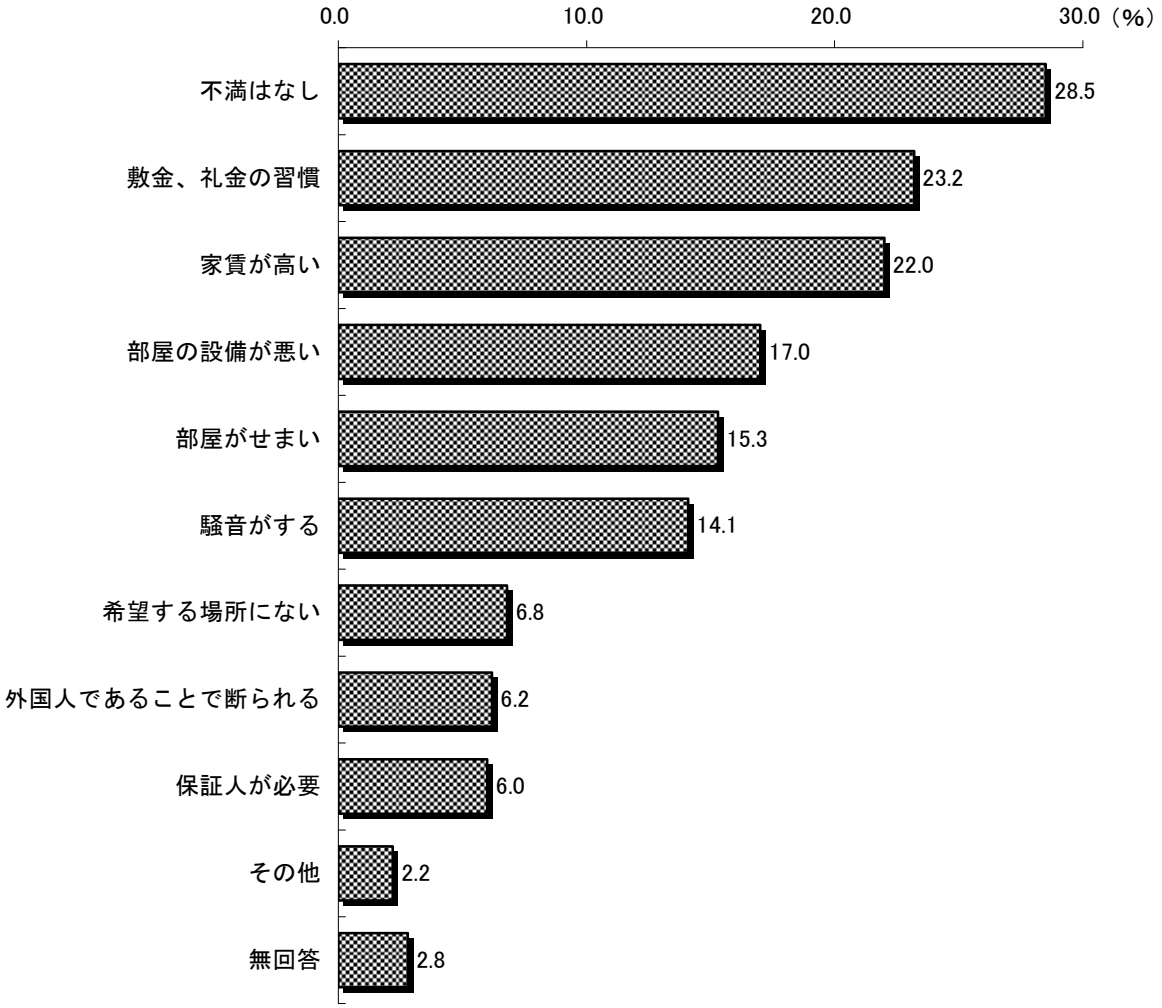
	民間アパート・借家	大学の日本人学生向け宿舎	大学の留学生向け宿舎	公営住宅	ホームステイ	その他
全体(N=646)	66.6	4.5	19.2	5.7	0.5	2.2
男性(n=296)	65.9	5.4	19.6	5.4	0.0	3.0
女性(n=344)	67.7	3.5	19.2	5.8	0.9	1.5
20歳未満(n=20)	35.0	5.0	55.0	0.0	0.0	5.0
20歳～24歳(n=458)	67.0	2.8	19.9	6.8	0.4	2.0
25歳～29歳(n=127)	70.1	5.5	15.7	4.7	0.8	2.4
30歳～(n=36)	69.4	22.2	5.6	0.0	0.0	2.8
短大1年・短大2年(n=168)	57.7	0.0	35.1	4.8	0.0	1.8
高専3年・高専4年・高専5年(n=4)	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
大学1年・大学2年(n=2)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大学3年(n=226)	72.6	4.9	12.4	7.1	0.4	0.9
大学4年(n=159)	76.1	0.0	15.1	4.4	0.6	3.1
修士1年(n=39)	46.2	25.6	17.9	10.3	0.0	0.0
修士2年(n=37)	59.5	13.5	13.5	5.4	2.7	2.7
博士後期課程(n=3)	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0

11．住宅への不満

Q27．住宅への不満がありましたら、お答えください（複数回答可）

住宅への不満については、「不満はなし」が 28.5%である。おおむね 7 割程度の留学生になんらかの不満があるとみられる。不満は「敷金、礼金の習慣」が 23.2%と最も多く、以下「家賃が高い」（22.0%）、「部屋の設備が悪い」（17.0%）、「部屋がせまい」（15.3%）などの順となっている。

図表61　Q27. 住宅への不満
全体(N=646)



性別では、大きな男女差は目立たないが、年齢別では、20 歳未満において「部屋の設備が悪い」「部屋がせまい」、25～29 歳で「敷金、礼金の習慣」「保証人が必要」などがそれぞれ他の年齢層に比べ多くみられる。

所属別では、「短大１年・短大２年」で「部屋の設備が悪い」「部屋がせまい」「騒音がする」「希望する場所にない」が、「修士１年」で「不満はなし」が、それぞれ多くみられる。

図表62 Q27. 住宅への不満（%）

	不満はなし	敷金、礼金の習慣	家賃が高い	部屋の設備が悪い	部屋がせまい	騒音がする	希望する場所にない	外国人であることで断られる	保証人が必要	その他
全体(N=646)	28.5	23.2	22.0	17.0	15.3	14.1	6.8	6.2	6.0	2.2
男性(n=296)	30.1	22.3	22.3	19.6	15.2	14.9	7.4	5.7	4.7	3.0
女性(n=344)	27.6	24.1	21.8	15.1	15.4	13.7	6.1	6.7	7.3	1.5
20歳未満(n=20)	35.0	5.0	20.0	25.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳～24歳(n=458)	26.4	22.3	21.6	19.4	16.4	13.3	8.3	6.3	5.7	1.7
25歳～29歳(n=127)	33.1	30.7	24.4	9.4	14.2	18.1	2.4	8.7	10.2	3.1
30歳～(n=36)	38.9	19.4	22.2	11.1	5.6	13.9	5.6	0.0	0.0	5.6
短大1年・短大2年(n=168)	27.4	23.8	27.4	33.3	25.6	23.8	12.5	4.2	3.0	5.4
高専3年・高専4年・高専5年(n=4)	25.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
大学1年・大学2年(n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
大学3年(n=226)	24.8	24.3	23.5	13.3	8.0	13.3	8.0	9.3	8.4	0.4
大学4年(n=159)	30.2	22.0	17.0	10.1	17.0	10.1	1.9	6.3	5.0	0.0
修士1年(n=39)	43.6	25.6	20.5	5.1	12.8	10.3	0.0	5.1	7.7	0.0
修士2年(n=37)	35.1	18.9	16.2	13.5	8.1	0.0	2.7	0.0	5.4	8.1
博士後期課程(n=3)	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

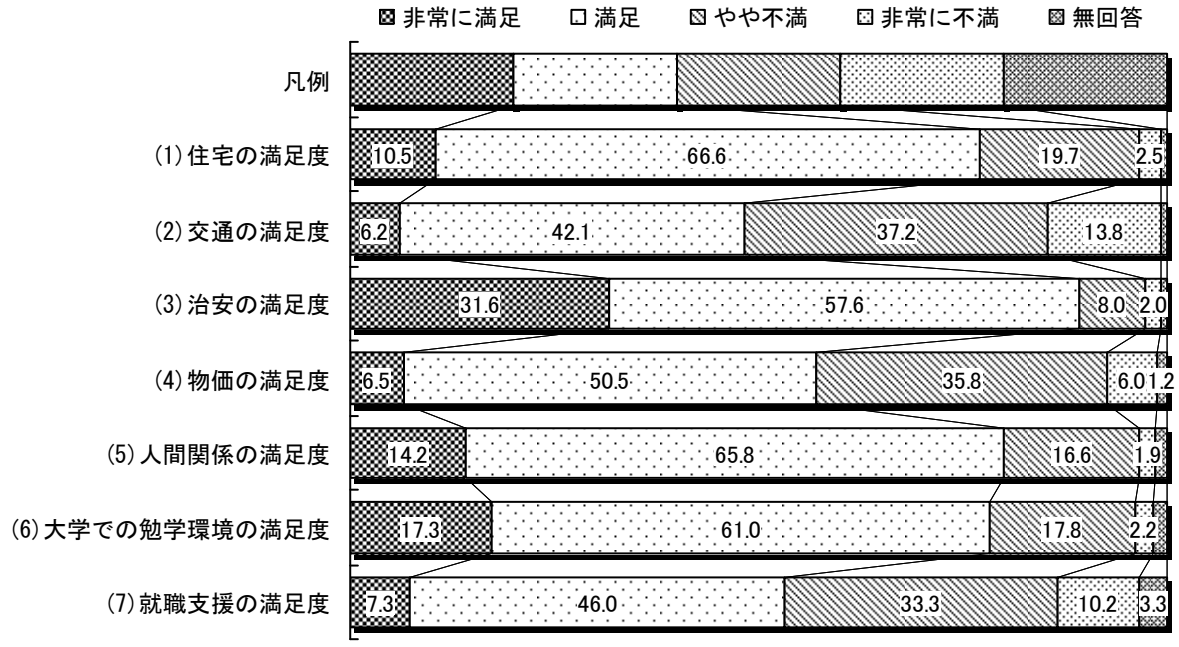
12. 大分県の生活に対する満足度

Q28. 大分県の生活について、どの程度満足していますか？

大分県の生活に対する満足度について、「非常に満足」への回答をみると、「(3)治安の満足度」が31.6%と最も多く、次いで「(6)大学での勉学環境の満足度」(17.3%)、「(5)人間関係の満足度」(14.2%)、「(1)住宅の満足度」(10.5%)の順となっている。

逆に「やや不満」や「不満」が多い項目として「(2)交通の満足度」「(4)物価の満足度」「(7)就職支援の満足度」があげられる。

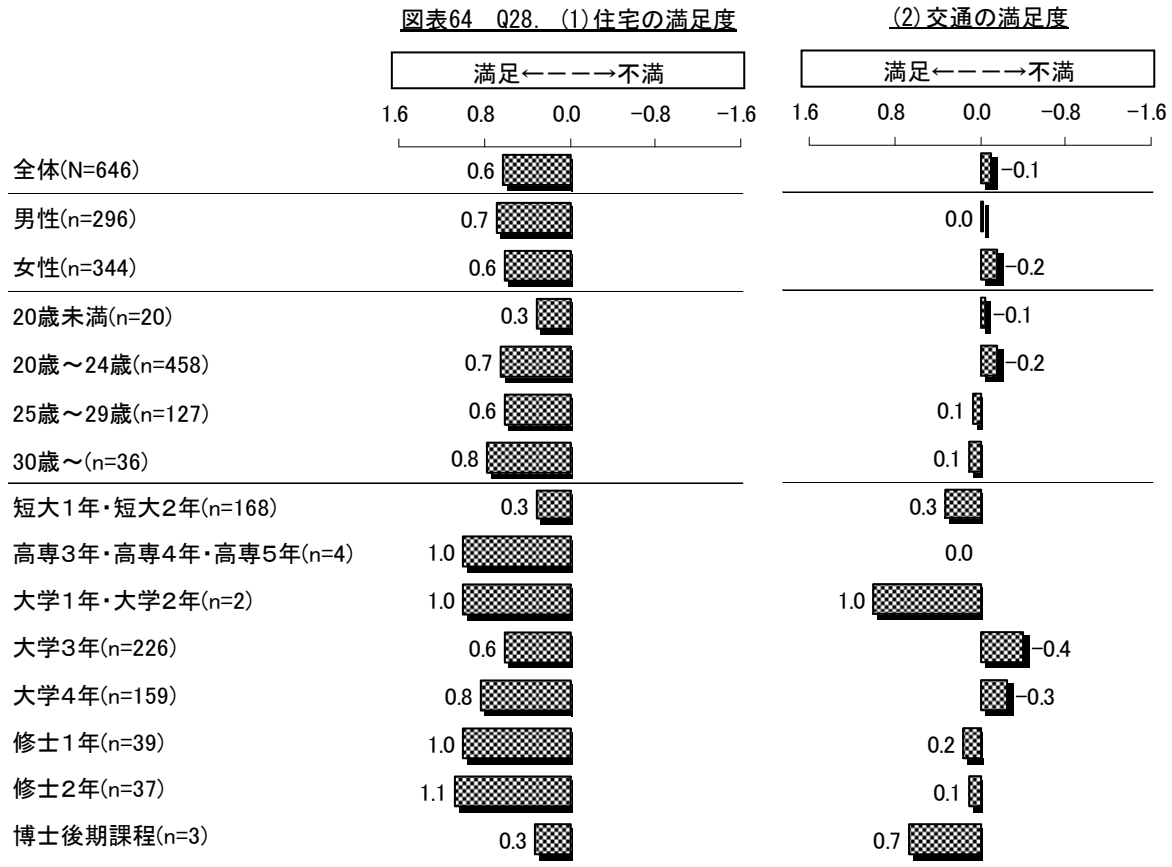
図表63 Q28. 大分県の生活に対する満足度（%）



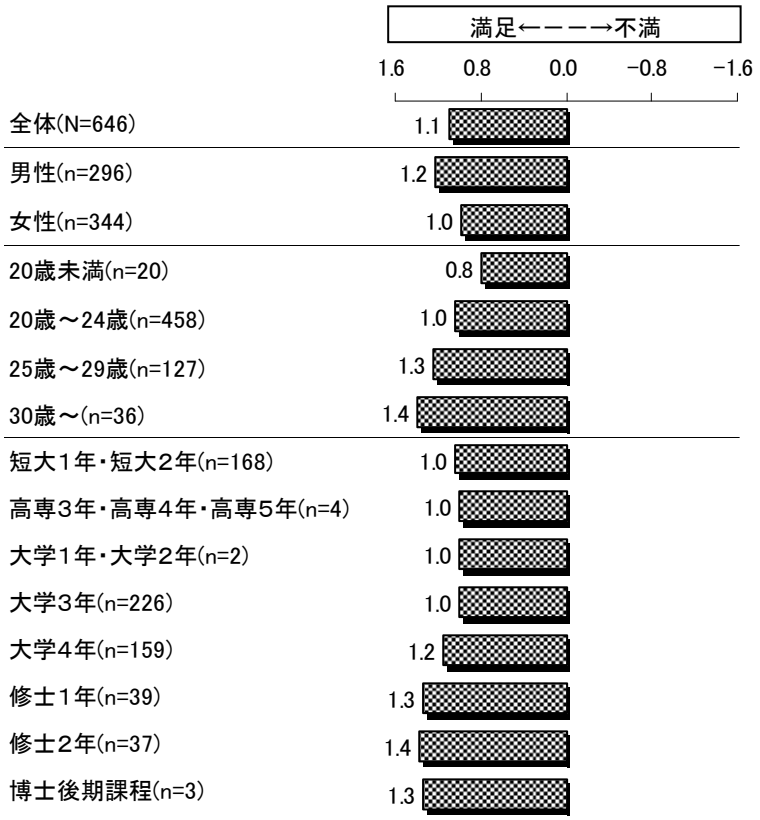
※次に掲げる、属性別の図表における数値は「加重平均値」である。「加重平均値」とは「非常に満足」の回答件数に「2 点」、「満足」に「1点」、「やや不満」に「－1 点」、「非常に不満」に「－2 点」のウエイトを乗じ、加重平均して算出したもので、－2 点に近いほど「不満」、2 点に近いほど「満足」を示す「指標」である。

性別では、全体的に大きな男女差は目立たないが、年齢別では、20 歳未満において「(3)治安の満足度」「(6)大学での勉学環境の満足度」「(7)就職支援の満足度」などで、他の年齢層に比べ満足度が低い傾向がみられる。

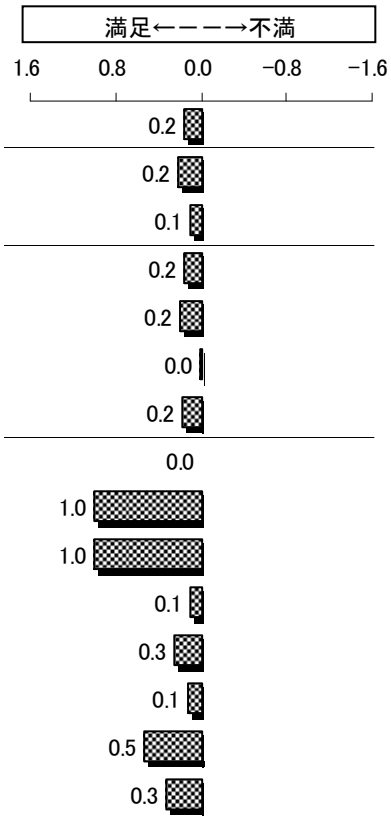
所属別では、「短大１年・短大２年」で「(1)住宅の満足度」が、「大学３年」及び「大学４年」で「(2)交通の満足度」が他に比べ低くなっている。



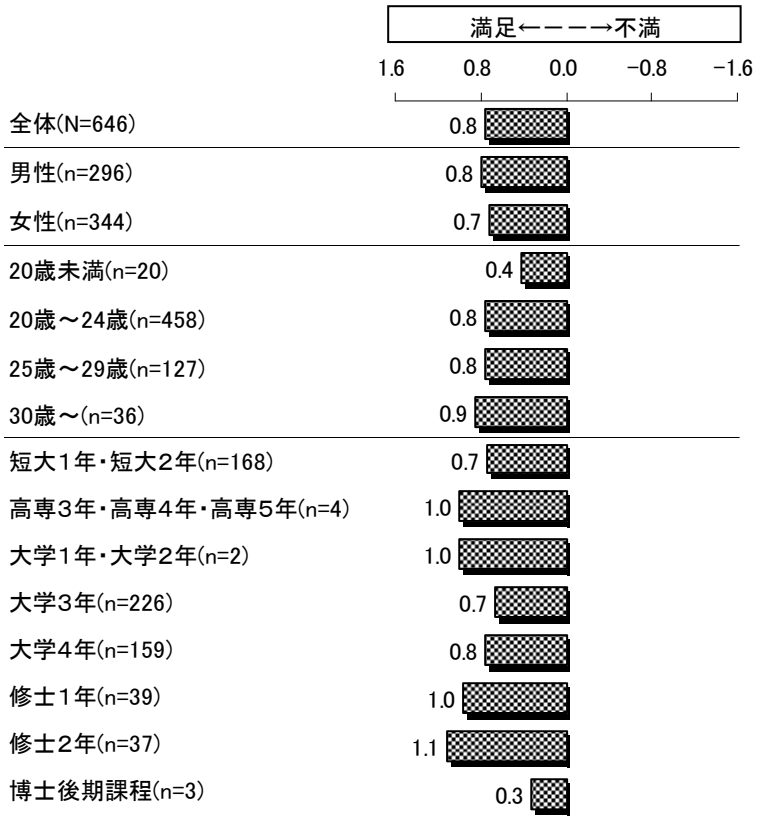
(3)治安の満足度



(4)物価の満足度

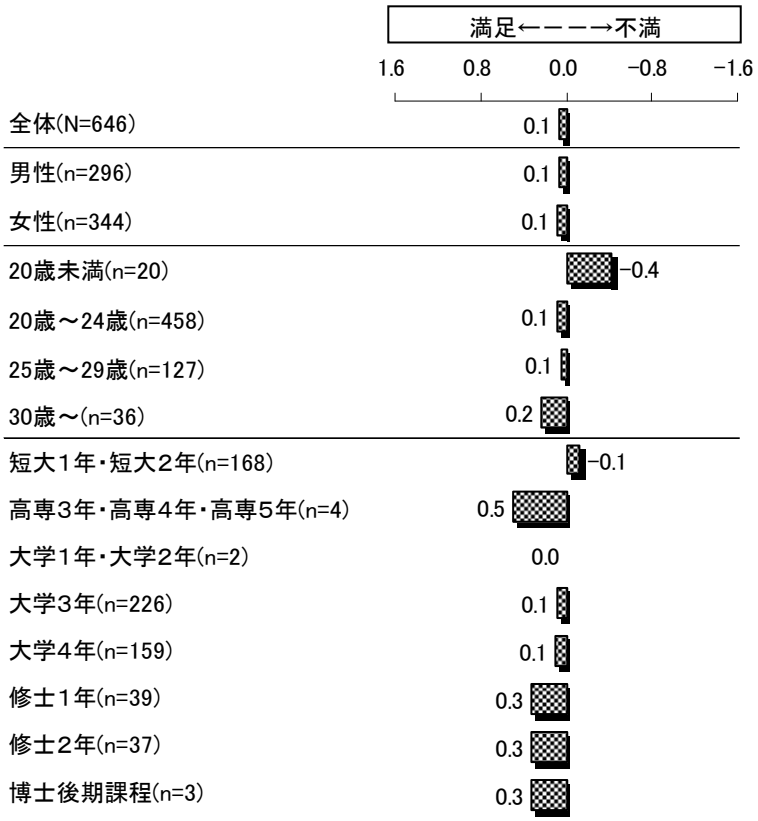


(5)人間関係の満足度



(6)大学での勉学環境の満足度

(7)就職支援の満足度

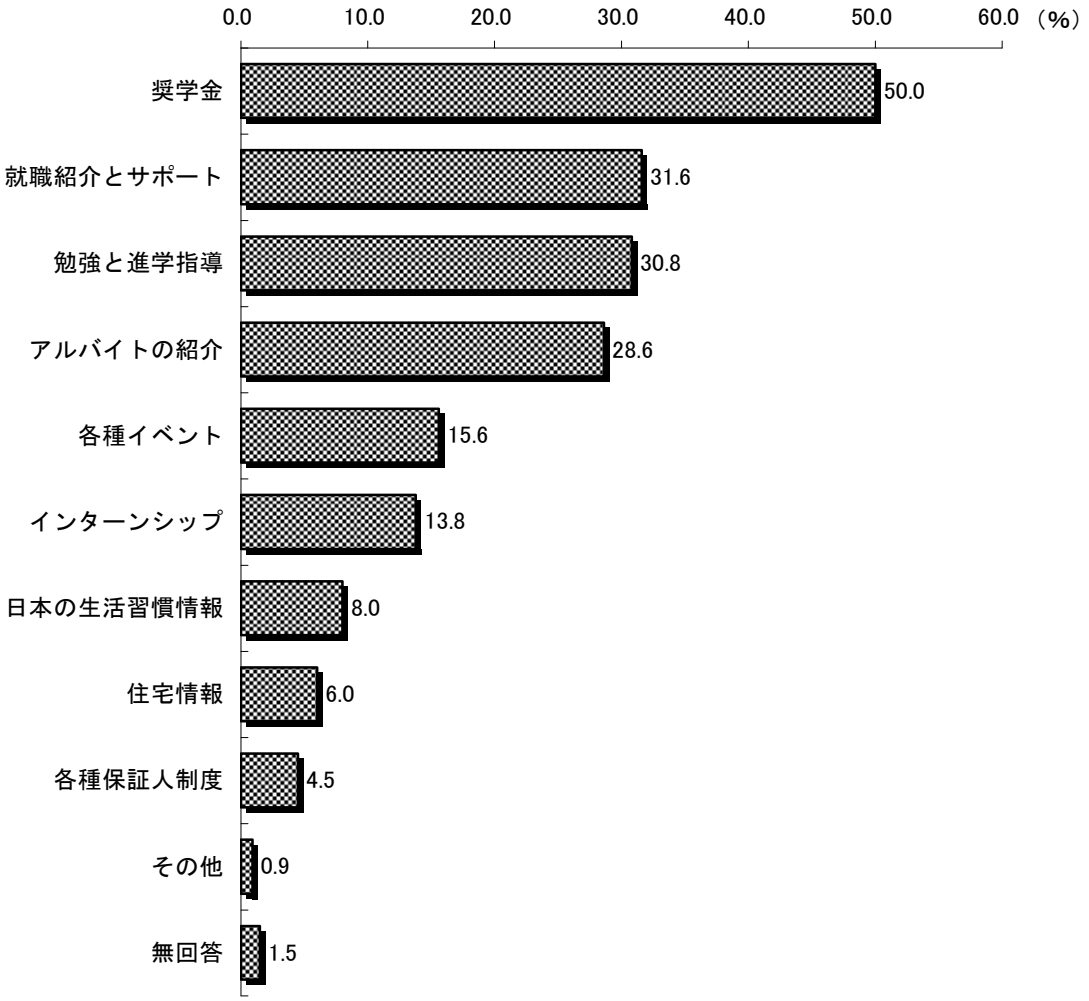

満足←－－－→不満
1.6
0.8
0.0
−0.8
−1.6
全体(N=646)
0.1
男性(n=296)
0.1
女性(n=344)
0.1
20歳未満(n=20)
−0.4
20歳～24歳(n=458)
0.1
25歳～29歳(n=127)
0.1
30歳～(n=36)
0.2
短大1年・短大2年(n=168)
−0.1
高専3年・高専4年・高専5年(n=4)
0.5
大学1年・大学2年(n=2)
0.0
大学3年(n=226)
0.1
大学4年(n=159)
0.1
修士1年(n=39)
0.3
修士2年(n=37)
0.3
博士後期課程(n=3)
0.3

13. 現在一番望む支援

Q29. 現在一番望む支援は何ですか？（複数回答可）

現在一番望む支援については、「奨学金」が 50.0%と最も多く、次いで「就職紹介とサポート」（31.6%）、「勉強と進学指導」（30.8%）、「アルバイトの紹介」（28.6%）、「各種イベント」（15.6%）などの順となっている。

図表65　Q29. 現在一番望む支援（%）
全体(N=646)



性別では、大きな男女差は目立たないが、年齢別では、年齢が若い層ほど多い回答として「勉強と進学指導」「アルバイトの紹介」があげられる。また 25～29 歳では「奨学金」「就職紹介とサポート」などがそれぞれ他の年齢層に比べ多くみられる。

所属別では、「短大１年・短大２年」で「奨学金」「勉強と進学指導」「アルバイトの紹介」「住宅情報」が、「修士２年」で「就職紹介とサポート」が、それぞれ多くみられる。

図表66 Q29. 現在一番望む支援（%）

	奨学金	就職紹介とサポート	勉強と進学指導	アルバイトの紹介	各種イベント	インターンシップ	日本の生活習慣情報	住宅情報	各種保証人制度	その他
全体(N=646)	50.0	31.6	30.8	28.6	15.6	13.8	8.0	6.0	4.5	0.9
男性(n=296)	49.0	30.4	30.4	31.4	14.9	13.2	9.1	7.1	4.7	1.0
女性(n=344)	51.5	32.8	31.7	26.5	16.6	14.5	7.0	5.2	4.4	0.9
20歳未満(n=20)	40.0	30.0	45.0	30.0	15.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0
20歳～24歳(n=458)	50.2	28.6	30.8	29.5	15.7	13.3	8.1	7.0	4.8	0.9
25歳～29歳(n=127)	57.5	44.1	32.3	28.3	16.5	18.9	8.7	4.7	5.5	0.8
30歳～(n=36)	33.3	27.8	19.4	19.4	13.9	11.1	11.1	0.0	0.0	2.8
短大1年・短大2年(n=168)	65.5	28.0	52.4	60.7	21.4	6.0	14.3	15.5	3.0	0.0
高専3年・高専4年・高専5年(n=4)	50.0	0.0	100.0	25.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
大学1年・大学2年(n=2)	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大学3年(n=226)	51.3	32.7	22.1	19.5	13.3	20.4	5.3	3.1	4.9	0.4
大学4年(n=159)	34.0	32.1	27.0	13.2	14.5	5.0	5.7	2.5	5.7	2.5
修士1年(n=39)	53.8	33.3	12.8	12.8	20.5	35.9	12.8	2.6	2.6	0.0
修士2年(n=37)	40.5	40.5	21.6	29.7	10.8	16.2	2.7	2.7	8.1	2.7
博士後期課程(n=3)	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0

資料／調査票

調査票

2010年6月28日

留学生の皆さまへ

アンケート調査ご協力のお願い
Questionnaire for Study Abroad Students in Oita

海外から大分県の大学・大学院に留学されている学生の皆さまにアンケート調査をお願いします。

今回アンケートの対象者は、高専の3年，4年，5年生、短期大学の1年，2年生、大学の3年，4年生、修士の1年，2年生の正規学生です。

調査は、合計29問からなり、大分県への留学の動機や、今後のキャリア、そして生活に関わるものです。該当する項目の前の□に✔を入れてください。英語と日本語の両方で書かれていますが、同じ質問です。

記入したものは，それぞれの大学の担当部署（①～⑨）へ提出してください。締め切りは2010年7月20日です。

①大分大学　国際交流課　(Oita University International office)
②大分県立看護科学大学　事務局教務学生グループ (Oita University of Nursing and Health Sciences, Academic & Student Affairs Office)
③大分県立芸術文化短期大学　教務学生部教務学生グループ (Oita Prefectural College of Arts and Culture, Student Affairs Group)
④大分工業高等専門学校　学生課 (Oita National College of Technology, Student Affairs Section)
⑤日本文理大学　国際交流室 (Nippon Bunri University, International Exchange Room)
⑥別府大学　留学生課 (Beppu University, International students' Affairs)
⑦別府大学短期大学部　留学生課 (Beppu University Junior College, International students' Affairs)
⑧立命館アジア太平洋大学　スチューデント・サポートセンター (APU：Ritsumeikan Asia Pacific University, Student Support Center)
⑨別府溝部学園短期大学　国際交流課 (Beppu Mizobe Gakuen College, International Students　Office)

To: International Students studying at Universities or Graduate Schools in Oita Prefecture

We would like to survey all study abroad students studying at universities or graduate schools in Oita Prefecture. In this questionnaire,we are targeting full time students who are third, fourth, or fifth year college of technology students, first and second year junior college students, or third or fourth year university students, as well as first or second year graduate students.This questionnaire, consisting of 29 questions total, has to do with the reasons why study abroad students chose Oita Prefecture as a place to study, their future career, and their current lives in Japan. Please put a check (✔) before each of the boxes (□) that apply. The questionnaire is written in both English and Japanese, but the questions we are asking are the same.　Please submit to each university office (①~⑨).　The due date is 07.20. 2010.

調査実施機関：戦略的大学連携支援事業事務局（大分大学）
〒870-1192　大分市大字旦野原700番地　国立大学法人　大分大学　イノベーション機構　リサーチ・ファクトリー

Office: National University Corporation Support Division (Oita University)
700 Dannoharu, Oita City　870-1192　JAPAN.　National University Corporation OITA　UNIVERSITY
Innovation Organization, Research Factory
Telephone：097-554-7329　　E-MAIL：research@oita-u.ac.jp

June, 2010

留学生　卒業後進路・就職に関するアンケート調査

Questionnaire Concerning Study Abroad: Student's Future Career Path After Graduation

Q1. 出身・性別・所属等について→Questions concerning where you came from, sex, age, type of study and affiliation

(1)出身国・地域 (Home Country・Area)

□ ①中国（China） □ ②中国・台湾(China・Taiwan) □ ③韓国(Korea) □ ④タイ(Thailand) □ ⑤ベトナム(Vietnam)
□ ⑥インドネシア(Indonesia) □ ⑦インド（India） □ ⑧モンゴル(Mongolia) □ ⑨マレーシア(Malaysia)
□ ⑩アメリカ (United States of America) □ ⑪イギリス（England） □ ⑫ドイツ（Germany）
□ ⑬フランス（France） □ ⑭その他 Other （ ）

(2)中国からの留学生は出身地をご記入ください(For those students who came from China, please select the area from which you came)

□ ①北京市（Beijing City） □ ②上海市（Shanghai City） □ ③重慶市（Chongqing）
□ ④山東省（Shandong） □ ⑤遼寧省（Liaoning） □ ⑥吉林省（Jilin） □ ⑦江蘇省（Jiangsu）
□ ⑧河南省（Henan） □ ⑨河北省（Hebei） □ ⑩湖北省（Hubei） □ ⑪その他 Other( )

(3)性別 (Sex)

□ ①男性(Male)
□ ②女性(Female)

(4)年齢 (Age)

□ ①20 歳未満 (Less than 20)
□ ②20 歳～24 歳(20~24)
□ ③25 歳～29 歳(25~29)
□ ④30 歳～(30+)

(5)留学の種類 (Study Abroad Type)

□ ①国費留学生(Japanese Government Funded)
□ ②政府派遣留学生(Funded by Home Country)
□ ③私費留学生(Self Sufficient)

(6)所属大学はどこですか(What University are you affiliated with?)

□ ①大分大学 (Oita University)
□ ②大分県立看護科学大学 (Oita University of Nursing and Health Sciences)
□ ③大分県立芸術文化短期大学 (Oita Prefectural College of Arts and Culture)
□ ④大分工業高等専門学校 (Oita National College of Technology)
□ ⑤日本文理大学 (Nippon Bunri University)
□ ⑥別府大学 (Beppu University)
□ ⑦別府大学短期大学部 (Beppu University Junior College)
□ ⑧立命館アジア太平洋大学 (APU：Ritsumeikan Asia Pacific University)
□ ⑨別府溝部学園短期大学 (Beppu Mizobe Gakuen College)

(7)現在、日本ではどの学年に属しますか。(Currently, what year of College are you?)

□ ①短大１年・短大２年（Junior College Freshman or Sophomore）

□ ②高専３年・高専４年・高専５年（3rd, 4th or 5th year College of Technology student ）

□ ③大学１年・大学２年（University Freshman or Sophomore ）

□ ④大学３年（3rd year University Student）

□ ⑤大学４年（4th year University Student）

□ ⑥修士１年（1st year Graduate student）

□ ⑦修士２年（2nd year Graduate student）

□ ⑧博士後期課程（Doctoral student）

□ ⑨その他（Other）(研究生など)(Research Student)

Q2. 海外留学をしようと思った理由は何でしょうか？ （複数回答可）(Mark all that apply) What was/were your reason(s) as to why you thought about studying abroad

□ ①自分が学びたい大学や学部に進学するため

In order to advance to a University or department at which I want to study

□ ②国際的・異文化な環境で学ぶため

In order to study in a international and cross culture environment different than my own

□ ③将来のキャリアアップの足がかりのため

In order to take a step forward toward my desired work field of the future

□ ④先生や友人に勧められた

Recommended by teachers and friends

□ ⑤その他 Other（ ）

Q3. 留学先に日本を選んだ理由は何でしょうか？ （複数回答可）(Mark all that apply) What was/were your reason(s) for choosing Japan as a Study Abroad Location?

□ ①学びやすい大学や学部が日本にあったから

A university or department in Japan offers a field I am interested in

□ ②母国から近いから

Japan is close to my home country

□ ③日本文化や日本の社会に関心があるから

I am interested in Japanese culture or Japanese society

□ ④知人や親戚が日本にいるから

I have friends or relatives in Japan

□ ⑤その他 Other（ ）

Q4. 留学先に大分県を選んだ理由は何でしょうか？ （複数回答可）(Mark all that apply) What was/were your reason(s) for choosing Oita Prefecture as a Study Abroad Location

□ ①今の所属大学に魅力があったから・学びたい学部があったから

My current affiliated University was appealing to me/ Offers my desired field or department of study

□ ②友人・親戚などが大分にいるから、または大分県を勧められたから

I have friends/relatives in Oita Prefecture/ because Oita Prefecture was recommended to me

□ ③母国の高校や大学の推薦があったから

I was recommended to go or selected by my home High-School or University

□ ④母国から近い九州地域で大学を探したから

I was looking for a school in Kyushu since it is close to my home country

□ ⑤その他 Other（ ）

Q5. 現在、卒業したらどうしたいと考えていますか？　(複数回答可) (Mark all that apply) (Currently, what do you think you would like to do after graduating?

□ ①母国に帰って進学、または就職したい

Return to my home country for higher education, or, return home and start working

□ ②日本国内でさらに進学したい

Would like to receive a higher education in Japan

□ ③日本国内で就職したい

Hope to work in Japan

□ ④母国以外、日本以外で進学または就職したい Plan to work or pursue a higher education in a country other than Japan or my own country

□ ⑤起業したい　（ 日本で ／ 母国で ／ 他の外国で ）

Intend to open my own business　(In Japan ／In my home country ／In a different country)

□ ⑥その他　Other（　　）

Q6. 日本で就職したいですか？Do you want to work full time in Japan?

□ ①はい　Yes　② いいえ　No

Q６ではいと回答された方のみにお尋ねします。いいえと回答した方はＱ１４の生活面の調査へお進みください。(Questions 7～13 are only for those who answered, "Yes" to question 6. For those who answered "No" to question 6, please skip ahead to question 14.)

日本で就職したい人におたずねします。For those who want to work in Japan

Q7. どうして日本で就職したいですか？(複数回答可)(Mark all that apply) Why do you want to work in Japan?

□ ①給料・待遇がいいと思うから

Because the salary or employment conditions are good

□ ②大学で学んだことや自分の専門を活かせる職場があると思うから

I can make the most out of my education or specialty in a workplace located in Japan

□ ③日本が好きなので、日本での生活を続けたい

I like Japan and want to continue my life in Japan

□ ④将来のキャリアのため、母国・他国で働く前のステップになると思うから

Working in Japan before working in my home country/abroad will serve as a stepping stone toward my career

□ ⑤その他　Other（　　）

Q8. 就職先の企業を選ぶ基準は？(複数回答可) (Mark all that apply) What is/are your criterion for choosing a place to work?

□ ①大学で学んだことや、自分の専門を活かした仕事ができる企業

A company in which I can make the most out of my education or specialty

□ ②高い給料を一番の基準とする

A high salary is the most important factor

□ ③大企業（知名度の高さ）

It should be a large (and very well known) company

□ ④大企業でなくてもいいが技術力のある製品や魅力ある商品を扱う企業

I prefer a company which has attractive products/leading technology regardless of the size of the company.

□ ⑤将来、自分のキャリアアップのためになりそうなノウハウを学べる企業

A company that will teach me the know-how necessary for my future career

□ ⑥日本で就職できるならどんな企業でも就職したい

Any company is fine, as long as I can work in Japan

□ ⑦その他　Other（　　）

Q9. 勤務地について（複数回答可)(Mark all that apply) About Your Work Location

□ ①東京や大阪など大都市を希望

I want to work in a big city such as Tokyo or Osaka

□ ②自分のやりたい仕事ができるなら、場所はどこでも良い

Location does not matter as long as I can do what I want as a job

□ ③大分県内希望

I prefer to work in Oita Prefecture

□ ④九州内希望

I prefer to work within Kyushu

□ ⑤その他　Other（　　）

Q10. 希望する業界は何ですか？（複数回答可)(Mark all that apply) What kind of industry would you like to work in?

□ ①まだ決めていない

I have not yet decided

□ ②電機・電子

Electrical Machinery or Electronics

□ ③IT・ソフトウエア・通信

IT, Software, Communications

□ ④銀行・保険・証券

Banking, Insurance, Security

□ ⑤商社・専門店・百貨店・スーパー・コンビエンスストア

Trading Firm, Specialty Store, Department Store, Super Market, Convenience Stors

□ ⑥機械・輸送機器（自動車など）・精密機械

Machinery, Transportation (Automobiles, etc.), Precision Instruments

□ ⑦化学（石油・鉱業・繊維・紙を含む)

Chemistry (Oil, Mining, Textiles, Printing included)

□ ⑧ホテル・旅行・コンサルタント

Hotels, Travel, Consulting

□ ⑨医薬品・化粧品・食品

Medicine, Cosmetics, Foods

□ ⑩その他　Other（　　）

Q11. 日本で就職した場合、将来はどうしたいですか？ (複数回答可)(Mark all that apply) If you end up working in Japan, what do you want to do after that?

□ ①分からない (I do not know)

□ ②ずっと日本で働きたい

I want to continue working in Japan for a long time

□ ③何年か勤務したら母国に帰る → 何年間くらい勤務しますか？（ 年間)

After working for a few years, I will go back to my homeland→ For about how long do you plan on working? (years)

□ ④何年か勤務したら起業したい → 何年間くらい勤務しますか？（ 年間)

After working for a few years, I want to start my own business → For about how long do you plan on working? (years)

□ ⑤何年か勤務したら進学したい → 何年間くらい勤務しますか？（ 年間)

After working for a few years, I want to continue on to higher education → For about how long do you plan on working? (years)

Q12. 日本で就職した場合、不安なことは何ですか？ (複数回答可)(Mark all that apply) If you were to start working in Japan, is there something you feel uneasy about?

□ ①給料や福利厚生などの待遇

Salary and fringe benefits (such as employment conditions)

□ ②仕事をうまくやっていけるかどうか、ずっと雇用してくれるかどうか

Whether or not I will be able to do my job well/ whether or not my company will keep me for a long time

□ ③社員とのコミュニケーションがうまくできるかどうか

Whether or not I will be able to communicate well with my co-workers

□ ④自分の日本語能力が通用するかどうか、上達するかどうか

Whether or not my Japanese language ability is sufficient/ whether I will be able to improve

□ ⑤将来の展望・キャリア形成がうまくいくかどうか

Whether or not I will be able to build my own career/future prospects

□ ⑥在留資格（就労ビザ）の更新ができるかどうか

Whether or not I will be able to renew my visa or working visa

□ ⑦その他 Other（ ）

Q13. 日本で就職活動をする時に、何が必要だと思いますか？ (複数回答可)(Mark all that apply) What do you need when looking for work in Japan?

□ ①就職活動の方法、就職した先輩からのアドバイス

I want to learn more about job hunting, or get advice from people who have already found jobs

□ ②自分の語学能力や経験がまだ足りないのでレベルアップが必要

I need to get my language skills and/or experience level up to par

□ ③求人している企業の情報

More information about companies that are looking to hire

□ ④在留資格（就労ビザ）や社会的な手続きについて

More about how to obtain a working visa, and other procedures in Japanese society

□ ⑤その他 Other（ ）

留学生の生活に関するアンケート調査　Questionnaire Concerning the Life of international Students

次にすべての留学生に大分での生活についてお尋ねします。

The following concerns life in Oita, and is directed at all international students

Q14. 大分県内に住んで何年になりますか？　How long have you lived in Oita Prefecture?

□ ①１年未満　Less than 1 year

□ ②１～３年未満　１ー３years

□ ③３年以上　3 years or more

Q15. 授業時間外に一日に平均何時間ぐらい勉強していますか？On a daily average, about how many hours do you study outside of class?

□ ①0　I do not study outside of class

□ ②１時間未満　less than 1 hour

□ ③１～２時間未満　1~2 hours

□ ④２～３時間未満　2~3hours

□ ⑤３～４時間未満　3~4hours

□ ⑥４時間以上　over 4 hours

以下 Q１６から Q１９まで一カ月当たりの収入についてお尋ねします（収入とは　奨学金、仕送り、アルバイト代を含みます）The following questions (Q16～Q19) concern monthly income (from　scholarship funds, allowance money, and money earned from part-time work)

Q16. 現在１ケ月当たりの奨学金はどのくらいもらっていますか？How much do you receive for your scholarship monthly?

□ ①貰っていない　I am not receiving any scholarship funds

□ ②1～19,999 円(yen)

□ ③20,000ー39,999 円(yen)

□ ④40,000ー59,999 円(yen)

□ ⑤60,000～79,999 円(yen)

□ ⑥80,000～99,999 円(yen)

□ ⑦100,000～149,999 円(yen)

□ ⑧over 150,000 円(yen)

Q17. 現在１ケ月当たりの仕送りは平均どのくらいですか？On average, how much are you receiving as a monthly allowance? (from parents, school, etc.)

□ ①貰っていない　I am not receiving any allowance

□ ②1～19,999 円(yen)

□ ③20,000ー39,999 円(yen)

□ ④40,000ー59,999 円(yen)

□ ⑤60,000～79,999 円(yen)

□ ⑥80,000～99,999 円(yen)

□ ⑦100,000～149,999 円(yen)

□ ⑧over 150,000 円(yen)

Q18. 現在１ケ月当たりのアルバイト代はどのくらいですか？ Currently, how much do you make working part-time on a monthly basis?

□ ①アルバイトはしていない I am not working part-time
□ ②1～19,999 円(yen)
□ ③20,000ー39,999 円(yen)
□ ④40,000ー59,999 円(yen)
□ ⑤60,000～79,999 円(yen)
□ ⑥80,000～99,999 円(yen)
□ ⑦100,000～149,999 円(yen)
□ ⑧over 150,000 円(yen)

Q19. 現在１ケ月の平均的収入について合計はどのくらいですか？（奨学金、仕送り、アルバイト代、その他）収入の合計額はどれくらいですか. On average, what are your total earnings each month? (Includes scholarship funds, allowance, part-time work earnings, etc.)

□ ①0
□ ②1～19,999 円(yen)
□ ③20,000ー39,999 円(yen)
□ ④40,000ー59,999 円(yen)
□ ⑤60,000～79,999 円(yen)
□ ⑥80,000～99,999 円(yen)
□ ⑦100,000～149,999 円(yen)
□ ⑧over 150,000 円(yen)

以下Q２０からQ２３まで一カ月の支出についてお尋ねします（支出とは　授業料、生活費、家賃を含みます）

The following questions (Q20～Q23) concern monthly expenses (for tuition, living expenses, and rent)

Q20. 現在１ケ月当たりの授業料（入学金を除いて、年間の授業料を１２等分して計算して下さい）はどのくらいですか？How much are you paying for monthly tuition excluding your enrollment fee? (Divide your annual tuition by 12)

□ ①0
□ ②1～19,999 円(yen)
□ ③20,000ー39,999 円(yen)
□ ④40,000ー59,999 円(yen)
□ ⑤60,000～79,999 円(yen)
□ ⑥80,000～99,999 円(yen)
□ ⑦100,000～149,999 円(yen)
□ ⑧over 150,000 円(yen)

Q21. 現在１ケ月当たりの家賃を除く生活費（食費、水道・電気・ガス代、共益費、インターネット費、交際費を含む）はどのくらいですか？How much are your monthly living expenses other than rent? (Including food costs, utility bills, common-area fee, internet, social expenses)

□ ①0
□ ②1～19,999 円(yen)
□ ③20,000ー39,999 円(yen)
□ ④40,000ー59,999 円(yen)
□ ⑤60,000～79,999 円(yen)
□ ⑥80,000～99,999 円(yen)
□ ⑦100,000～149,999 円(yen)
□ ⑧over 150,000 円(yen)

Q22. 現在１ケ月当たりの家賃（水道・電気・ガス代、共益費、インターネット費を除く）はどのくらいですか？敷金、礼金を除きます。How much is your monthly rent? (excluding security deposit, key money, internet, utility bills, etc.)

□ ①0
□ ②1～19,999 円(yen)
□ ③20,000ー39,999 円(yen)
□ ④40,000ー59,999 円(yen)
□ ⑤60,000～79,999 円(yen)
□ ⑥80,000～99,999 円(yen)
□ ⑦100,000～149,999 円(yen)
□ ⑧over 150,000 円(yen)

Q23. 現在１ケ月の平均的支出は合計どのくらいですか？（授業料、生活費、家賃を含む）How much are your total monthly expenses on average? (Tuition, living expenses, rent, etc.)

□ ①0
□ ②1～19,999 円(yen)
□ ③20,000ー39,999 円(yen)
□ ④40,000ー59,999 円(yen)
□ ⑤60,000～79,999 円(yen)
□ ⑥80,000～99,999 円(yen)
□ ⑦100,000～149,999 円(yen)
□ ⑧over 150,000 円(yen)~

Q24. 授業料は、何割程度自分が支払っていますか？ What percentage of your tuition do you pay by yourself?

□ ①０％ □ ②１％～２５％ □ ③２６％～５０％ □ ④５１％～７５％ □ ⑤７６％～９９％
□ ⑥すべて自分で支払っている I pay all tuition by myself

Q25. 家賃・生活費は、何割程度自分が支払っていますか？ What percentage of your living expenses do you pay by yourself?

□ ①０％ □ ②１％～２５％ □ ③２６％～５０％ □ ④５１％～７５％ □ ⑤７６％～９９％
□ ⑥ すべて自分で支払っている I pay all living expenses by myself

Q26. 現在どのような住宅に住んでいますか？In what kind of residence do you currently live?

□ ①民間アパート・借家 Renting a private house/apartment
□ ②大学の日本人学生向け宿舎 University Residence with Japanese students
□ ③大学の留学生向け宿舎 Overseas Student Residence/International House
□ ④公営住宅 Public Housing
□ ⑤ホームスティ Home stay
□ ⑥その他 Other（ ）

Q27. 住宅への不満がありましたら、お答えください（複数回答可）Please answer if you are dissatisfied in any way with your residence (Mark all that apply)

□ ①不満はなし　I do not have any complaints concerning my residence
□ ②敷金、礼金の習慣　The security deposit/key money rule
□ ③家賃が高い　High rent
□ ④部屋がせまい　Insufficient room space
□ ⑤希望する場所にない Not in my desired location
□ ⑥騒音がする　Noisy
□ ⑦保証人が必要　Need a co-signer
□ ⑧部屋の設備が悪い Inadequate room facilities
□ ⑨外国人であることで断られる　I was turned down because of my nationality
□ ⑩その他 Other（　　）

Q28. 大分県の生活について、どの程度満足していますか？　How is your satisfaction level when it comes to life in Oita Prefecture?

（1）住宅　Housing：
□ ①非常に満足 Very Satisfied
□ ②満足 Satisfied
□ ③やや不満　Somewhat Dissatisfied
□ ④非常に不満 Very Dissatisfied

（2）交通　Transportation：
□ ①非常に満足 Very Satisfied
□ ②満足 Satisfied
□ ③やや不満　Somewhat Dissatisfied
□ ④非常に不満 Very Dissatisfied

（3）治安　Public Safety：
□ ①非常に満足 Very Satisfied
□ ②満足 Satisfied
□ ③やや不満　Somewhat Dissatisfied
□ ④非常に不満 Very Dissatisfied

（4）物価　Cost of Living：
□ ①非常に満足 Very Satisfied
□ ②満足 Satisfied
□ ③やや不満　Somewhat Dissatisfied
□ ④非常に不満 Very Dissatisfied

（5）人間関係　Human Relationships：

□ ①非常に満足 Very Satisfied

□ ②満足 Satisfied

□ ③やや不満　Somewhat Dissatisfied

□ ④非常に不満 Very Dissatisfied

（6）大学での勉学環境　　Academic Environment：

□ ①非常に満足 Very Satisfied

□ ②満足 Satisfied

□ ③やや不満　Somewhat Dissatisfied

□ ④非常に不満　Very Dissatisfied

（7）就職支援　Employment Support：

□ ①非常に満足 Very Satisfied

□ ②満足 Satisfied

□ ③やや不満　Somewhat Dissatisfied

□ ④非常に不満 Very Dissatisfied

Q29. 現在一番望む支援は何ですか？（複数回答可）. What do you currently want the most support with? (Mark all that apply)

□ ①アルバイトの紹介

Part-time job referrals

□ ②勉強と進学指導

Guidance with studies and higher education

□ ③インターンシップ

Internships

□ ④就職紹介とサポート

Job referrals and job support

□ ⑤奨学金

Scholarships/grants

□ ⑥日本の生活習慣情報（たとえば、ゴミ出しのルール、まわりの人との付き合いなど）

Japanese lifestyle information (the garbage disposal rules, how to get along with neighbors, etc.)

□ ⑦各種保証人制度

The various co-signing systems

□ ⑧住宅情報

Residence information

□ ⑨各種イベント（地域イベント、国際交流イベントなど）参加支援

Support for event participation (local community events, international exchange events, etc.)

□ ⑩その他　Other（　　）

ご協力ありがとうございました　　Thank you for your cooperatio

大分県内留学生生活・就職に関するアンケート調査

発行／文部科学省「戦略的大学連携支援事業」

留学生等連携推進ワーキング事務局（大分大学）

国立大学法人　大分大学

イノベーション機構　リサーチ・ファクトリー

〒870-1192　大分市大字旦野原 700 番地

TEL　097-554-7021　FAX　097-554-7740

E-MAIL：research@oita-u.ac.jp